

# フルバージョンPDF版

## パン屋が税理士になる方法

難関資格試験の突破のセオリー

廣升健生



縦書きレイアウトver

# パン屋が税理士になる方法【難関資格試験の突破のセオリー】

## まえがき

最近流行りましたね、ビリギャル！残念ながらギャルではありませんが、わたしもクラスで「ビリ」でした。

高校入学後はじめての中間テストで押された「烙印」。一九九三年当時、偏差値五五程度の東京都立雪谷高等学校で最下位ということ、世の中の的には「中の下」といったところでしょうか。

この結果が証明しているように、あまり勉強は得意ではない人間です。高校卒業時は大学進学など、夢のまた夢でした。そのため「手に職をつけよう」ということで、当時とても好きだったパンを作るために、高田馬場にある東京製菓学校に一年間通い、その後、東京・代官山にある洋菓子店「シエ・リュイ」のパン製造部門に三年間勤務します。※勤務地は恵比寿

ちなみに、パン好きが高じて「パンチャンピオンの「パン通選手権」にも出演しました。その後考えると、パン職人から税理士を目指します。

パン屋から税理士へ…

現在は税理士事務所所長として、会計ソフトやコンサルティング会社が主催するセミナーに招聘いただき、登壇するまでになりました。

そして、自らをこう紹介しています。

自称『『Google先生』』、日本一愛されている税理士」と。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

インターネットの検索サイト「google」に「税理士」と入力すると、個人の会計事務所ではトップに表示されます。リスティング広告という、いわゆる広告費を何百万とふんだんに使ってようやく検索上位にあがる状況のなか、自作のホームページが「税理士」の最上位に表示されるのですから。高校時代の「廣升くん」は、夢にも思っていなかったことでしょう。

さて、筆者の勉強といえる勉強がスタートしたのは成人になってから。「日商簿記検定三級」が出発点でした。そうして、二級、一級（正確には全経上級）と合格し、その後税理士試験に挑戦。二八歳のときに、税理士試験に合格しました。

そんな経験をホームページ「升メディア <http://hiromasu.com/>」上に少しずつ書き出し、「パン屋から税理士試験に合格する方法」として多くの方に読んでいただいています。この「パン屋から税理士試験に合格する方法」で紹介している勉強の方法は、全く奇をてらったものではありません。巷でよく聞く「短期合格のための『非常識勉強法』」などというものではなく、超王道です。筆者なりに工夫をしてみたつもりでの勉強方法は、後から振り返るとオーソドックスな手法ばかりでした。パン屋から税理士試験を目指し、一見「迂回路」を進んできたようでも、勉強方法にいたっては「王道」をただただシンプルに歩んでいたのです。

本書は、これまでホームページ上に掲載してきた「パン屋から税理士試験に合格する方法」をより読みやすく改編したものです。その改編作業をとおして、改めて歩んできた「王道」の必要性を痛感しています。

大事なことなので繰り返しますが、これから紹介する勉強ノウハウには、「楽して合格」などといった手法はありません。王道を知ることが、すべてです。枝葉のテクニックではなく道筋の話ですから、税理士試験にかぎらず、資格試験全般に適用できるでしょう。

なお、本書の終盤では、「それでも税理士目指しますか？」という内容をつづっています。こちらもホームページにて公開し、大変多くの税理士志望者や業界関係者に読んでいただいています。

ご存知のとおり、税理士は会計や税務の専門家であり、国から保証いただいた国家資格です。ですが、資格があなたの将来を導いてくれるわけではありません。

「資格を取れば将来の仕事に困らない！」

そう、安易に考えている人は勉強を始める前には是非一読ください。税理士試験の先にある「生き方」を捉え直すきっかけとして



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

も、本書をご活用いただければ幸いです。第二版の出版にあたって巻末には付録としてサイトに連載している独立開業奮闘記の中から特に人気の高い記事を抜粋して収録しました。税理士試験後に待って実務の話を参考にさせていただければ幸いです。

パン屋が税理士になる方法【難関資格試験の突破のセオリー】

## 目次

筆者 廣升健生(ひろますたけお)の税理士試験の戦績

### 第一章 税理士試験概要

税理士試験の難易度は？

税理士試験合格者の合格までの勉強時間は参考までに

税理士試験をなぜ受けるのか？の本質を見極めよう

パン屋から税理士を目指すきっかけになった漫画のエピソード

税理士試験は自分が主人公の RPG(ロールプレイングゲーム)

合格の為の一番のスキルは 自分の身の程を知ること

税理士試験を合格するためのモチベーション

受験生時代の自分はストイックだったのか？

### 第二章 受験予備校の話

受験予備校は大原か TAC 以外の選択肢がない理由

合格に必要なのは 学校？講師？やっぱり努力？



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazon の販売ページはこちらをクリック

大原と「FAC」両方通うと便利な勉強場所の確保

自習室の席を確実に確保する方法

大原と「FAC」どちらにも通うと情報通になる

法人税法はこの講師に学べば初学者一年一発合格できる！

「厳しい講師」がいいか「優しい講師」がいいか

受験初年度で合格したいなら選んだ受験予備校と心中すべき

どちらも良いからと二股は厳禁！！

受験予備校とは一蓮托生

受験予備校にとつて受験生はお客様

人生に大切なことは、大原の税理士試験の講師時代に学んだ

### 第三章 受験科目の選択

科目合格はトップパーセントの一つより九九パーセントの二つを目指す

同一年複数科目受験は危険です！

法人税法を一年で合格するためには理解など必要ない！！

税理士試験の科目選択。スピード重視？実務重視？

税理士試験の科目選択「スピード重視の理由」

税理士試験の科目選択『実務重視』ってなによ？

独立開業か勤務税理士かで受験科目を決めてみては？

税理士試験その前に！簿記一級受験のススメ

簿記一級は年に四回試験を受けることができる

簿記一級の学習範囲は簿記論、財務諸表論と多くの論点が重複

簿記一級に合格して税理士試験は受けなが正解！！



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

税理士試験を複数科目受験しない場合の漢字検定のススメ

一年一発合格のための「一般コース」のススメ『日々の学習』

一年一発合格のための「一般コース」のススメ『本試験』

一年一発合格のための「一般コース」のススメ『複数科目が受験可能』

#### 第四章 日々の勉強、心構え、モチベーション

税理士試験の勉強中に受験仲間を作ってはいけない

税理士試験受験中の恋愛のススメ

落ち込んだ時に「スラムダンク」を必ず読む理由

試験勉強のモチベーション維持は勉強での成果しかない！

モチベーションが下がったら自分よりダメな人を探そう！

いつ何を勉強するかが本試験の合否を左右する

専門学校で授業の一時前に行って勉強するメリット

元旦は勉強してやる気のない時に休むべき

合格体験記をどう活用するかが鍵 概念編

合格体験記をどう活用するかが鍵 実践編

受験予備校での順位が気になる「気にすべき時」

一年で税法三科目の計算の回し方

計算問題の攻略 日々の問題は自作で配点を振るべき

一年で税法三科目の理論の回し方

新規の暗記は階段方式と達成感

新規理論は暗記レベルを見極めろ！



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

理論暗記は書いて覚えるは絶対ダメ  
消費税法の理論暗記は覚えにくい

日々の勉強は計算も理論もタイムを把握し記録せよ  
ミスノートの作り方

ケアレスミスはなぜ発生する、転記ミスと電卓の打ち間違い

## 第五章 ガジェット

おすすめのボールペン 計算編

おすすめのボールペン 理論編

税理士試験におすすめの電卓

電卓左打ちをおすすめする理由は早く打てるだけではない

## 第六章 直前期と税理士試験本試験

直前期に「総合問題何回まわすか」という議論はアウト

本試験当日に持っていない理論、いつ捨てるか

直前期は受験予備校での順位を気にしないほうがよい

税理士試験の受験願書を出すタイミング

本試験前の禁欲生活は必要か

試験本試験の受験地をどうするか

本試験を沖縄で受けた感想 試験直前まで

本試験の受験地を沖縄で受けた感想 本試験当日

本試験で問題の読み飛ばしを劇的に防ぐ方法



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

本試験の理論問題で試験委員が喜ぶ魔法の一言<sup>1)</sup>？  
理論解答の字は汚くても問題なし<sup>2)</sup>

## 第七章 税理士試験終了後

本試験当日「今日に限って力を発揮できなかった」の言い訳  
本試験が終了したら必ずやってほしいこと

解答速報は、大原とTACの二つはチェックすべし  
合格可能性を見極めた上で九月からの科目選択  
本試験終了後のオフシーズンに何を勉強する？

話のネタづくりだと思えば不合格も楽しめる<sup>3)</sup>  
税理士試験に合格しなければ恋人は去っていく話

## 第八章 敗因検証

受験一年目消費税法の敗因検証 計算編

受験一年目消費税法の敗因検証 理論編

受験二年目消費税法の敗因検証

固定資産税の敗因検証

## 第九章 仕事をしながら受験組

受験専念組が「仕事をしながら受験組」にスイッチするタイミング

受験専念組が仕事をしながら受験組になった時の落とし穴





仕事をしながら税理士試験合格を目指す一番のハードル

仕事しながらの税理士試験受験生」は本当にすごい

試験受験生を雇う会計事務所の所長の本音

独学って、どうよ

## 第一〇章 その他

パン業界の本質を知ってパン職人をやめた話

税理士試験はあきらめ時も肝心

会計業界の環境変化は税理士試験の傾向の変化の比ではない

税理士試験受験生を支える彼女や恋人の話

税理士試験や資格試験に適している人、そうでない人

受験期間が長くなってしまふ人の共通点 メンタル編

受験期間が長くなってしまふ人の共通点 計算編

受験期間が長くなってしまふ人の共通点 理論編

それでも税理士を目指しますか？

税理士試験は、資格取得に時間がかかり過ぎる

税理士試験の試験勉強は、実務で意味があるのか

税理士という国家資格のブランド価値が著しく低下している

独立開業した税理士が失敗に陥る負のスパイラル



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

クラウド会計ソフト freee 登場以後の税理士事務所の業務の形  
Google が本気で会計ソフトを作ったら

税理士になった時には仕事がない『人工知能(AI)が仕事を奪う

おわりに

【付録】独立開業税理士の奮闘記

ウェブでのブランディングは、税理士試験に合格するより大変です

クラウド税理士がしんどい二つの悩み

スラムダンク谷沢にみる叱ってくれる指導者の大切さ

独立開業税理士が一年目で年収一〇〇〇万を目指すべきではない理由

税理士の年収とやりがい についてクラウド税理士が考えてみた

独立開業すぐの税理士が異業種交流会に参加して『人脈』とは何かを考えた話

ウェブはマイノリティであればあるほど輝ける

独立開業ひとり税理士の愛する家族の話



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

# 筆者 廣升健生(ひろますたけお)の税理士試験の戦績

戦績 八戦五勝三敗

二〇〇二年【環境】受験専念 【受験科目】簿記論、財務諸表論、消費税法 【合格科目】簿記論、財務諸表論

二〇〇三年【環境】受験専念 【受験科目】法人税法、消費税法、固定資産税 【合格科目】法人税法

二〇〇四年【環境】大原簿記学校講師一年目 【受験科目】なし ※試験勉強せず未受験

二〇〇五年【環境】大原簿記学校講師二年目 【受験科目】固定資産税 【合格科目】固定資産税

二〇〇六年【環境】大原簿記学校講師三年目 【受験科目】消費税法 【合格科目】消費税法



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

[Amazonの販売ページはこちらをクリック](#)

# 第一章 税理士試験を知る

## 税理士試験の難易度は？

税理士試験は、合格までにとっても長い時間がかかります。理由は、その試験制度にあります。科目合格制で、近年は合格率が一五パーセントから二〇パーセントへ上昇傾向ではありますが、長年一〇パーセント前後で推移しています。税理士資格を得るには、その一〇パーセントの合格率の試験を五科目分パスしなければなりません。※大学院等の免除の話は割愛します。ただし、「難関試験か？」と言われるとそうでもありません。「頑張っても手が届かない試験なのか」と言われれば、答えは「ノー」です。正しいカリキュラムで正しい教え方をしてくれる受験予備校に行き、正しい努力をすれば、誰でも合格することが可能な試験だと思います。

現に、それまでろくすっぽ勉強もしてこなかった元パン職人が、一念発起して受かる程度の難易度の資格試験なのです。

さて、資格試験の難易度は合格率で話が論じられがちですが、注目すべきは、分母となる受験生の勉強能力だと思います。

例えば、税理士試験の受験生に東大生はほとんどいません。少なくとも自分の周りにはゼロでした。

そもそも、会計の資格試験で一番難関といわれるのは「会計士」試験です。そのため、勉強に自信のある方いわゆる勉強スペックの高い方は、会計士試験を受験する傾向にあります。もちろん、税理士としての職業に魅力を感じて会計士でなく税理士を目指す人もいますので、必ずしも当てはまるわけではありません。

例えば会計士試験と税理士試験が仮に同じ合格率だとしても、分母の能力が違うので比較にはなりません。

「勉強自慢が集まっている」という意味では断然、会計士試験の受験者レベルの方が高いはずです。税理士試験は筆者も含めて「自分でも手が届きそうな試験かも」と受験勉強を始める人がたくさんいます。

例えば、脱サラした人や今まで税務の仕事と全く関係のなかった専業主婦など。例えば高校野球の大会でベストフォーといってもそれが県大会のベストフォーなのか、甲子園のベストフォーなのかは全く次元が違うように。



## 税理士試験



## 会計士試験



ただし、繰り返しになります。税理士試験は合格までに時間がかかるのは紛れもない事実です。どんなに勉強する能力が高くても、受験勉強が長期化した時にモチベーションが落ちてしまい、結局合格できない人もとても多いのです。

「愚公移山(ぐこういざん)」という故事がありますが、税理士試験に合格するために一番必要なものは何かといえば、「根気」に尽きます。※愚公移山の意味 大きなことでも、根気よく努力し続ければ必ず成功することのたとえ」

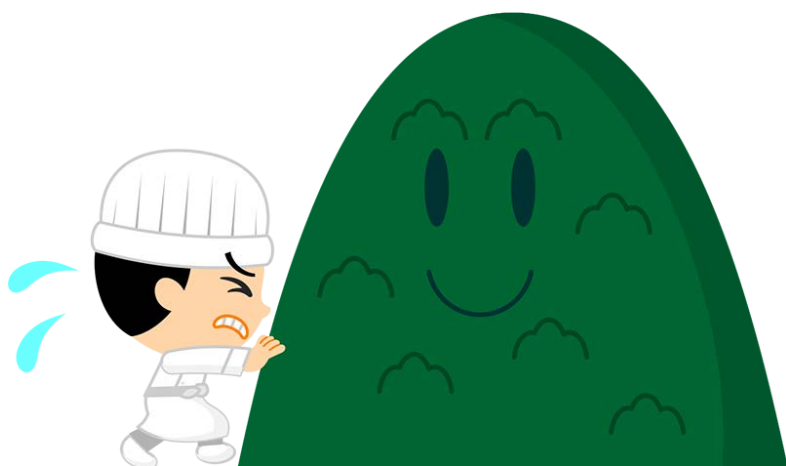


パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

何かを長い期間続けることがいかに難しいかは、資格試験を経験した事がない方でもおわかりだと思います。そういう意味でいう難易度であれば、資格試験の中でも相当難関の部類に入ると思います。



## 税理士試験合格者の合格までの勉強時間は参考までに

税理士試験に限らず、どの資格試験にも合格者による受験体験記の類はあります。

資格試験の合格体験記のうち、合格者の受験期間は事実なので、二年で合格したものは一年にはできないし、当然嘘はありません。

ただし勉強時間は、というと大体の場合は少なめに表示する傾向があります。

受験生としては、「自分はそんなに必死に勉強しなくても合格しましたよ」という私凄いでしょアピールをしたいから少なめに申告し、それを掲載してパンフレットを作る受験予備校は、少なめにPRすれば受験生も集まるので、当然といえば当然です。インターネットの広告でも同じです。

「仕事をしながら一日三時間の勉強で三〜五年で合格しました」といった話が掲載されているのを見たことがあります。筆者には絶対無理です。一日三時間の勉強なら自分の勉強スペックでは八年から一〇年は絶対にかかる自信があります。こんな話をわざわざしなくても、合格体験記の勉強時間が少なめに見積もられていることくらいは誰だってわかるはずですよ。

ただ税理士試験では、他の資格試験よりも特に「合格者の中にはそんなすごい人がいるんだね」という程度に捉えおいたほうがよいでしょう。

例えば、会計士試験は短期集中の試験ですから、一発合格は凄いことですが、結構沢山います。短期勝負だから合格体験者の勉強時間についても一〜二年の話で大差はありません。

対して税理士試験は長丁場な試験ですから、二年で合格する人もいれば十五年くらい勉強している人もいます。

合格体験記に記事が掲載される受験生は相当の上位合格者で、毎年数百人から一〇〇〇人近くいる税理士試験五科目合格者のうちの最短に近い勉強期間および勉強時間(同じ年数で合格した受験生がいたら、当然仕事をしながら合格した人のインタビューが取りたいという意味で)がサンプルになります。一般的に平均の合格期間と言われる七〜八年位で合格した人の合格体験記など読んだことがありません。

合格体験記に掲載されている例は税理士試験の毎年の合格者でも、全受験生の中でいえば上位二パーセントの一〇〇〇人中



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

のさざにトップの合格者なわけですから。

したがって、自分には自分に合った勉強プランを考えることをすすめます。少なくとも、自分と同じ境遇の合格体験記と同じ時間や年数で合格するとは捉えないでいたほうがよいでしょう。

**その時間じゃ  
合格は僕には無理です…**



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

[Amazonの販売ページはこちらをクリック](#)



## 税理士試験をなぜ受けるのか？の本質を見極めよう

税理士試験は科目合格制ということも大きいと思いますが、五科目合格せずに会計事務所に就職し、そのまま実務のキャリアを積んでいる人や、別の仕事につく人も少なくありません。

科目合格のままでもそれなりに仕事はあります。別の職業につくのは今の会計業界を考えればある意味妥当な選択かもしれませんが、税理士試験の受験を始めた時はまず間違いなく科目合格で終わるつもりはなかったはず。一番最初は税理士試験を合格したかったのに、いつの間にか合格するための勉強もなくなってしまっただけでしょうか。

それは税理士試験をなぜ受けるのか、気持ちがぶれているような気がします。

筆者は「税理士試験は何のために勉強するのか」と聞かれたら、「税理士試験を合格して税理士としての肩書を手に入れるため」と答えていました。



すると「いやいや税理士としての資質を問う試験だから受験勉強を通じて税法の基礎知識を身につけるんですよ！」という人がいました。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

もちろんそれはそのとおりです。試験を合格するために税法の体系的な理解は必要です。ただしそれは手段であり、目的ではありません。ところが全く逆のことを言う人が多いのです。

「試験勉強に合格することが目的となつて、理解がおろそかのパターン学習ではいけないんです。理論の丸暗記をしてベタ書きできてもダメなんです。応用が効きませんから、それでは実務へ行った時に通用しません！」と講師は言いがちです。

ただこれは、半分正しくて半分正しくありません。パターン学習だろうが理論のベタ書きだろうが、税理士試験に合格できればよいのです。ただ試験の傾向が変わってきて、その方法だと合格答案が書けないからダメなのです。

決して実務に通用しないからダメなわけではありません。言い換えれば、税理士試験に合格しても所詮、実務初心者の一ペーです。どちらにしても通用しません。実務の勉強は新たにやり直します。

筆者は受験生の時の状況を自虐的にデートになぞらえて「税理士試験に合格できない受験生などは、ホットドックプレスや東京ウォーカーを読みあさって、おしゃれスポットや料理店の裏メニューにはやたら詳しいけど、実際には女子をデートにも誘えないチエリーボーイと同じだぜ！」と思っていました。

税理士試験に合格していない受験生の会話は、デートに誘えない非モテ男子が「ホットドックプレス三月号の五〇ページに新しい店紹介されてたぜ！鈴木くん読んでないのかよだせーな」と言つてバカにしているのと変わりません。どちらにしる格好悪いのです。「早く勇気をだして女子をデートに誘えー！」これが正解です。

話がそれましたが、税法を理解した結果が税理士試験合格ではなく、合格のために税法の理解が必要なのです。ここを履き違つと、日々の授業の受け方から、チエック問題の解答の仕方、その後のテキストを読み込んでの理解、理論暗記に至るまで、受験勉強に対するアプローチが全く変わってきます。

そして、「理解の結果が合格なんです」という考え方になると、「税理士試験に合格しなくても、受験勉強を通じて税法の理解ができたので良かったです」と科目合格者のまま勉強を放棄しがちです。これはもったいないことです。

常に本質はどこなのかを考えましょう。でも本質は時代とともに変化するので、人の意見や情報を参考にしながら必ず「自分の頭で考える」ことが大事です。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## パン屋から税理士を目指すきっかけになった漫画のエピソード

筆者は横山光輝先生の中国の歴史漫画が大好きです。「三国志」「項羽と劉邦」「水滸伝」など、何度も読み直しています。中でも好きなのは「史記」です。特に秦の始皇帝の時代のエピソードは面白く、その中に、後に秦の始皇帝の宰相になる李斯(りし)の話があります。

李斯はもともと町の小役人でした。貯蔵しているコメの測量を担当していた時のことです。コメの貯蔵庫の中にあるネズミは貯蔵庫のコメを食べ悠々自適に過ごしているのに対して、壁をひとつ隔てただけで貯蔵庫の外にいるネズミは明日の食料にも事欠いています。

「ネズミであっても自分の身を置いている場所ひとつで、状況は大きく変わってしまう。人間だって同じで、同じ努力をするなら自分の身を置く場所を変える努力をしなければならぬ」と悟り、「荀子(じゆんし)」の著者である荀卿の門下で学びまし



た。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

これは、パン屋から税理士試験の勉強をする際に心に留めたエピソードです。自分の身を置くフィールドを変えたいなら、自分の意志で次の道に歩き出さなければ何も変わらないことを意識しました。

このエピソードはいまだに筆者の価値観の根底にあります。パン屋から税理士試験の勉強、大原簿記学校の講師、会計事務所の実務を経て、今のように税理士事務所を独立開業していると、やはり身を置く場所で求められるスキルも変わってくる。同時に、出会う人は経験値が高く視野が広いと感じます。

## 税理士試験は自分が主人公のRPG(ロールプレイングゲーム)

小学校の頃はドラゴンクエストやファイナルファンタジーといったRPG(ロールプレイングゲーム)で遊んでいました。自分の世代では、一番面白かったのはドラクエⅢ、Ⅳくらい。最近ではキャラクターも3Dになり、数年前に発売されたドラクエの最新作を久しぶりにやってみようかと購入して遊んでみましたが、三〇分でやめました。

理由は、「自分の人生がRPGなのに、ゲームのプレイヤーの経験値を上げて何が楽しいの?」と思ったからです。

仕事をしていてももちろんそうですが、税理士試験の受験勉強をしているときは、まさにRPGの経験値上げの作業をしているようでした。理論を一題覚えるたびにドラクエのレベルアップの音が鳴り響くのです。「テレテレッター」「タケオのりろんうりよくがーあがった」。

みたいな、感じですよ。自分自身がRPGの主人公なら、ゲームをやっている暇はありません。RPGで一番つまらないのは、ファミマの横綱テクニクのなレベル九九になって遊べるというものです。

最初は敵が一撃で倒せて、経験値上げの作業も必要ないので「この世の全ては俺のものだ」とゲームの中で思いますが、少しやると全然面白くありません。税理士試験も同じではないでしょうか。「受かるかわからない、万全を期して勉強したが合格できるのか?」とハラハラドキドキするから面白いのです。

人の能力はそれぞれですから、税理士試験が恐ろしく高い山に思える人もいますが、お茶の子さいさいで合格できる能力がある人も沢山います。



ただ、自分の用意したRPGで自分の設定したボスキャラを倒した成功体験は、何物にもかえがたい経験になります。自分が税理士試験を勉強して本当によかったと思うのは、そんなところでしょうか。

## 合格の為の一番のスキルは 自分の身の程を知ること

筆者が税理士試験に合格することができた一番の要因は何かと聞かれれば、「自身の能力を冷静に判断できる客観的な視点」だと思います。

つまり、自分の身の程を知ることです。

正直、筆者の勉強スペックは決して高くありません。

税理士試験において、東大生は周りにいませんでしたが、それなりに子供の頃からの勉強自慢でならした猛者たちはわんさかいました。

ですから、真つ向勝負をしていたら絶対にかないません。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

税理士試験の試験勉強をしているとすぐわかりますが、トップ一〇パーセントに入るのは大して難しくありません。むしろ簡単で、「お茶の子さいさい」といったところですよ。

ただし、トップ一〇パーセントからトップ一パーセントに入るため、上位九パーセントをかき分けていくのが極めて大変です。勉強時間はトップ一〇パーセントに入る時の数倍を要します。さらにそもそも勉強スペックによるものが大きいといえます。そこを自分のスペックを見誤って、トップ一パーセントで合格を目指すような無謀な勝負を仕掛けていたら、絶対合格しなかったと思います。

筆者の合格ノウハウは、例えば四〇代くらいから一念発起して敗戦知らずで合格したような類のノウハウではありません。

そういう人はもちろんいますし、合格体験に華々しいストーリーがあるので合格ノウハウを書きたがりますが、筆者に言わせれば、やっぱり「元の勉強スペック」が高いのです。

そうではなく、「ぼちぼちの勉強スペック」でどう合格を目指すのかを本書では開示しています。

## 税理士試験を合格するためのモチベーション

試験勉強をする上で、受験の動機は人それぞれですし、とても大事だと思います。

意外と受験の動機というのは曖昧で、税理士という職業自体が、外から見ているとどんな仕事をするのかわからない部分が多いのではないのでしょうか。

親や親戚などが税理士や会計士等の業界にいて身近に触れる環境がなければ、資格取得を目指すときに、税理士の社会的意義等がよくわからないというのが本音だと思います。

あくまで筆者の独断と偏見ですが、資格試験を受ける受験生の動機のほとんどは

- ・資格を取ったら安定した仕事がある！
- ・資格を取って、沢山稼げるようになりたい！

ではないのでしょうか。



漫画「宇宙兄弟」で、「子供の頃から宇宙に憧れていて、宇宙飛行士になりました!」というのと同じように、「子供の頃から税理士になるのが夢でした!」という人はあまりいないと思います。

たとえ動機が億万長者になりたいというもので構わないと思います。

また億万長者とまでいわなくても「資格を取って収入増やしたいな!」という動機の人もいるでしょう。もちろん筆者もそうでした。

また、筆者の受験生仲間で、

「税理士になったら、沢山稼いで愛人の一人や二人は困ってやる!」

と息巻いている人もいましたが、そんな動機でもよいと思います。

エロはいつの時代も、大きなパワーを生みますから!!

大事なものはどのような動機であれ、それを受験勉強のエネルギーに変換できるかどうかです。

品行方正な受験生:「税理士になって、中小企業の経営者を救うのです」なのか

エロ。パワー満載の受験生:「税理士になって愛人困ってやるぜ!ぐははははは」だったら後者の、受験へのパワーという意味ではむしろ強いかもしれないと感じます!

ビデオの普及戦争でVHSがベータに勝利したのは、アダルトビデオを見ることができたからだといわれていますね。

ただ筆者が税理士試験を勉強し始めた頃は、「資格を取れば、安泰だ」的な風潮があり、「資格取得⇨収入増加」を大きなモチベーションにしていた人は多かったと思います。しかし昨今では、「資格を取ると貧乏になります」という本がベストセラーになっていることから、資格を取得しても「愛人をはべらかすことはできない」ことくらいは、世間一般にも知れ渡ってます。

現在、難関資格試験の勉強をしている人は、何をモチベーションにしているのでしょうか。

むしろ、今の受験生に聞きたいものです。





パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

[Amazonの販売ページはこちらをクリック](#)



## 受験生時代の自分はストイックだったのか？

筆者は税理士試験の勉強時代を知る友人などから、「ストイックに勉強してたよねえ」と言われることがあります。けれども自分評価でストイックに勉強していたつもりはありません。「どのようにして学んだことを効率よく吸収して、アウトプットするか」の作戦を立案実行し、それを分析して、また次に活かしていただけです。

いわゆるビジネスの世界用語という PDCA サイクルつやつつを地道に実行してただけです。※PDCA サイクル (PDCA cycle: plan-do-check-act cycle) 事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つ。

もちろん、試験が近づいてくれば情緒不安定になって恋愛に逃げたりしますが、それもエピソードの一つと思つたら、どんなエンターテイメントより面白く感じました。ですから、「ストイック」という言葉の響きから連想する、苦しいことを我慢し耐えて勉強する修行僧のような感覚は全くありませんでした。

やりたいことをやっているだけです。だからどちらかといえば趣味に近いものです。周りにはストイックに見えても、やっている当の本人にはストイックという感覚はないのです。

この構図にならないと、税理士試験に限らず、合格率が低い競争試験は合格しない気がします。能力の差こそあれ、合格する人は周りの人より努力をしています。

例えば、筆者はランニングが趣味としてフルマラソンを走っても四時間半くらいでしか走れません。四時間以内で走るサブフォアも無理だし、三時間以内で走るサブスリーなどは夢のまた夢という感じです。

ただ、その時間で走っているランナーは必死の形相で走っているわけではありません。

その時間で普通に走れるように日々の訓練を積んでいます。彼らにとって三時間以内でフルマラソンを走るのには、ストイックと感じてはいないと思います。

筆者は税理士試験を勉強するまで、ろくすっぽ真面目に勉強してこなかったので、「勉強＝ストイックにやるもの」という感覚がないからかもしれません。

この税理士試験の勉強方法の文章も、税理士の実務の仕事の合間をぬって寝ても覚めても書いています。理由は単純！やっつけて楽しいからです。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

# ストイック!?



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

[Amazonの販売ページはこちらをクリック](#)

## 第二章 受験予備校の話

### 受験予備校は大原か TAC 以外の選択肢がない理由

税理士試験の受験予備校をどうするか結論はとても簡単で、実質的には資格の大原(大原簿記学校)か TAC(タック)しかありません。インターネットで検索すれば、「格安」や「非常識」な勉強方法を謳った専門学校も、税理士試験の受験対策講座を開設していますが、悪いことはいませんので、やめておいたほうがよいでしょう。

理由は何といってもスケールメリットです。まず大原簿記学校のパンフレットで公表されている税理士試験の合格占有率を見てみましょう。

平成二六年の税理士試験合格者(官報合格者)が九一〇名で、そのうち大原簿記学校の合格者が五五四名と合格占有率は六〇・八パーセントです。

そして、TACの合格者は三二〇名で合格占有率は三四パーセントです。大原簿記学校とTACの合格者を合計すれば八六四名で合計の合格占有率は九四・九パーセントということになり、ほぼこの二つの受験予備校の寡占状態です。

### 受験予備校が寡占化する理由

筆者自身は、大原簿記学校にも TAC にも通い、大原簿記学校で税法三科目、TAC で会計科目を合格しましたが、やはりこの二つの受験予備校に通ってよかったと思っています。税理士試験の前に簿記検定(三級から一級)を勉強していた時は、今は出版のみを行っている D という簿記検定の専門学校で勉強していました。その専門学校でも税理士試験講座が開設されていますが、受験生もまばらでとても受かりそうにない感じがしていました。

話を戻して、「なぜ税理士試験の受験予備校が寡占するのか」というと、小手先の教材やカリキュラムで合格する類の資格



試験ではないというのが大きいでしょう。

例えば会計系の資格試験でも、簿記三級、二級くらいまでの講座は、生涯学習のユーキャンでも開設しています。

簿記二級くらいまでであれば、テキストをひと通り勉強して自分自身が適切な努力をすればまず合格できます。ユーキャンの資格試験は、勉強していない自分が勉強すれば受かる資格です。つまり自分の努力に起因し、やらなければもちろんダメですが、やれば基本的には成果が出るものです。

対して税理士試験は、どんなに勉強をしても適切な教材とカリキュラムがなければ合格しません。大原簿記学校とTACには長年培ってきたノウハウと、蓄積しブラッシュアップされ続けてきた盤石の教材と、それを教える講師陣がいます。

この盤石の二校の牙城に割って入るのは容易ではありませんし、実質的には無理です。

## 通信教育『Fで税理士講座』

筆者が二〇一三年に税理士事務所を開業して間もない頃、まだろくに仕事もなかったため、税理士試験の元講師の経験を活かしてその類のアルバイトでもしようかと思いついてインターネットで探していると、簿記検定や行政書士の通信教育を行っている『』という学校が税理士試験の法人税法の講師を募集していました。一度文京区にある会社で面談に行き、社長と話をしました。詳しく話を聞いていくと税理士試験は一年後をめどに開設したいというのですが、「教材はだれが作るのか？講師は？答練は？カリキュラムは？」と聞くと基本的にはすべて、採用した一人で作るということです。教材は一冊ごとに数十万の作成報酬を出し、途中で挫折したら全額返金とのことでした。

税理士試験の教材を一人で作ると聞き、「それは無理です」と答えると、その社長は「無理だと思うから無理なんだ」と言い返してきました。「では教材は一人で作るとして、直前期の答練はどうするのですか？税理士試験は毎年税制改正がありますから直前期の答練は毎年相当なスピードで作らないといけません」と言いつつ、

「基本ベースの教材だけ作り、直前期の答練は大原やTACなどの専門学校に行ってもらえばいい」と言いつつのです。

「そんな専門学校に誰が通うんだよ」と心の中で叫び、その面談を後にしました。ちなみに久しぶりにその通信教育『』を検索して見ると、やはり、というか税理士試験は開講されていませんでした。そしてサイト内にある講師募集要項の募集分野にも、



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

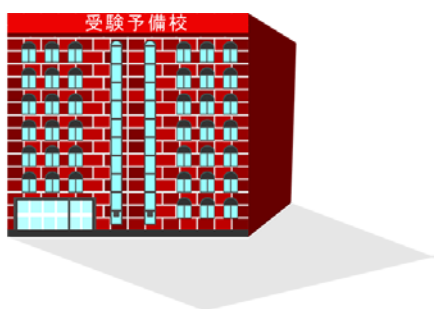
Amazonの販売ページはこちらをクリック

税理士試験はなくなっていました。

そんなわけで税理士試験に合格したければ実質的に大原簿記学校とTACしかありません。長年培ってきた教材等は簡単に新規参入できるものではありません。

### 受験予備校の選ぶ際の一番大切にして欲しい事

受験予備校は実質的に大原簿記学校かTACしか選択肢はありませんが、二つの学校の選定基準は、自分自身の勉強環境が確保できるかどうかです。家の近くにあるか、仕事の帰り道にあるのか否かです。試験はとにかく勉強時間を確保することが大事です。少しでも近く、勉強しやすい学校を選ぶべきです。ただし、家の近くにあったとしても、大原簿記学校とTAC以外の学校はおすすめしません。もし近くに二つの学校がなければ通信講座がおすすめです。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 合格に必要なのは 学校？講師？やっぱり努力？

税理士試験を合格するために必要なのは、何はなくても受験予備校の大原簿記学校か TAC です。

これは自分自身の努力よりも上にきます。絶対に！

スリムだからといって美人なわけではありませんが、美人はほとんどの場合スリムで、世の男子はそちらを選ぶのがほとんど、というのと同じです。受験予備校について、大原簿記学校か TAC に通ったからといって税理士試験を合格できるわけではありませんが、合格した人はほぼすべての人が大原簿記学校か TAC で勉強して合格しています。

二つの専門学校のいずれかを選択せずに税理士試験の合格を目指すというのは、太ったままでもいつか白馬の王子さまが迎えに来てくれるという幻想を抱いた、夢見る夢子ちゃんと同じだと思ったほうがよいでしょう。白馬の王子さまが自分の前を通り過ぎないように、まずはダイエットをするべきです。

試験に受かった後で税理士法人で実務経験を積み、今は独立開業した税理士として実感しますが、実務に求められる能力と試験勉強に合格するためのスキルは全く別物です。特に理論暗記は、「受験予備校が用意してくれたカリキュラムに従って暗記せず自分のペースで」などと言っていたら、筆者なら一生暗記できません。

試験に合格すると自分の努力で合格したと錯覚しますが、努力するためのロードマップがなければ、努力するモチベーションも維持できません。インターネットで調べると、大原簿記学校か TAC 以外の学校でも税理士講座を開講していますが、絶対にやめておいたほうがいいでしょう。

所詮、この二校のカリキュラムの猿真似に過ぎず、税理士試験の勉強に「非常識」な勉強方法などは通用しません。特に大原簿記学校の簿記や税理士試験などの会計資格への取り組みは、教材の質やカリキュラム、講師が基本的にフルタイムの社員であること、そして講師の多さなど、半端ではありません。悪いことはいません。受験予備校は大原簿記学校か TAC です。

そして、大原簿記学校に通える環境であれば、「資格の大原(大原簿記学校)にすべき！」が結論です。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 大原とTAC、両方通うと便利な勉強場所の確保

筆者の税理士試験一年目の受験科目は、簿記論、財務諸表論、消費税法の三科目でした。簿記論、財務諸表論はTAC。消費税法は大原簿記学校で勉強していました。

筆者の受験当時(二〇〇二年～二〇〇六年)も会計科目はTAC。税法科目は大原簿記学校がよい、という情報があつたためです。東京の水道橋校で勉強していましたが、二つの学校で同時に勉強してよかつたのは、直前期の自習室の確保でした。直前期は自習室がとて混み合うので場所の確保が大変ですが、二つの自習室のどちらにも行き来できるので便利でした。さらに、当時は大原簿記学校の自習室が朝七時から開いていましたが、TACは九時からで、勉強リズムを朝方にシフトした直前期には、七時から自習室が開いていた大原簿記学校はとてありがたかつたです。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 自習室の席を確実に確保する方法

直前期は、受験予備校の自習室は争奪戦の様相を呈してきます。席取りのために荷物を長時間置いておくと、見回りに回収されてしまったりすることもあり、かといって答練などの授業終了後に自習室に駆け足で行っても、時すでに遅しということも少なくありません。

そこで筆者がやっていたのは、受講している授業の最後の休憩時に自習室の席取りをすることです。税理士講座の授業は三時間一セットで、多くの場合一時間ごとに一〇分程度の休憩があるため、最後の一〇分休憩時に荷物を自習室に置いてくると、荷物の置きっぱなしが一時間程度となり、まず荷物の回収はされません。自習室の確保ができていたので、たとえ授業が延長しても自習室確保に焦ることもありません。

## 大原とTAC、どちらにも通うと情報通になる

大原簿記学校とTACのどちらにも通うと情報通になります。当然同じ年に両方の学校に通っている受験生は少ないので、簿記論、財務諸表論を受けているTACでは受験仲間に消費税法での解説論点を、大原簿記学校では簿記論、財務諸表論を情報収集できました。正直にいうと一年目の三科目勉強していた時は、それぞれ受講している科目の論点を消化するだけで精一杯で、情報を入手しても対策を立てるほど余裕はありませんでしたが。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック



## 法人税法はこの講師に学べば初学者一年一発合格できる！

税理士試験において大事なものは、前述のとおり一に受験予備校です。具体的には大原簿記学校かTAC、できれば大原簿記学校をおすすめします。二に自分の努力、三に講師です。講師の重要性はさほど感じていません。

一番重要なのは受験予備校が用意してくれる教材であり、カリキュラムとそれを遂行する自分の努力だと思っています。ただし税理士試験の中でも一番ボリュームが多く、競争している受験生のレベルでも最難関の法人税法では、講師が重要だと思います。

理由は、一年間という限られた時間の中で膨大な学習量を必要とする法人税法は、学習の効率性と学習範囲の取捨選択が極めて重要だからです。

多少の遠回りをしてでも合格できる他の科目と異なり、合格への最短距離を走る必要があるため、その道を明確に見せてくれる講師が不可欠です。

筆者は大原簿記学校の法人税法担当だった黒澤和誉(くろさわかずよし)先生に一般クラスという基本クラスで教わりました。

黒澤先生の教えてくれることを忠実に遂行したことで、一年で法人税法が合格できたと今でも思っています。受験当時は東京の水道橋校で指導していましたが、現在(二〇一五年)は立川校で授業を担当しています。

黒澤先生の話をするまえに、多くの講師、特にベテランであつたり実務経験のある講師であればあるほど試験勉強に派生する枝葉末節の論点の解説をしたがりません。その派生した論点等の解説は、後に実務についた時の勉強にはなるし、受験二年目以降の受講生にとっては、知識を定着させる意味でもとても有意義ですが、法人税法の初学者の場合は話が違ってきます。週に二題の理論暗記と、テキストに書いてあることを吸収していくだけでも精一杯で、正直、教材に書いてあること以外は「頭がこんがらがるからしゃべらないでくれ」というのが本音です。

黒澤先生の授業は、テキストで解説してある図解はなるべくその図解を踏襲して解説してくれませんが、図解のないものはオリジナルの図解で理解しやすいように解説してくれます。



この図解の話も、もっとわかりやすい図解を考えるとついつい、テキストの図解を無視してオリジナル図解を使いがち(筆者の講師体験談)ですが、受講生がトータルで理解できるのは復習も含めてやはりテキストの解説です。冒頭に述べた、合格のために重要な、受験予備校が用意してくれた完成されているテキストを、一番的確に受講生に解説してくれますので黒澤先生オススメですよ！



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 「厳しい講師」がいいか「優しい講師」がいいか

みなさんは、褒められて伸びるタイプでしょうか？講師を選ぶ際に厳しめにアドバイスしてくれる講師がいいか、優しめがいいのかは自分で判断するしかありませんが、いずれにせよ現実を直視させてくれる講師でないといけないと思います。

受験予備校の講師は二〇代中盤から三〇代くらいが多いのですが、税理士試験の受験生は会計事務所などで実務経験を積んでいる年配の人も多くいます。特に仕事をしながらの勉強は大変なことがわかるので、講師もあまりタイトな宿題のペースなどは言いにくい場合が多いのが実情です。

ただ、それでも合格までに必要な勉強量を提示する講師は信用できます。結局合格までに必要なスキルを身につけなければいけないのは、受験専念組であっても仕事しながら組であっても同じです。勉強する時間が絶対的に足りないなら、その足りない時間でどうすれば効率よく勉強ができるのかを提示してくれる、あるいは一緒に考えてくれる講師がグッドです。そしてそのような講師の言っていることは、一見相当ハードな要求のように感じます。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

その提案ができるのは講師自身も税理士試験を仕事をしながら勉強した経験があるか、あるいは現在進行形で勉強をしている、ということが重要だと思います。

講師自身が仕事をしながら勉強した経験もないなら、人に厳しくも言えないですし、仕事をしながらどうやって合格するか、ノウハウなどあるはずがありません。

講師を選ぶ際には、授業の教え方がうまいかどうかはもちろん重要ですが、講師自身の税理士試験への取り組みを確認するのが一番です。

## 受験初年度で合格したいなら選んだ受験予備校と心中すべき

筆者は簿記論、財務諸表論、法人税法は初受験で合格しました。固定資産税は二回目の受験、消費税法は三回目の受験で合格です。

二回目の固定資産税はテキストや答練を取り寄せて、勉強自体は独学でした。消費税法も、三回目の受験は固定資産税と同様の方法で独学です。ただし、五科目とも受験初年度は、極めて従順に受験予備校のカリキュラムを遂行しました。

税理士試験はどの科目でも受験初年度は、よほど成績が優秀で「受験予備校の勉強では物足りない！」という場合を除いて、受験予備校のカリキュラムや、担当講師のアドバイスを忠実に遂行したほうがよいでしょう。※念のためですが、受験予備校は大原簿記学校か「AC」しか選択肢がない旨書いていますので、「ここ」いう受験予備校はこの二校のことを指しています。

理由は、税理士試験の初学者にとって、一年で一発合格を目指すに当り、受験予備校のカリキュラムは本当によくできているからです。

## どちらも良いからと二股は厳禁！！

ただし、大原簿記学校か「AC」片方の受験予備校で勉強しながら、直前期にもう一方の受験予備校の答練などを受けるはやめたほうがよいでしょう。



それをやっていいのは、受験二年目以降のいわゆるリベンジ組の受験生だけです。初学者の受験生には絶対におすすめしません。なぜなら、初学者にとつて直前期の勉強が一番やってはいけないのは、勉強範囲の戦線拡大からです。ただでさえ直前期は、計算論点の解き直しや理論暗記の刷り直しで大変なのに、気軽な気持ちで「他の受験予備校の答練の傾向くらいは知っておこう」などと手を出したら最後です。

他の受験予備校の出題形式などの微妙な違いから、「いつもと勝手が異なり点数が伸びない」↓「点数が伸びないから不安になる」↓「答練の解き直しなどを行う」↓「学習範囲が広くなり本来やるべき基礎論点の学習が希薄になる」という悪循環に陥ったら最後、絶対合格できません。

## 受験予備校とは一蓮托生

もちろん、受験予備校のカリキュラムは万能ではありません。カバーしていない論点が本試験で出題される可能性もあります。それゆえ、大原簿記学校とTAC両方のカリキュラムを完璧に学習できるなら、当然合格率は格段に上がるでしょう。けれども、一年間という限られた時間の中でいかに合格する可能性を最大化するか、ということを考えるなら、自分自身が選択した受験予備校と一蓮托生(いちれんたくしょう)の覚悟で、直前期にも浮気をすべきではありません。そして受験予備校と心中して不合格でも文句を言うてはいけません。

税理士試験は年に一度の一発勝負です。もちろん受験予備校と心中すれば、予想していた山が外れる場合もあります。

大原簿記学校とTACどちらも対策していない問題なり、受験生にとって捨て項目になる場合が多いので、競争試験の特性上、合否に影響を及ぼしません。しかし片方の受験予備校が対策をしており、もう片方はノーマークというケースももちろんあります。

筆者の受験初年度の簿記論は、TACで退職給付会計の直前対策が手厚く、本試験では初めてこの論点が出題され、TAC大勝利という年でした。筆者はTACで受講していたので合格しました。

ただし、二年目に大原簿記学校で勉強した固定資産税は受験初年度の学習範囲ではノーマークの航空機(償却資産)の出題でした。出題の山が外れた時点で、固定資産税は不合格になりました。ただ、これは仕方ありません。受験初年度での一発



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

合格を目指すなら学習する論点の取捨選択は必ず必要です。勝負に絶対はないのですから、受験予備校のせいにする前にその受験予備校を選んでしまった自分の選択を後悔すべきです！

# 不合格を 受験予備校のせいにするのは筋違い…



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 受験予備校にとって受験生はお客様

当たり前すぎる話ですが、受験予備校にとって受験生はお客様です。

受験予備校のパンフレットには、短期合格者の合格インタビューが載っていて、「短い勉強期間でも合格できますよ！」と書いてあります。

資格を取得した後の仕事の広がりなどがバラ色の人生として書いてあります。

もちろんそれが全てではない、というのは誰だってわかると思いますが、例えば受験の相談にきた人に窓口で説明をするときも、基本的には税理士試験の受験を考えている人には学校に入学して欲しいのですから、

「仕事をしながらの受験は厳しいでしょうか？」と聞かれれば、「もちろん楽ではありませんが、科目合格制度ですので、地道に勉強できます」と答え、「四〇歳を過ぎての受験勉強ですが大丈夫ですか？」と聞かれれば「大丈夫です」と言います。

お金を支払う側に対して、お金をもらう側が優しい言葉や肯定的な言葉をかけてくれるのは、キャバクラのお姉ちゃんが何をいっても凄いですねえと褒めてくれるのと全く同じです。

税理士試験の勉強をする時にはいろいろな情報を参考にしますが、「金銭の授受が絡む人の意見やアドバイスはあまり鵜呑みにし過ぎない方がいいですよ！」ということなのです。

## 人生に大切なことは、大原の税理士試験の講師時代に学んだ

大原簿記学校の講師を務めたことはとても大きな経験になりました。現在運営しているサイト【升メディア <http://hiromasu.com/>】の対話式コンテンツの発想は、大原簿記学校の講師時代にやりたかったことです。

イラストや図解を多用して直感的に伝えたほうが、よりわかりやすくなると信じていました。ですから筆者の著作である「会社の経理を全自動化する本」についてもテキストはもちろん、図解やチャート図もすべて筆者のオリジナルですが、大原簿記学校での講師経験でのスキルが一番役に立っています。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

今はわかりませんが、筆者の受験生時代は、税理士講座の講師は原則、講師が担当するクラスの受験生に声をかけて、講師に採用していました。

実務を早くやりたいから、という理由で会計事務所への就職を優先し断る受験生もいるようですが、「何てもったいないことを！」と筆者は思います。

会計事務所の実務経験などは後でいくらでもできるので、もし大原の講師にスカウトされたら、絶対に引き受けることをすすめます。

ネットでこれだけ情報を収集できる時代には、知識の提供はさほど価値を生まず、あふれる情報をどう的確に相手に伝えるかといったキュレーション能力の価値が増していきます。税理士にしても同様で、条文を理解している知識はもちろん必要ですが、その内容をいかに噛み砕いてクライアントに伝えることができるかが極めて重要です。

筆者の税理士事務所のサービスについても、記帳作成や確定申告書作成といった代行業務よりも、クラウド会計ソフトを使って、どう事業にまつわる経理業務をミニマム化していけばよいかを一緒に考えたりレクチャーするような、クライアントにノウハウを伝える教育サービスの側面が強くなっています。ですから大原簿記学校の講師の仕事は、絶対おすすめです。

### 第三章 受験科目の話

科目選択はトップパーセントの二つより九、九九パーセントの二つを目指す

本試験当日はもちろん、日々の学習から筆者が心がけていた、税理士試験という試験勉強への学習スタンスをお話しします。

税理士として登録するには試験合格と実務経験が必要です。その税理士試験は科目合格制で、毎年税理士の資格を取得できる官報合格者(五科目合格者)は、受験者の総数のおおよそ二パーセント程度です。

ただし、科目一つ一つの合格率は一〇パーセント前後(受験当時)です。

そのため、最終的にはトップ二パーセントに入る試験でも、一つの科目ごとにはトップ一〇パーセントに入ればよいということに





なりません。

言い換えれば、何も各科目についてトップパーセントに入って合格する必要はないということです。

仮に合格率が一〇パーセントで合格者が一〇〇〇人の試験なら、一〇〇〇番目で合格すればいいのです。といってもさすがに最後の最後は嫌なので、九九九番目で合格する上位九・九九パーセントに滑りこむ勉強をすればよいという発想が根本にあります。

ですから受験専念で法人税法を一科目しか受験せず、トップ五パーセントに入っているから合格間違いないし、という受験生仲間には、「それなら一〇パーセントの合格見込みがあるミニ税法の科目をもう一つ増やしたほうがよくないか？」と思っています。

## 同一年複数科目受験は危険です！

受験専念なら、もちろん複数科目目の選択をすすめます。できれば三科目を選択してください。ただ、自分の能力を見極めることはとても大事です。

三科目受験で一科目合格なら、二科目選択のほうがよかつたかもしれませんし、二科目で全敗なら一科目受験がよかつたかもしれません。

簿財法人の三科目を受験して、一、二年目全敗し、三年目に三つ合格した受験生がいました。

三年目で結果がでたのでよかつたのですが、最終的には「受かつてなんぼ、受からない勉強はゼロ」と考えたほうがいいでしょう。

A判定でもD判定でも、不合格なのは同じなので、それを常に念頭に科目選択をする必要があります。

筆者は、仕事をしながら勉強するなら、基本的には一年一科目をすすめます。筆者の場合、自身の勉強スペック的に仕事をしながら複数科目に合格する自信がないからです。



ただ、もし複数科目を選択するなら、メイン科目とサブ科目の位置づけをしっかりとすることをすすめます。

メイン科目とは、ポリユームが多い科目でかつ合格したい科目です。サブ科目は、ポリユームが少なく、合格は来年でもよい科目です。

基本的には、ポリユームが少ない科目がメイン科目になることはありません。

本試験は「合格できる可能性」の科目を増やせることが、短期合格のためには必須です。不合格の時間的損失を考えれば、ポリユームが多い科目がサブになることはありません。

例

法人税法に費やした勉強時間 六五〇時間

固定資産税に費やした勉強時間 二〇〇時間

法人税法のみ受ければ、損失は固定資産税の勉強時間二〇〇時間ですが、固定資産税のみ受ければ、損失は六五〇時間となるため、法人税法が当然メイン科目になります。

仕事をしながら受験勉強をするということは、「仕事というメイン科目」を選択しながら、受験科目を選択しているのと同じです。いわば、実質的な複数科目受験と大差ありません。その中で、同列の受験科目を選択するのは大変危険です。特に簿財の複数科目受験はリスクが高くなります。

どちらも週二科目であり、仕事との兼ね合いで勉強が厳しくなった時に、どちらをメインにするか明確にできないと、共倒れ(両方共に不合格)の可能性が極めて高くなります。

簿財法の同時受験というのは、同じパターンです。同時受験をするなら、簿記論と、週一の税法科目です。消費税法や固定資産税、あるいは覚える理論は多いのですが国税徴収法が候補です。筆者のオススメは消費税法です。



実務でも使い、比較的ボリュームが少なく、馴染みのある税金なので、勉強しやすい科目です。

簿記論と財務諸表論は「勉強した時に論点で重複する部分があるので同時受験がオススメだ」といわれますが、それは本当です。

しかし、重複している論点はあっても、週二科目のボリュームが週一科目の消費税法や固定資産税より少なくなることはありません。

さらに、三税法をセットにしておけば直前期にどうしても勉強時間が確保できない時には、週一科目を切り捨てるという判断もできます。

「救命病棟二四時」などに出てくるトリアージと考え方は同じです。一番防ぐべきは、二科目とも不合格になる「共倒れ」です。これが一番よくありません。

さらに感覚的には、簿記論と消費税法の合計の勉強ボリュームと、法人税法一科目のボリュームは同程度ではないかと思えます。※受験生によっては簿財合わせて、法人税法一科目と同じくらいという方もいます

そう考えれば、仕事をしながら複数科目の受験をするとして、まず初年度に簿記論と週一科目で受験をして、二科目について合格までの勉強量や仕事との兼ね合いを把握した上で、その後の複数科目の選択をしていくと、自身の能力に一番適した選択ができると思います。

とても大事なことは、一科目でも合格するには、どの程度の勉強が必要なのかを、自分自身が知ることです。簿記論でも、消費税法でも、どのような勉強をしたら合格できるかを経験しないと、その後のプランが立てにくくなります。税理士試験はマラソンと同じで、もちろん競争相手はいますが、大事なのは、自分の走るペースを崩さないことです。ペースメーカーキングが大事です。

そして結果として、前述のとおり一番で合格する必要はなく、トップ一〇パーセントに入るペースを守れば充分ということを認識しつつ勉強するとよいでしょう。

**法人税法を一年で合格するためには理解など必要ない!**



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

法人税法を一年の学習期間で合格するのは、他の税法に比べても確率がかなり低くなります。

理由は、網羅すべき計算項目が膨大であり、さらに理論の暗記の量も膨大だからです。

さらに近年の法人税法の試験傾向を見るかぎり、以前の試験傾向に比べて、法人税法の本質的な理解力が問われる問題が多くなってきているといわれています。そうなると、問題演習よりも、テキストを読み込んだほうがいいのかという話にもなりますが、筆者は法人税法一年目の勉強であれば、とにかく問題演習と、理論暗記を学習すべきだと思います。

試験はどうかやれば受かるのか、を考えてください。  
答えは単純です。

問われた問題に対して、正しい解答を出した答案用紙を作成すれば、試験に合格することができます。  
では正しい解答を出した答案用紙を作成するには、どうすればよいのでしょうか？

それは、これまで日々の勉強で培った会計や税法の勉強の成果をいかに発揮することです。  
この「勉強の成果をいかに発揮する」ためには、様々な力が必要になってきます。

具体的には、与えられた問いに対して正確に計算をする計算能力、税法の理論暗記能力、そしてその能力の根底にある、会計や税法の理解力です。

最近、税法の試験も一昔前のようにパターン学習では受からなくなっています。  
「しっかり理解をしないと受からない」といわれています。

確かに、理解力が試されるような試験傾向になってきているのは事実です。  
ただし、理解が合否を分けるのは、まず上記の計算力、暗記力が備わった上での話であることを忘れてはいけません。

どんなに会計や税法について学者のように深い理解をしても、それを本試験においてアウトプットできなければ、試験合格はないのです。

そう考えると、法人税法を一年で合格するために計算の型と、膨大な理論の暗記、そして各論点の深い理解というのは、現実的にはかなり厳しいものになります。

そうであれば、一年目でやるべきは計算の型と、理論の暗記です。

もちろん、計算パターンを入れたり、理論の暗記をするためにも、法人税法の最低限の理解は不可欠です。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

ただ一年目は「理解力を深めなければ」と考えずに、計算の型と理論を覚えるために理解をする、くらいのスタンスで勉強したほうが結果的にはいい結果に結びつきやすいのだと思っています。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

[Amazonの販売ページはこちらをクリック](#)

## 税理士試験の科目選択。スピード重視？実務重視？

税理士試験は、科目合格制です。

簿記論、財務諸表論という必須の会計科目に、所得税法、法人税法、相続税法、消費税法、事業税、住民税、固定資産税、国税徴収法、酒税法という税法科目の中から法人税法か所得税法のいずれか一つは必須です。それ以外は選択制で五科目合格すれば、税理士試験に合格できます。そのほか税理士になるには、一定の実務経験が必要になります。

科目選択は、税理士試験を受験する際に、ほとんどの受験生が悩むところです。会計科目は必須なので、簿記論、財務諸表論は確定です。

税法科目は所得税法と法人税法のどちらかが必須ですが、実務を考えれば法人税法はほぼ必須と思って間違いありません。そうすると、選択の余地があるのはあと二つの税法科目をどうするかです。

よく聞くのは、短期合格を目指して学習範囲の少ない税法を選択する「スピード重視派」か、実務に従事する時を想定して、所得税法や相続税法などの勉強ボリュームは多くても重要な税法科目を選択する「実務重視派」という議論です。

筆者は、会計の必須科目と法人税法、消費税法、固定資産税という選択をしました。消費税法は学習範囲が比較的になく（ミニ税法といわれる中では多いほうですが）、実務でも日常的に使われるので選択し、あと一科目は実務ではさほど活用する場面は多くありませんが固定資産税を選択しました。理由は、筆者が「スピード重視派」だったからです。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

まず税理士試験に一年でも早く合格することを目標にしていたので、複数科目を受験するために、かつ自分の勉強スペックで合格レベルに持って行くことができるのは、ミニ税法しかないと考えていたからです。

実務についた時のために、所得税法や相続税法を勉強する必要は絶対にあります。筆者も、実務で年に一度必ずやってくる個人の所得税の確定申告や、相続税の案件の時には、勉強しておけばよかったと思ったことが一度や二度ではありません。網羅的に勉強しようと思うと、巷に売っている本などをかじってもなかなか頭に入ってきません。そのためどちらの税法も結局「資格の大原（大原簿記学校）の実務講座」という、実務家を対象として体系的に学習できる講座に申し込んで勉強をしました。

大原簿記学校の実務講座は受験対策用のテキストを基本に再編集されているため、内容はとても濃くかつ所要所がコンパクトにまとまっているので、勉強して非常によかったと思います。一方、受講料は決して安くなく、税理士試験の科目受講料と数万円程度しか違いはありません。ただし、勉強する時間という意味では、自分の選択で間違いはなかったと今でも思っています。

## 税理士試験の科目選択「スピード重視の理由」

税理士試験の科目選択は「スピード重視」か「実務重視」という選択について、筆者は「スピード重視派」と前述しました。

筆者は税法科目について、必須科目の税法は法人税法、選択科目を消費税法、固定資産税を選択しました。理由はスピード重視派だったからです。

スピード重視とは、とにかく一年でも早く税理士試験の官報合格（五科目合格すること）をするための選択です。筆者は、ボリウムが多い簿記論、財務諸表論、法人税法の科目を合格するまでは受験に専念する、と決め、それ以外の科目は仕事をしながら受験することを想定していました。

仕事をしながら勉強するのは、今まで何も持たずに身軽で走っていたマラソンランナーが、背中に数十キロのおもりを背負って走ると同じです。ミニ税法も、受験に専念しているうちに合格レベルまで持って行き、仮に不合格だとしても、仕事しながら合格レベルに持っていける分量ということを重視しました。

筆者は、税理士試験は五回当てる必要がある宝くじだと思っています。税理士試験の本試験は勉強をいくら頑張っても絶対は



ありません！合格レベルはいくら頑張っても七〇パーセント程度で、後の三〇パーセントは試験傾向や予期できない事象で不合格する可能性をはらんでいると考えて対策は立てるべきでしょう。

そうであるなら重視するのは、「合格可能性の高い科目」という宝くじを「いかにして毎年買っておくか」です。毎年、七〇パーセントの当選確率の宝くじを買っておけば、それは一、二年の誤差はあっても必ず当選（合格）します。ただ、仕事をしながらの勉強ですから、何が起きるかわかりません。

受験専念の期間は、息巻いてボリュームの多い所得税法や相続税法を勉強していても、仕事をしながらの受験なら、合格レベルまでの時間を確保できるかはわかりません。本試験当日において合格レベルまで持っていけないなら、合格可能性の宝くじをはじめから買わないのと同じです。宝くじは買わなければ絶対に当たりません！これは鉄則です。

そうすると、毎年当選確率の高い受験科目はといえば、「勉強ボリュームが少ない科目」となります。

ただボリュームが少ないということは、周りの受験生も合格レベルまで達するわけですから、その中での緻密な勉強が必要になります。けれども、それはまた別の話です。受験専念で五科目合格まで勉強したり、あるいは、税理士試験に早く合格する必要がなければ、所得税法や相続税法を勉強するのもよいでしょう。そうでなければ、スピード重視の科目選択をおすすめします。





## 税理士試験の科目選択『実務重視』ってなによ？

税理士試験の科目選択では、なるべく早く税理士試験を合格するためにミニ税法などの比較的ポリウームの少ない科目を合格科目に入れた「スピード重視派」と、会計事務所や税理士事務所などに就職した時に役立つようにと、法人税法、所得税法、相続税法といったいわゆる国税三法を合格科目にする「実務重視派」とに分かれる傾向があるというのは前述しました。上記の「スピード重視」「実務重視」という言葉は、筆者の受験生時代や講師時代に当たり前のように使っていました。自分が実務経験を経て独立した立場からいわせてもらえば、「スピード重視こそが結果的には実務重視じゃない？」と思ってしまう。

言葉がややこしくなるので用語の定義をしておく、上記は「スピード重視こそが結果的には『ビジネス』重視じゃない？」と置き換えてみます。「実務重視」で税法三法を勉強するといっても、所詮は机上の学問に過ぎません。実務では、税法の知識はもちろん基礎にあつた上で、クライアント一人一人への対応が大事です。

実務を経験してみると、クライアントにとっては税理士であるか否かが大事で、合格科目を重要視するのは会計事務所の中にいる同僚や先輩などの同業者です。

そうすると「実務重視」といつて何年も税理士試験の合格ができないくらいなら、「スピード重視」でさっさと税理士試験に合格して、税理士としてクライアントと話をしたほうが、早くビジネスのスキルが身につきます。スピード重視は、結果的にビジネスの経験値を増やせる「ビジネス重視」なのです。

受験勉強の時は、どうしても税理士試験が「世界の全て」になりがちです。ですからポリウームの多い科目は「実務に役立つから」と選択したくなる気持ちはわかります。もちろん税法三法を受験科目に選択しても、短期で合格できるのであれば、それがベストなのはいまでもありません。

筆者のスピード重視の科目選択は、いわば勉強スペックに劣る受験生が、その限られた能力の中でいかに最適な方法を選択するか、といった弱者の戦い方なのです。



勉強能力が高く税法三法の受験も何のその、という強者がいる一方で、筆者のような合格へ持っていく弱者の戦略もあるとい  
うのが、税理士試験の科目選択の醍醐味です。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

[Amazonの販売ページはこちらをクリック](#)

## 独立開業か勤務税理士かで受験科目を決めてみては？

前述のとおり税理士試験の受験科目の選択において、個人的にはスピード重視派で、科目の中身よりも短期合格を優先したほうがよいと思っています。これは税理士になった後の人生設計が前提にあるからです。

結論からいうと、税理士になってからなるべく早く独立したいと考えているなら、スピード重視がおすすめです。

逆に税理士法人の勤務税理士として働き、基本的には独立を目指さないようなら、国税三法などのボリュームの多い受験科目を選択するのがよいでしょう。理由は、自分が勉強して取得する科目について、「誰が評価するのか」が独立するのと勤務税理士では全く違うからです。

一見、独立するほうが幅広くいろいろな業務に対応しなければいけないのですから、税法三法をしつかり学んだほうがよいのでは、と思うかもしれませんが。しかし勉強はいずれにしてもしなければならぬので、勉強する必要性という意味ではどちらも変わりません。

違うのは、独立開業した時にお金を払ってくれるのは目の前にいるお客様であるのに対して、勤務税理士で働く場合はいくらお客様と向き合っても、実質的に評価をするのは税理士法人の上司であり所長のボス税理士です。

独立した時にお客様が求めるのは、もちろん会計税務のスキルが基本ですが、それだけではありません。それ以外のスキルの有無が大きく評価を左右します。言い換えれば「税理士」という肩書は必要ですが、お客様はその合格科目などに基本的には興味がないのです。

対して税理士法人の勤務税理士であれば、同僚も当然会計資格を取得しています。例えば相続の事業承継案件があったとして、相続税法の合格科目を持っている人とそうでない人がいれば、その案件を任されるのは前者である可能性が高くなります。

勤務税理士になるのであれば、税理士試験に合格するのは数年遅くなったとしても、所得税法や相続税法を受験科目に設定したほうがよいかもしれません。結局資格試験の勉強は、勉強する過程において、その後の職業人としての基礎能力を身につけるためのものです。同時に、合格した科目について周りが評価してくれて、初めて意味があるものになるのです。



ですから税理士試験を合格した先に、評価してもらおう相手は誰なのかを明確にすることで、何を受験科目にするかが明確になるはずです。

## 税理士試験その前に！簿記一級受験のススメ

税理士試験を受験するためには、一定の受験資格を満たす必要があります。現在は少し異なりますが、筆者が受験をしていた当時（二〇〇二年）には、普通高校（東京都立雪谷高等学校）卒業で最終学歴が東京製菓学校では、税理士試験の受験資格を満たすことができませんでした。



東京製菓学校での学生時代



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazon の販売ページはこちらをクリック

税理士試験の受験資格を満たすためには、日本商工会議所が主催する「日商簿記検定(二つしようばきけんてい)一級」か、全国経理教育協会が主催する「全経上級(ぜんけいじょうきゅう)簿記試験」のどちらかに合格する必要があります。

一般に「簿記一級」とは、知名度の高い「日商簿記検定」であり、この資格を取得する必要があります。※以下特段の断りがない限り【簿記一級】とは、上記日商簿記一級、全経上級を総称した用語として使用します。

筆者の場合は受験資格を取得するために、やむを得ず簿記一級の勉強をしました。しかし受験資格の有無に関わらず税理士試験の前哨戦として、この日商簿記検定一級か、全経上級簿記試験を勉強し、かつ記念受験のようなスタンスではなく、しっかりと合格を目指した勉強をする意義は大きいと考えます。

理由があります

まず、合格率一〇パーセント前後の難関資格試験を受験することで、自身の税理士試験への合格適正を判断することができます。

日商簿記検定一級、全経上級簿記試験ともに、半年に一度(日商簿記は六月と十一月、全経上級は七月と二月)本試験があります。両方の簿記試験を受験することで、最大年四回の受験をすることができるため、不合格だったとしても、敗因などの検証を元にくまりにリベンジする機会があります。(後ほどもう少し掘り下げます)

また、税理士試験必須の会計科目である、簿記論、財務諸表論と学習論点での重複が多いため会計科目が楽に学習でき、税理士試験特有の税法科目への学習の取り組みがスムーズになります。(後ほどもう少し掘り下げます)

そして税理士試験で一番怖いのは何かといえ、一、二科目の合格はしたが、その後合格できずに税理士試験を諦めてしま、いわゆる「科目合格者」のまま試験勉強を休止してしまうことです。

税理士試験の最大の特徴は科目合格制であり、合格した科目は一生経歴として残ることです。そのため受験予備校などは、「仕事をしながら受験できる」ことや、「ある程度長い時間がかかっても資格取得を目指すことができる」ことを、「この資格試験のメリットとしてアピールしている場合が多いのです。

もちろん上記の話は真実で、四五歳から受験を開始し、受験期間一五年の末、六〇歳の還暦の年に合格した人なども知っています。反面、科目合格はしたものの、その後仕事や家庭の事情などで限りなく終戦に近い休戦状態という人が数多くいるのも事実です。



筆者も受験生時代には「強く存在した価値観」ですが、税理士試験を受験している仲間内では「科目合格」が心の支えになります。

もちろん科目合格の数がゼロよりは、一つでも二つでも受かっていれば、合格科目のない人からすればうらやましい限りだし、受かっている自分自身も得意満面といった気分になるものです。

ただし、いざこの「税理士試験受験業界」の外に出てしまえば、科目合格というのはほぼ意味を持ちません。要するに坎井之蛙（かんせいのあ）です。もちろん会計事務所のスタッフを目指して就職活動をするのであれば、科目が多いほうが就職で有利ですし、待遇も多少厚遇されるのはいうまでもありませんが。

見方を変えると、この税理士試験の科目合格制というのは、やっかいな制度です。科目合格が一生残るということは、五科目合格し税理士試験を突破しなければ、一生「税理士試験の受験の途中」ということになります。

そして科目合格者でかなり多いのが、「簿記論、財務諸表論は合格し、そのあと税法科目に合格しない」というケースです。

それならば、筆者は、簿記一級を先に受験することをおすすめします。簿記一級は、合格率一〇パーセント前後の競争試験といわれる試験に分類されます。

どれだけ勉強を頑張ればトップ一〇パーセントに入ることができるのかという、自身の難関資格試験への適正判定をするには、非常に適した試験だと感じているからです。

簿記一級に一定期間で受かるのか受からないのかは、その後の税理士試験の長い戦いの前哨戦としては、とても有意義だと思われまます。

「簿記一級になかなか合格しないようであれば、税理士試験自体を受けない」という選択肢は、会計業界以外で自分の適正にあつた他の業種を探す意味でも、非常に有意義だと考えます。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 簿記一級は年に四回試験を受けることができる

税理士試験と簿記一級の試験で大きく異なるのは、前述のとおり各団体ごとに年二回、合計四回試験を受けることができることです。筆者は税理士試験は足掛け五年で四回の受験で合格することができました。

一般的な平均合格率間は、七、八年程度といわれていますので、税理士試験は比較的順調に合格できたのですが、実は簿記一級の試験は当時の自分には非常に難易度が高く、大変苦勞をし合格までに三度受験に失敗し、四度目に全経上級簿記試験でようやく合格することができました。勉強を始めて半年の段階から試験を受け出したため、勉強期間は計一・五年かかっています。

この合格できない期間は本当に苦しい時期で、パン職人から税理士を目指すと宣言して初めて体験した、「合格率一〇パーセント前後の競争試験」に、完全に打ちのめされていた時期でした。

自分なりに努力しているつもりだが結果に結びつかない。やっぱり、そもそも合格するには能力が足りないのか？所詮無謀な挑戦だったのか？

何をすればいいのかわからない……など。

あの時は本当に苦しい思いをしました。

いまだに税理士試験も含めて、合格した試験のうち一番うれしかった（というよりも、ほっとしたというほうが正しい）のが、全経上級試験の合格です。

今振り返れば、この時期の勉強の方法は税理士試験の時の勉強方法とは異なり、とにかく荒削りに勉強さえすれば合格できると考え、ひたすら問題を解きまくり、間違った問題についても特に深い検証などをしていませんでした。とにかく敗因の分析がされていなかったのです。

要するに、不合格になるべくしてなったのですが、三か月に一度、本気の勝負をし敗北するという経験ができたことで、少しずつ当時のやみくもな勉強方法が競争試験では通用しないことを痛感し、勉強方法のブラッシュアップに取り組みだしたのがこ



の時期でした。もしこれが税理士試験であれば、三回不合格になるのに三年かかります。

結果論といえばそれまでですが、最初に三か月という短いサイクルで本気の勝負をし「負けることができた」のは有意義な経験でした。失敗や敗北は傷が小さい時期に経験しておくことが大事です。

## 簿記一級の学習範囲は簿記論、財務諸表論と多くの論点が重複

税理士試験必須の会計科目である簿記論と財務諸表論は、簿記一級の試験範囲とかなりの部分が重複します。

もちろん簿記論と財務諸表論は科目が分かれており、簿記一級の学習範囲よりもより深く論点を掘り下げるので、簿記一級に合格すれば簿記論、財務諸表論に即合格できる実力、という訳にはいきませんが、ベーシックな部分の知識を学習できるのは大きいと思います。

一般的に税理士試験では、税理士試験に合格するには三つの壁があるといわれているからです。

第一に「簿財の壁」

第二に「税法の壁」

第三に「法人税法の壁」

第一の壁は、必須の会計科目の勉強に対応し、合格できるのか、ということです。

第二の壁「税法の壁」というのは、税理士試験において避けて通ることができない、「税法条文の理論暗記」という作業が必要になります。

早い話が、〇〇税法という法律の文章を暗記する作業で、コツをつかめばさほど苦にならない学習ですが、最初は多くの受験生が苦労します。

簿記一級の試験を受けていることで、この二つの壁を一度に消化せずに、まずは、簿記論、財務諸表論の論点把握、その後、税理士試験について、税法と向き合うことができます。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック



もちろん、第二の壁である税法に手を出さずに、簿記論と財務諸表論を先に勉強すればよいではないかと思いがちですが、受験予備校などで一緒に勉強をしているライバルたちが一足先に税法の勉強をしていけば、やはり焦る気持ちが芽生えます。そのため、まずは簿記一級の検定を最終目標にすることが大事です。

# 簿記一級で 終わりにする？



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

[Amazonの販売ページはこちらをクリック](#)

## 簿記一級に合格して税理士試験は受けないが正解

簿記一級を合格してそのまま税理士試験を受けないというのも、選択肢としては大いにありだと考えます。税理士の行う業務は今後(現在二〇一六年)テクノロジーの進化でさらに業務が少なくなっていく予定です。会計業界で必要とされる人材は、パソコンなどで代替可能な正確な税金計算を行う人材ではなく、上がってきた数字を分析し、将来の展望やビジョンを経営者と共々できる広い視野をもった人材になっていくでしょう。

もちろん今現在もそのような人材が重宝されているのですが、今後クラウド会計の発展や近い将来普及してくるだろう人工知能が入った会計システムによって、記帳代行等の会計帳簿を作るといった業務事態が大きな転換点を迎えています。そう考えると、簿記一級で勉強する「管理会計」のような分析型の勉強のほうは、実務に則した学習範囲であるともいえます。ちなみに、税理士試験の簿記論、財務諸表論には原価計算、管理会計の学習範囲はありません。

実質を取るなら、「簿記一級に合格して税理士試験は勉強しない」のが実は正解なのかもしれません。

## 税理士試験を複数科目受験しない場合の漢字検定のススメ

消費税法は二度不合格でした。税理士試験の最後に残した科目であり、三度目の正直で合格しましたが、最後の年はやるべき勉強がなく、とても暇でした。

具体的な三年目の消費税法の勉強内容ですが、まず大原簿記学校の消費税法の上級クラスに申し込み込み、テキストや問題集を入手しました。ただ授業に出ても知っている論点を聞くだけで退屈だったので二回出席した後、独学に切り替えました。

すべて自分で勉強計画を立てて勉強をしたわけですが、何が必要で何が必要なのか、本試験当日から逆算した理論の暗記日程などを消化していくと、三ヶ月くらいに勉強するものが全くないことに気がつきました。

当時は大原簿記学校の講師をしながらの勉強だったので、通勤の行き帰りや始業前後に、一日二時間くらいは勉強できましたが、最終年度は暇でした。前述のとおり合格可能性は七〇パーセント程度であとは労力を使ってもその時の試験傾向など



に左右されると考えていたため、合格レベルに達した以上の勉強は無駄だと判断したからです。

そのため、「勉強時間はある。でもやる勉強がない！」という状態を解決するため、漢字検定三級と二級の勉強を始めました。こちらは消費税法の勉強が忙しくなったら後回しでも、自分自身の基礎学力の向上にはなるので、やって無駄なことはないと思いました。

結局漢字検定はどちらも同年に合格し、同時に税理士試験の勉強をしたのはよかったと思います。仕事をしながら税理士試験の科目を複数受けるのはなかなか大変ですが、一科目より複数の科目のほうが、勉強の中で気分を切り替えたりできます。

法人税法、消費税法、固定資産税の税法三科目受験の時は、特に法人税法で複雑な算式を頭を使いながら解いたあとは、固定資産税の主に手を動かす総合問題を解いたり、科目ごとのメリハリで結果勉強時間も伸び、集中力も維持できました。漢字検定は、理論問題の解答のためにも漢字を学習できてオススメです。

## 一年一発合格のための【一般コース】のススメ『日々の学習』

受験予備校の用意するカリキュラムには、初学者に対して、ベーシックな論点をしっかりと押さえて合格を目指す一般コースと、ベーシックな論点を年内や年明け早いうちに教え込み、二年目以降の受験生が行う演習中心のコースにシフトする上級直結コース(受験予備校によっても近年ではコース名も違うので、名称は筆者の受験当時のもの)とがあります。現在さらには複数のコースがあるようです。

筆者はすべての科目について一般コースで受講し、簿記論、財務諸表論、法人税法は受験初年度で一発合格をしました。勉強スペックが極めて高い人は別ですが、個人的には一般コースをおすすめします。

理由は二つあります。ひとつは、鶏口牛後(けいこうぎゅうご) ※意味 大きな集団や組織の末端にいるより、小さくてもよいから長となって重んじられるほうがよいということ。)の言葉どおり一年目になまじつか受験数年目のリベンジ組と日々の勉強



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

をして、自分の勉強の進捗に落ち込むくらいなら、ヨードンとスタートラインが同じ受験生の中で上位にいて、モチベーションを高めながら勉強をした方がよいということです。

もうひとつは、本試験の可否を左右する学習内容は、ほとんどの場合一般クラスで勉強する論点だからです。

税理士試験の可否は勉強している範囲が広いかどうかではなく、与えられた問題に対していかに正確に解答できるか、にかかっています。

そうすると、上級直結コースは受験予備校が提供してくれる論点は広くなりますが、学習範囲を拡大しすぎて、押さえるべき基本の論点の足元がぐらついてきます。

これでは絶対に合格しません。筆者は一般クラスで勉強しているときから自分の能力の身の程を知っていたので、人より広範囲の学習内容を確実に消化できない確信がありました。そのため「戦う武器は一般クラスのペーシクな論点で十分。上級コースで触れる論点が出題したら、諦めて帰ってこよう」と思っていました。結果は、やはり一般クラスの論点が可否を左右したため合格しました。

## 一年一発合格のための「一般コース」のススメ『本試験』

一般クラスでの勉強を薦めるもう一つの大きな理由は当然本試験を見越してのことです。税理士試験は合格の基準が六〇点と定められています。各科目の合格率が一〇パーセント前後という事から、実質的な競争試験です。

そして本試験の問題（計算問題は特に）は、すべての論点を解答できる問題という事はまずありません。出題された問題のうち、自分が解答できる論点を正確に見極め、かつ解答できると判断した論点を確実に解答する作業です。

ここで大事なのが、解答する論点は「できるかも」ではダメで、確実に解答できる論点でないと意味がない、ということ。解答できると思って取り組んだのに実際には解答できない場合には、限られた制限時間の無駄遣いになってしまいます。

一般クラスで学習する項目は、合格のために確実に解答すべき論点であり、この論点の解答の正確性が可否を左右します。日々の演習からその論点だけに学習範囲を絞って勉強していれば、本試験において、その部分は確実に取れるようになります。



逆はダメで、上級コースで触れた論点ではあるけれど、自分の中で学習を消化できていないのでは、本試験において手を出しても点数に結びつきません。

一般クラスでの勉強は、下手に学習範囲という戦線を拡大しないことによって、戦える論点は絶対に負けないようにする戦略です。特に一年目の限られた時間のなかで合格を目指す場合には、一般クラスで学習し与えられた学習範囲を深掘りして自分のものにするをおすすめします。

## 一年一発合格のための「一般コース」のススメ『複数科目が受験可能』

税理士試験は科目合格制の五科目の合格が必要です。

合格科目がそろっている場合を除いて、一度の受験で複数科目を勉強するためにも、上級直結コース(受験当時の名称を使用)よりも一般クラスで複数科目を受験したほうが、合格率は高くなると思います。

一年に一度の税理士試験は何があるか分かりません。本試験の問題は試験委員のみぞ知るわけで、受験予備校の予想した答練が全く出題されない事もあります。どんなに一年間勉強しても、本試験に絶対合格するという保証はありません。

ただし、一般クラスと上級直結コースでの学習消化時間は、一・五倍〜二倍くらいの違いがあります。一年で合格を目指す場合、多くは消化時間が二倍だからといって、実際に勉強に充てることのできる時間を二倍にするのはまず無理なので、一・三倍くらいの勉強時間で消化不良のまま本試験へ、となります。

ただ、勉強時間が増えても、合格できる可能性は大して上がりません。感覚的には、一般クラスでやるべきことは全てやって合格可能性マックスとしても、前述のとおり合格確率は七〇パーセントくらいのイメージでしょう。何が起きるかかわからない確率が三〇パーセント近く残ります。

上級直結コースでその「何が起きるかかわからない確率」、言い換えれば「かなり枝葉の論点が出題される確率」を全て潰し完璧に理解しても、せいぜい七〇パーセントの確率が数パーセント上がる程度で、合格可能性が九〇パーセント以上になることはありません。要するにコスパが低いのです。そうであるなら、一般クラスで本質的な学習だけに時間を使い、余った時間はミニ税



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

法を勉強したほうがいいでしょう。どうせ七〇パーセントしか当選しない合格可能性の宝くじなら、二枚買ったほうが当たります。つまり、トータルの当選確率が上がるのです。

筆者はそういう思考で、受験二年目は法人税法一般クラス、固定資産税一般クラス、消費税法一般クラス(再受験)という、税法三科目を勉強しました。一枚しかない合格可能性の宝くじの確率をさらに上げるより、三枚の合格可能性の宝くじを持っているほうが、長期的にみれば確実に短期で合格できます。

## 第四章 日々の心構えとモチベーション

### 税理士試験の勉強中に受験仲間は作ってはいけない

受験仲間は、はいりません。

筆者は大学受験の経験がないのですが経験した高校受験でいえば、志望校に受からなかったとしてもすべり止めなど、どこかには合格します。(もちろん浪人するということも選択肢はありませんが)

しかし税理士試験は、合格するか不合格かで、明暗がくつきりと別れるものです。

くつきりと別れると、どうしても仲がギクシャクします。自分が合格した立場でも、逆でも、どちらにしても気を遣います。特に一年間頑張った結果が出なかったときに、受かっている奴の得意満面の笑顔など見たくないというのが本音です。

そのため、受験生仲間は作らないほうがよいと思います。

受験勉強中の期間は孤独な戦いになるかもしれませんが、一度受験して、合否でぎくしゃくする経験をする、所詮、資格試験の勉強は孤独なものだ、ということ悟ります。



当たり前の話ですが、合格率一〇パーセントの試験は、合格者より不合格者のほうが多いのです。

受験予備校に通えば合格率は一〇パーセントよりも高くはなりますが、せいぜい三〇パーセント前後で、やはり不合格者が多数になります。

受験予備校に通いだすと、受験仲間のグループみたいなものが多くあります。

その中でも「主(ぬし)」といわれる人たちがいて、人気講師や答練の傾向等、受験予備校のウラ話などを沢山知っています。そういう人たちとは決してつるんではないけません。

受験予備校に長くいる人とは、言い換えれば、合格できない人なのです。

合格する人は受験予備校には数年しかいません。合格できない人は受験予備校のお得意様となります。どうせ仲間を作るなら、税理士試験に合格してから仲間を作ったほうがよいでしょう。

※といながらも、数人の受験生仲間はいましたが…

## 税理士試験受験中の恋愛のススメ

受験生仲間は基本作らないほうがよいが、恋愛はしたほうがよいというのが持論です。ただ、恋愛といっても受験生仲間同士で付き合っ、自習室でイチヤイチャしろというのではありません。

それは大切な勉強時間が奪われるので、おすすりません。恋愛といっても、ライトなやつで、自習室の近くのスタバあたりに自分のお気に入りの子を見つけて話かける程度の事です。

お気に入りの子に会いたい為に、朝早く起きて自習室に行けたらもうけものです。そしてその子と映画くらい行ったなら、科目合格したくらい嬉しいものです。税理士試験で簿記の知識は絶対に切り離す事は出来ません。自分も含めて、会計人の発想は複式簿記が頭から離れないのです。

何でも仕訳で考えたくありません。テトリスがその昔大流行した時に、頭の中でいつもテトリスが落ちてきているのと近い感覚です。複式簿記は当然、現金等のやり取りや対価が発生した事象に対して、客観的に記録をしていきます。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

「勘定」科目は設定しますが、そこに好きか嫌いかの「感情」は記録されません。結局記録するのは、対価が動くものだけです。何か商品を上げたり仕入れたりしても、元をただせば、魅力のある商品にお客様が「感情」を揺さぶられたので結果的に対価が動き、複式簿記により仕訳を記録します。

ただ会計業界にどっぷり浸かるとこの発想が逆になり、感情が置いてけぼりになる傾向があります。ビジネスする上では、人の感情を好転させるのか否かが全てだといってよいでしょう。会計はその結果を記録するだけです。

人を好きになり、相手に少しでもよく思われるにはどうしたらよいか、あわよくば映画くらいはいけるかも、みたいな訓練は受験勉強中でも出来るし、したほうがよいでしょう。税理士試験は答案に正解さえ書けば合格できます。ただそれを通じたらビジネスでは常に「人の感情」と対峙します。それは税理士の試験勉強の何倍も何十倍も奥が深くて難しいものです。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック



## 落ち込んだ時に「スラムダンク」を必ず読む理由

漫画家井上雄彦先生の「スラムダンク」は筆者もやっぱり大好きです。税理士試験の勉強に行き詰まった時や落ち込んだ時には「湘北 vs 山王工業戦」を必ず読み直していました。

一番好きなのは、最後のタイムアウトの時に赤木が一年の時を思い出して涙するシーンです。自分が掲げる高い目標は誰にも理解されずに、体育館に練習に戻ると小暮が練習しているというあれです。（スラムダンクを読んだことがない方にとっては何のこっちゃで恐縮です）

税理士試験に限らず、資格試験の勉強は孤独です。

学生時代の勉強と違うのは、例えば二〇代中盤で受験に専念していても、受験予備校の友人なら同じ境遇を理解できますが、一〇代からの友人などは就職し毎日仕事に追われていたりします。仕事をしている人からすれば、親のスネかじって勉強している姿などは「仕事もしないで何やってんの？」と言いたくなるものです。

筆者は税理士試験の一年目の受験専念で勉強していた時（当時二四歳）、中学時代からの友人に「二〇代中盤にもなって、親に頼って実家暮らしで勉強していて劣等感ないの？」という言葉を投げかけられたことがあります。未だに劣等感ないの？という言葉を使われた経験は、あとにも先にもこの一回だけです。

試験も順調に合格できていればまだよいのですが、負け（不合格）がこんできたりすると、精神的にも追い詰められます。何より自分がやっている事を自分自身が否定してしまいがちです。「いやそれでも信じる道がある」とハッキリでもよいから自分に言い聞かせないとやっていけない時があります。

そんな時にはスラムダンクを読み直して「赤木くわかるわあ。まだ自分も何かを成し遂げた訳じゃない。勉強頑張るかああ」と気持ちを入れ直します。

結局は、自分で積み上げるものって、とても地道で誰が見ているとか関係ないところで、どれだけ頑張れるかなんだよなあってスラムダンクを読むと実感できてまた勉強するモチベーションが復活するんですよ。そんな理由で、スラムダンクを読み返していました。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 試験勉強のモチベーション維持は勉強での成果しかない！

税理士試験の受験生時代に自分が常に考えていた勉強法は、自分の勉強へのモチベーションを高める為に工夫をするということなのです。

税法理論の暗記であれば、後述する階段式暗記法（自分の理論をかくして半分覚えてからさらに半分で覚え直す）です。計算でいえば、各問題に配点をつける、時間を測るなどで、自分の勉強の進捗度を可視化する事です。

受験生は誰でも孤独で、どんなに最初は「税理士試験に合格する」と断固たる決意で臨んだとしても、様々な場面で挫けたり、投げ出したくなるものです。

そんな時にモチベーションを保つのは「誰かとの比較」ではありません。

昨日の自分との比較です。勉強していて、昨日の自分より今日の自分が一歩でも前進できていると実感出来れば、モチベーションは意外と落ちません。

筆者の勉強方法は、勉強の履歴を可視化するために時間を計測する、点数を記載する、勉強時間を測っておくなど、かなり副次的な時間がかかります。

上記の方法よりも「問題を多く解いたほうがいいではないか？」と考える方もいるのではないのでしょうか？



しかし長期におよぶ税理士試験で一番怖いのは「勉強して絶対に資格を取るのだ！」というモチベーションが切れてしまうことです。

モチベーションが切れてしまえば、どんなに時間が空いたとしても勉強時間に変わることがないのです。

そうならないように、自分自身のモチベーションをコントロールすることが何より大事だと思います。

それは、根性論ではありません。

## モチベーションが下がったら自分よりダメな人を探そう！

モチベーションを管理するのは自分自身と書きましたが、それでも長い受験期間は試験前に近づけばナーバスにもなるし、受験予備校の講師に「学校の答案練習の点数に一喜一憂しないでください」と釘を刺されても、点数が悪ければ落ち込むものです。

そんな時は、悪いけれども、周りのライバルたちと比較して自分を励ますようにしていました。もちろん口には出さずに、心の中だけです。

比較対象は自分より成績の悪い受験生仲間です。科目に合格していない仲間たちです。

「自分も点数が悪かったが、友人の○○はもっと点数が悪かった。自分の点数はまだいい方だ。受験初年度なのだから当たり前。当たり前」や、「今この科目では成績が伸びていないが、○○はそもそも自分が去年合格した科目が受かってないから、この科目すら勉強できていないのだ。自分は順調な方だ。卑屈になることはない。うんうん」など、自分を慰めるために、友人に対して心の中で毒を吐くのです。

点数がいい時に気分が良くて、モチベーションが上がっているのは当たり前です。

そんな時は「自分などまだまだ。上には上がいる」とわりと謙虚です。

問題は、モチベーションが下がったときです。筆者は、わりとくよくよしがちです。

もうずいぶん前にヒットした本ですが「小さいことにくよくよするな！」という本を愛読していたくらいです。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

本にある副題「しよせんすべては小さなこと」というキャッチコピーにどれほど救われたことでしょうか。モチベーションが下がった時にどうやって再浮上するか、再浮上のきっかけを沢山用意しておくことはとても大事です。

筆者のように「他人を下に見て自分を正当化する」もよし、「美味しいものを食べて発散する」もよし「映画を観る」でもよし、です。

ただ試験勉強で落ち込んだ話は、本当の意味での再浮上は勉強でしか解消されません。

くじける時間は短めにして、また勉強するモチベーションにつなげることが大事なのは言うまでもありません。

## いつ何を勉強するかが本試験の合否を左右する

毎日の勉強において、いつ何を勉強するのかが意識しました。特に法人税法の勉強で自分が意識したのが、インプットの授業を受けたあとの勉強です。

受験専念(二年目)の時は午前中の10〜13時の朝授業を受講していました。授業が13時に終わったら休憩はしません。昼ごはんは12時前後に10分休憩で、事前に購入したおにぎりなどの軽食を食べておきます。

そして13時に授業が終わった瞬間に、その授業でやった論点のチェック問題(計算問題)を解答してみます。

もしその教室が十四時から別の授業で使用されるなら、前述したとおり12時の休憩時間に他の自習室に荷物を置きに行つて、授業が終わったらすぐに移動し、やはり問題を解答します。問題をひと通り解答し終わったら、またおにぎり等を食べて腹ごしらえをし、解答の答え合わせやミス、理解不足の部分をテキストで確認します。

法人税法を初学者一年一発合格するためにテキストの隅から隅まで完璧な理解をして、問題を解答出来るレベルまで高めようとおもったら、よほどの勉強能力があるか、法人税法一科目の受験でないと時間的には非常に厳しいでしょう。

そんな能力も時間もない筆者が実践したのは、授業で聞いてすぐ解答出来る論点は、テキストの読み込みなどは一切しないということです。

テキストの内容を理解しようがしまいが、問題が解答できたならそれでいいのです。



だから、授業を受けたあとすぐに解答しないとダメです。一時間も昼休憩した後では、理解不足で回答できないのか、忘却して解答できないのか、原因の所在が不明になってしまいます。忘却曲線によれば、一時間後は半分くらい忘れてるので、一分一秒でも早く問題を解答しておく必要があります。もし、一時間の休憩後に問題を解答するのなら、解答時間では同じでも、その後のテキストの理解に使う時間は大幅に変わってきます。

インプットの授業がある日は、授業が終わったらすかさずチェック問題を解いていましたが、授業がない日も、どの時間帯に何の勉強をするかは明確に決めていました。必ず毎日の勉強は前日からスタートします。前日の最後に、明日の朝に解答する計算問題のコピーを取っていました。

そのコピーを解答する順番に並べてホチキス留めをして、その日の計算勉強は終了です。次の日の朝七時に大原簿記学校の自習室に入って、まずは昨日セッティングした計算問題を解答しまくるのです。

時間は二〜三時間程度です。その間は一切答え合わせをしません。

授業があれば授業に出席します。授業がなければ、また二時間ほどの計算問題を解答します。十一時くらいまで解いて、そのあとはおにぎり等の軽食を食べながら、解答した問題の答え合わせと理解不足のところはテキスト等の読み込み、ミスノートの作成等を行います。

今日のミスした問題などは明日も解き直す必要があるのですが、それらを考慮して明日解答する問題をコピーして終了します。大原簿記学校の自習室を十五時くらいにあとにして、その後歩きながら喫茶店で理論暗記というのが、毎日のルーチンです。

授業がある時は、少し遅くて五時くらいまでです。筆者は、朝一番が最も集中出来ると考えたため、朝の数時間は計算問題を解きます。そして解くだけしかやりません。いちいち解答と照らし合わせていたら、その間は大事な朝の集中タイムが無駄になってしまいます。だから、解答との照らし合わせや分析は後にします。

集中タイムを過ぎた午後は午後で、一日分の計算問題を解答し終わっているの、心にゆとりが生まれて答え合わせができません。心にゆとりがあるから、腰を据えてミスした原因に向き合えます。

そこまで勉強したら筆者の計算脳みそはもう疲労しきってへろへろです。

へろへろの時間は頭を動かさずに体を動かします。問題のコピーなどの雑用をやって、明日に備えます。



どうしても受験専念だと「一日に何時間勉強しました」みたいな勉強の量で議論されがちですが、大事なものは集中力のある時間にとの学習をぶつけるか、です。筆者は集中力が続くのは一日せいせい四、五時間で、それも起床してからの数時間だけと思っていたので、このルーチンにたどり着きました。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

[Amazonの販売ページはこちらをクリック](#)

## 専門学校で授業の一時前に行って勉強するメリット

受験生はどうしても夜型に生活リズムが狂いがちです。

朝型の方が断然いいです。

簿記試験の時は完全に夜型でしたが、税理士試験になってから朝型に変更しました。

そして受験二年目は超朝型になりました。

そのキツカケは水道橋のスタバに鶴田真由似のアルバイトの女の子がいて、彼女に会うのが勉強をしている楽しみでした。

授業前に立ち寄るのが日課でしたが、週に二度程度しか会えませんが。

週に何度バイトしているのかと聞くと、週に四回は入っているといます。

おかしいと分析すると、休憩時間に当たっていることが多かったのです。

なぜなら、スタバの開店が七時で筆者が朝十時の授業に間に合うためにコーヒーを買いに行くのが九時半前後。そうすると、

朝一で出勤している鶴田真由は、丁度休憩に入っている時間帯になることが多いからなのです。

そこで、必ず休憩時間に当たらない時間にスタバに行くにはどうしたらいいのかと考え、そこでひらめきました。

開店すぐにお店にいけば、休憩に入っていることはないのです。

そのため、スタバに七時のオープンと同時に行くようになりました。

当時の自宅東京都品川区西大井から水道橋に七時に到着するには、五時三〇分起きの六時二〇分に電車に乗ります。

パン屋時代の早起きの習慣が役に立ちました。

勉強は、朝早く始めて早めに切り上げるのがオススメです。

元日は勉強してやる気のない時に休むべき



筆者は受験生時代には、元旦から勉強していました。

そして、受験予備校の講師時代も、受験生に元旦から受験勉強をしてくださいと話をしていました。

そうすると、受験生から「廣升はスパルタだ」という声が聞こえてきましたが、一〇パーセントの資格試験を合格するという意志としては、当然だという意識でした。

「元旦から勉強しろ」と言われると、どんな印象でしょうか。おそらくそれを聞いた当事者からすれば、「三六五日一日も休むことなく勉強しろ」と同義に聞こえるかもしれませんが。

しかし受験生時代の筆者はどうだったかというと、決してそんなことはありません。

気晴らしに映画を見に行くこともあれば、部屋の大掃除で二日勉強しないこともありましたし、受験初年度は、色恋話で一週間ほど勉強しない時もありました。

ただそんな筆者ですが、「元旦は勉強しましょう」と話をします。

その理由は、日本人であればおそらく、「一年で休んでいてもだれも何も言っていないのは元旦」ではないかと思うからです。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック



例えば筆者が受験生だとして、元旦くらいは勉強をせずに休んでいたとします。家族はまわりの人は「受験生なのだから試験勉強したら？」とは言っていないと思います。ただし、税理士試験の合格率は一〇パーセント前後です。周りのライバルたちを見回したら、おそらく、一〇人に一人以上は元旦にも勉強をしているはずなのです。筆者は受験生時代に「休む時」は「自分のモチベーションが上がらない時」だけと決めていました。

「元旦」だから休む、「ゴールデンウィーク」だから休む、のではなく「自分がやる気がでない時は休む」のです。誰しも、三六五日二四時間モチベーションが持続できる事などはそもそもありません。ですから「モチベーションが下がった時」に素直に休み、逆に、元旦であっても、モチベーションが高ければ勉強をします。

そういう筆者も、世の中が休みの雰囲気の際は、ちょっと気晴らしになんて考えることも多いのですが「元旦」というのは、筆者の中でとても大事なのです。

三六五日のうち、一番休んでも誰も文句を言わない日に休むということは、ゴールデンウィークも多分休むのです。

ゴールデンウィークに休むと、国民の休日も休みたくなるものです。

世間の休みに自分も休むと、自分のモチベーションが下がっているときにも休むのは当然です。これではたとえ効率的な勉強方法を確立したとしても、絶対的な勉強量が足りなくなり、合格しようがありません。

そのため、受験生時代は欠かさず元旦から勉強をしていました。

## 合格体験記をどう活用するかが鍵 概念編

筆者が税理士試験の受験をしていた頃(二〇〇二年～二〇〇六年)は、すでにインターネットは普及しはじめていましたが、今ほど皆ブログをやっていないなかったため、合格体験記の類は受験予備校のパンフレットに書いてあるものや、短期間で合格した人の出版された勉強メソッド的な本ぐらいでした。だから今とは比べものにならないくらい情報量は少なかったのです。

ただし少ない情報でも、合格体験記は日々の勉強をする上でとても有効でした。特に税理士試験の初年度は役に立ちました。それまで簿記一級を勉強していましたが、前述のとおり年四度の本試験があるため、さほどスケジュールを意識しなくてもがむしゃら感で勉強できました。しかし税理士試験は一年に一度であるため、先人たちの勉強のやり方はとても参考になり



ました。

筆者がまずやっていったのは、とにかく合格体験記の類で集められる情報は、可能な限り集めることです。

そして、とりあえず全て読んでみました。読んでみると、受験専念なのか、仕事をしながらなのか、一日何時間の勉強で合格したのか等の情報がわかります。さらに、それぞれ与えられた環境の中で創意工夫の勉強方法がありますが、その人独自の勉強法もある一方で、かなりの部分の勉強方法は最大公約数的に共通しているのがわかってきました。

例えばサッカーで考えると、ゴールの中にシュートするには、ある程度共通のフォームがありますが、ボールをゴールの外になら、どんな方法でも可能です。

いわゆる「王道の勉強方法」ってやつです。

これを知るには、一つや二つの合格体験記よりもとにかく数多くのデータを集めたほうがいいでしょう。合格するために共通する勉強方法を探せたら、自身と近い境遇の合格体験記を探せばよいのです。

正直、受験専念の二〇代前半の受験生が、結婚し子供もおり、仕事をしながら勉強していた人の合格体験記を実践しようにも無理があります。勉強ノウハウは参考になっても、税理士試験への動機や背負っているものや切迫感が全く違います。そのため、例えば「睡眠時間を極限まで削って勉強しました」といった話を聞いても、実践しようにもほとんどの場合は実践できません。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 合格体験記をどう活用するかが鍵 実践編

具体的な合格体験記の活用で言うとは理論の暗記方法について、ほとんどの合格体験記では「基本的には書いて覚えずに声に出して覚えた」と述べられています。

何度も繰り返し声に出してみても、理論暗記ができたかの確認だけ書いてみるのです。もちろん、勉強法は千差万別ですから、書いて覚えて合格した人もいるでしょう。けれどもその数を集計していくと、効率がよいのはどうやら声に出す方法だというのがわかり、これが理論暗記の王道です。

ただ、筆者はこの「声に出す」勉強方法をもう少し応用しました。ボイスレコーダーにイヤホンとピンマイクを取り付けて、声に出した音をマイクで拾い、イヤホンにこだまするようにしたのです。

声に出すほうが紙に書くよりも何度も繰り返し返せるし、脳への記憶の刺激があります。それなら、声に出した音をもっと大きく拾って脳を刺激すれば、暗記の能率は当然上がるはず。それが筆者なりの合格体験記の応用だと思えます。



筆者が勉強していた時代(二〇〇二年～二〇〇六年)にはスマホはありませんでしたが、今その頃よりもガジェットやテクノロジーを活用できます。一年に一度の税理士試験は、例えるなら一年後の目的地が設定されたロードレースのようなものです。例えば、理論を書いて覚えたって無駄ではありませんし、やらないよりはやった方が覚えるに決まっています。ゴールに向かって歩いていけば、いつかはたどり着きますが、それでは試験は受かりません。

最短の道が見えたなら、その道に向かってランニングするのか、自転車を用意するのか、はたまた車で走るのか、昔なら存在しなかった乗り物が今あるならそれを使うのか、など過去の王道を自分なりに解釈して応用できるかどうか、税理士試験に合格できるかは、そこにかかっています。

## 受験予備校での順位が気になる「気にすべき時」

税理士試験の本試験は、受験予備校が作るものではなく、試験委員が作るものです。そして試験の合否も、試験委員の出題する一発勝負の試験問題に対して、合格解答をすればいいだけの話です。

そんなことは頭ではわかっていても、受験予備校に通って勉強をしていると、その中での順位に一喜一憂してしまうものです。

受験一年目の初学者であれば、大いに気にしたほうがよいでしょう。特に九月から直前期の五月くらいまでは、一般クラスだけでの順位は大いに気にするべきです。

すべての科目にいえることですが、特にボリュームの多い科目については、前回の授業の確認として次回の授業で行われるミニテストや、月一程度のペースで実施される定例テストでは、必ず自分の今の順位を把握し、ある程度以上の位置(二〇パーセント以上くらいが目安)にないと、おそらくその年の合格は無理です。勉強範囲が他の科目に比して非常に多い法人税法ではそれが顕著です。繰り返しになりますが、税理士試験は年に一度の一発勝負で、日々の勉強は運動で例えるならマラソンです。

マラソンで最終的に勝利するのは常にトップ集団を形成しているメンバーです。例えば、一〇キロ地点で先頭集団から脱落した選手が大逆転で勝利することは、まずありません。

法人税法も同様に、皆一斉に「ヨイドン」でスタートする一般クラス(もちろん、以前勉強して再度一般クラスで勉強している人もいますが)において、トップ集団を形成できなければ、早急に次の月例テストではトップに入れるようにしないとダメで



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

す。二、三回やってもクラスの真ん中程度の順番しか取れないようなら、勉強不足か税理士試験に適正がないと思って諦めたほうがよいでしょう。

## 一年で税法三科目の計算の回し方

計算問題は必ず午前中に解くというのは前述しました。しかし同じ科目を長時間続けていても集中力が切れます。筆者がやっていたのは、自分で編み出したサンドイッチ解答法というものです。

前日のうちに翌日解答する問題をコピーしておきます。受験二年目の受験科目の法人税法、消費税法、固定資産税を六：二：二か七：二：一くらいの割合の分量にします。そして、その各科目のコピーされた問題は、一問ずつ法人税法、消費税法、法人税法、固定資産税という具合に、個別のチェック問題を順番に挟み込んで解答をします。

科目ごとに右上に蛍光ペンなどで色をつけておけば、答え合わせをするときには、分解し各科目にホチキス留めをしておせばよいでしょう。

この方式で解くとメリットが二つあります。

一つは、計算問題について各科目の勉強の偏りがなくなることです。もちろん法人税法がメインだから、力の入れ具合は法人税法が一番なのですが、自分が設定した割合で問題を解答するので、「法人税法にだけ時間をくわれて他の科目が後回し。それが積もり積もって、直前期にミニ税法の受験を諦める」なんてことがなかったのはとてもよかったです。

二つ目は、法人税法と消費税法、固定資産税で、計算問題といっても使う「脳力」が違うということです。法人税法は、複雑な計算算式を解答用紙に書きながら解答するため、一番脳みそを使います。

対して消費税法は、課税非課税などの判定中心なので、さほど脳は使いません。どちらかというケアレスミスをいかに防ぐかの戦略的な対策がモノをいいます。固定資産税についても、住居用家屋の判定や、各種の特例の有無等の判定を正確に行えば、その後はひたすら解答用紙にルーチンな算式を書いていくだけです。



これも記入の際のケアレスミスをいかに減少させるかを極めていく問題です。

各税法で、脳みその疲弊度が違うため、法人税法の問題を解答した後は、消費税法や固定資産税の問題を解き、「癒し系問題」と呼んでいました。計算問題をただ解答するだけでは、二〜三時間でも集中力を維持するのは大変なので、小さいメリハリをつけて解いていました。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 計算問題の攻略 日々の問題は自作で配点を振るべき

簿記論、財務諸表論、法人税法での日々の演習問題から、配点を振ります。

そして、配点には傾斜をつけます。取るべきところを多め(三点など)に、取るべきでないところは一点など、配点を振っておけば、解答の時間に対しての精度を確認できます。

この時の注意点は、例えば簿記論では、総合問題において数字が何度も動く売掛金のような論点は、「難易度が高い」配点を高めにするのはバツです。

その逆で、配点を高くしておくのは、むしろ少し電卓をたたけば解答が導き出せるような論点です。つまり、本試験において絶対に落とせない論点ほど配点を高くします。

その理由は日々の練習で、簡単な論点に配点を多くし難しい論点は、配点を低くすることで、絶対に落としてはいけない論点を身体に染みつける事ができるからです。

例えば、数字を転記するだけで得点になるようなところは出来てあたりまえです。

でも、本試験で緊張して、読み忘れや転記の際の数字のミスなどがあれば、それは、たったひとつのミスでも致命傷になりかねません。

対して、複雑な計算をするところは、緊張した本試験当日は多くの受験生にとって正解が出せない捨て論点になる可能性が高いのです。

それを練習の時から、身体に意識させるのがとても重要なのです。

## 一年で税法三科目の理論の回し方

税理士試験の可否を左右するのは理論暗記の成否だ、といっても過言ではないと思います。

ただ単純に本試験当日、暗記した理論が書けることは当然ですが、本試験までに理論暗記の学習をどのように進めることがで



きるのだが、合格の成否を非常に大きく左右するのです。

まず、税理士試験の中でも一番ボリュームが多いといわれる法人税法を例に、一年の勉強の流れを説明します。受験予備校のシーズンは九月からです。

初学者コースの勉強のペースは週に二回の授業があり、各授業ごとに計算の論点と、理論の暗記があり、次の授業までに計算および理論の暗記をして、次回の授業にてミニテストが実施されるといふサイクルです。

その際に、計算は論点を理解し解答できるようにし、理論暗記は基本的には、受験予備校が作成している理論のテキストを見開き一ページほど(文字数でいうと、五〇〇文字〜八〇〇文字程度)を暗記します。

このサイクルは翌年四月頃まで続き、四月からは新規の理論暗記は週一ペースに落ちるものの、九月から覚えた理論の暗記のし直し(受験生の間では「刷り直し」と呼ばれています)の作業が入ります。

刷り直しは、新規の理論暗記ほどに時間はかからず、新規の暗記時間の数分の一程度で覚え直すことができますが、その分、週に数題(三題程度から直前期に近づけば近づくほど数が増え、七月の試験直前は一〇題以上)の刷り直しをし、税理士試験本試験当日はすべての理論がスラスラ言えるようにしていきます。

その上で問題になるのが、計算と理論の勉強の時間配分をどの程度にするのかということですが。

法人税法合格者の勉強方法などを聞くと、九月から四月までは、計算七、理論三程度です。直前期の五月から理論の刷り直して理論暗記の勉強割合が少しずつ多くなり、七月上旬で計算五、理論五、七月下旬で計算四、理論六程度になります。

そうすると一般的には、試験が近づくにつれて理論の暗記に多くの時間を割かれて、計算に割く時間が減っていくという傾向になります。しかし本試験を「合格するため」には、実は理論問題は「書いて当然」であり、覚えているということは合格へのスタートラインに立ったに過ぎず、もう一つの計算問題の出来が結果を大きく左右するのです。

ただ、法人税法は他の税法科目に比べて、初学者(一年目)の合格率が他の税法科目に比べてかなり低い(他の税法が合格者の初学者割合が三〜四割程度に対して、法人税は一〜二割程度)といわれています。その最たる理由として、本試験に向けて暗記する理論の数が他の税法に比べて圧倒的に多いことです。他の税法が見開き三〇〜五〇ページほどの理論暗記に対して、法





人税法は七〇ページから一〇〇ページ程度あるため、法人税法初学者は理論暗記が追いつかず、直前の計算と理論の勉強時間の時間配分が三：七、ヘタすればほぼすべての勉強時間を理論暗記の刷り直し時間に費やすこととなり、可否を決する計算問題の力が弱くなって合格できなくなる、ということが多いのです。

対して受験経験者組は、理論暗記についてはすでに前年以前に覚えた理論の刷り直しなので、ある程度多くの時間を計算問題の学習時間に割くことが可能になり、結果として法人税法の合格者の割合は、受験経験二年以上の経験者組が多くなるのです。

ただし裏を返せば、法人税法初学者であっても、膨大な理論暗記の問題さえクリアをすれば、法人税法の一発合格は可能であり、筆者は理論暗記を徹底した暗記のメカニズムの分析により、受験二年目に法人税法、消費税法、固定資産税の三科目を選択し、法人税法、固定資産税の新規理論暗記は合計一〇〇題程度(法人税七〇題、固定資産税三〇題)、および一年目に受験済みの消費税法の理論四〇題を合わせた合計一四〇題の理論を暗記して本試験に臨みました。

では膨大な理論暗記を可能にする方法ですがまず、その前に一つ断っておくと理論暗記に「才能」は必要ありません。繰り返しだけです。問題は、どうやって繰り返したくなる仕組みを構築するかです。

断っておきますが、筆者は特段暗記が得意というわけではありません。むしろ大嫌いで大の苦手です。

中学生時代に、古典の授業で「春はあけぼの」を暗記するという宿題が出されたことがありましたが、当然暗記することはできませんでした。インターネットで検索して調べたところ「春はあけぼの」の文字数は四〇〇文字程度です。税理士試験の勉強をするまでは、四〇〇文字程度の暗記すらとても出来ないと思っていました。今なら余裕のよっちゃんイ力です。

## 新規の暗記は階段方式と達成感

理論暗記で一番大変なのは、新しい理論条文の暗記です。

一行覚えるにも、何度も何度も繰り返し返す必要があります。

しっかりと暗記するにはとにかく繰り返し返すしかない、というのは筆者にとっても苦しいのですが、筆者がやっていた勉強法は、暗記は階段式に覚えるほうがよいということです。



階段式とはどういうことかというところ、暗記の全文を半分ずつ、段階的に覚えていく方法です。

いきなり全く初めての文章を覚えるのはとても負担が大きいので、まずは覚える文章のうち、半分をカラーペン(赤)で消します。いきなり三メートル上にジャンプするのは無理なので、階段をのぼるようにそこに一つ一つの足場を組むのです。

半分が暗記できたら、もう半分のカラーペン(緑)で消します。

そして暗記します。

どちらも暗記できるようになったら全文を確認します。

これはどんな勉強でも王道の話で、例えば日常生活で当たり前のように使っている漢字であってもそうです。

小学校六年で習う漢字に「縦」という字がありますが、「糸」という漢字は小学校二年で学習します。「従」という漢字は小学校五年で習う漢字です。最初から「縦」を覚えるよりも、簡単なものから覚えて組み合わせるほうがよいのです。

この階段方式をすすめる理由はもうひとつ、暗記に対する苦手意識を和らげることです。

最初に理論暗記の勉強を始めると、一行覚えるのにも四苦八苦が続くので、はじめから理論暗記への苦手意識が出てしまいます。すると、どうしても計算の勉強の後回しになってしまうのです。

半分隠して半分だけ覚えればよいのなら、覚えるのはかなり楽です。

半分覚えて、半分のノルマが終わったという達成感は、次の日の勉強へと続きます。

人間、頑張っても頑張ってもできなければ、モチベーションは下がるものです。

逆に一歩一歩でも前に進んでいけば、モチベーションは上がるものです。

結果的に暗記のための所要時間は大差ないかもしれませんが、「暗記作業は辛い」と自分自身が体験することのほうが、日々の勉強のサイクルへの影響が大きいのです。

## 新規理論は暗記レベルを見極めろ！

理論暗記について最初に悩むところが、何をもち「暗記ができた」と位置づけるか、ということなのです。

計算問題なら簡単です。答え合わせをして解答が正解なら、それがひとつのゴールになります。

では理論暗記はどうでしょうか？



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

理論は声に出して覚えるべきだと以前話をしましたが、おぼろげでも間違わずにいうことができればそれでいいのでしょうか？

それともスラスラと言えるようになるまでやるべきでしょうか。

筆者は、一度目の暗記の精度は、その後の五月から七月時のいわゆる刷り直し時のためにも、ある程度すららと言えるレベルまで暗記の精度を上げるべきだと考えています。

では「ある程度すららと言えるレベル」とはどの程度でしょうか。

それは、条文を普通に文章を読むスピードで読み上げられるレベルです。

おそらく見開き一ページの条文であれば、三分(一八〇秒)から四分(二四〇秒)程度だと思っています。

基準はその理論のテキストを見ながら読んでみた場合の「読んだ秒数×1.2倍から三倍程度」かと思っています。

これは新規の理論暗記では結構厳しい基準です。

自分では精一杯早くアウトプットしているつもりでも、結構時間は掛かっているのです。

暗記したてなので、頭に入りきっていないのは当然なのですが、この時間は、直前期になって刷り直しが何度も行われていくたびに、だんだんとスピードが上がってきます。

試験直前に合格に必要な暗記レベルは、時間でいうと自分の場合は文章を読む時間の0.8程度でした。

本当に暗記が進んで、本試験当日に何の躊躇もなく覚えた条文がスラスラ出てくるレベルというのは、実は文章を読むよりも断然高速になるのです。

本試験に合格するための暗記のレベルがその程度だとすると、新規で暗記する時は上記の1.2倍レベルで仕上げる必要があります。

それができないとやはり後が苦しくなります。できないからと匙を投げるより、「できるために何をするか」と思います。

「しっかりと暗記のレベルを見極める！」これが重要です。



## 理論暗記は書いて覚えるは絶対ダメ

税法の理論暗記は、最低でも一週間に見開き一ページを暗記します。

前述した法人税法や所得税法などのボリュームの多い税法科目については、一週間に二ページ程度の暗記をほぼ継続する必要があります。

その際に「何かを覚える際には書いて覚える」という人がいますが、書いて覚えるには、上記のペースを継続するのはかなり困難です。

さらに五月からの刷り直し時に、書いて確認するというのは、よほどの覚悟がない限りオススメしません、というより、絶対をやめたほうがよいです。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

前述したとおりボイスレコーダーが必須です。

ボイスレコーダーで声を録音して、その録音した音声を二倍の早さで聞き直します。

単純に書いて覚えるとする、一ページ六〇〇文字程度を書くのに、一般的には一二、三分かかります。そして、その書いた条文が正しいかを確認するのに、六、七分かかると仮定すると、一度の理論確認で、二〇分程度の時間を要することになります。

一方、声に出して覚え、それを耳で確認するのなら、暗唱するのに六分と仮定しても、聞き返すのに三分の合計九分です。単純に同じ作業をしても、かかる時間は半分以下になります。

さらに録音した声を確認するのであれば、スラスラ言えたところ、つかえながらやっとで覚えていたところなど、どの部分の暗記が進んでいて、どの部分が進んでいないのかが一目瞭然であり、理論暗記の効率が格段に増すのです。

ところで消費税法三回めの受験時に漢字検定の三級、二級を同時受験した話は前述しましたが、漢字を覚えるのであれば、やはり「書いて覚える」のは有効であると思います。

なぜなら、書き順やへんやつくりなど、書くことで意味を消化しながら記憶も刺激するので、とても大事な作業です。それに、へんやつくりを口で言うより結局書いた方が早いので効率がいいのです。

ただ話を理論暗記に戻すと書いて覚えては上記のペースには間違いなく追いつきません。どうしたら限られた時間の中で、効率よく脳に記憶を刷り込むことができるかを考えると「声に出して覚える」のが一番効率的なのです。

また理論暗記は、ウォーキングを兼ねて取り組むのがおすすです。受験専念時代は、寝ている時間以外は勉強する体制を整える必要があります。しかし、運動不足は勉強にも影響しますので最低限はしたほうがよいでしょう。ウォーキングしながらだと、暗記効能、集中力が増します(気がします)。

日々のルートを決めておくと、いつも歩く場所までの所要時間は決まっているので、暗記にかかっている時間を体で感ずることが出来ます。



## 消費税法の理論暗記は覚えにくい？

税理士試験の本試験の理論対策で学習するのは、受験予備校の用意した条文テキストですが、消費税法の条文テキストは特に覚えにくくて苦戦しました。対して法人税法の理論暗記は、比較的覚えやすかったです。

覚えやすいか覚えにくいかは、もちろん条文の内容を理解してから覚えているのか否か、という違いは大きいですが、同じように理解してから覚えても、法人税法より消費税法のほうが覚えにくいはずはです。

理由は、受験予備校が作っている条文テキストの編集の違いにあります。

受験予備校で作成する条文テキストの分量について、法人税法を100とすると、消費税法は40程度です。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

しかしオリジナルの法人税法と消費税法の税法条文の分量では、一〇倍以上の差があります。※租税特別措置法の法人税法、消費税法の該当部分も含む。

法人税法の場合はオリジナルの税法条文の分量がとて多く、条文テキストに圧縮すると、覚えやすいように条文の骨子がコンパクトに集約されているため、文章が理解しやすい構造になっています。

対して、消費税法の理論はオリジナルの条文が多くないため、圧縮率が低く、条文オリジナルに近い形での条文テキストになっています。オリジナルに近ければ近いほど、税法条文独特の言い回しやカッコ書きなどが加わり、覚えにくくなります。複数の税法科目を勉強している場合には、覚えにくさなども考慮して理論暗記の時間を確保することをオススメします。

## 日々の勉強は計算も理論もタイムを把握し記録せよ

演習問題は必ずストップウォッチなどで解答時間を計測しましょう。これは、総合問題だけでなく論点ごとの小問題でもです。

税理士試験にとって合否を決するのは、まず大事なものは計算問題の成否です。

理論問題はもちろん大事ですが、理論問題が書いて初めて合格へのスタートラインに立ったと思ったほうがよいでしょう。最後の合否の分かれ目は計算問題の出来次第なのです。

その計算問題については日頃の演習から必ず時間を測ります。

日々の問題演習であれば、同じ問題を最低数回、ミスの多い問題や、重要な問題であれば、同じ問題を一〇回以上解き直すこともあるでしょう。しかし回数を重ねることに解答時間を短縮させる必要があるのです。

とにかくスピードを上げながらさらに正解率を上げましょう。

スピードを上げた方がいいがケアレスミスが多発し正解率が下がったなら、なぜケアレスミスが発生したのかを検証します。

日頃の演習からスピードを上げることを意識しましょう。

また、理論についても、ひととおりのスラスラ理論を言えるようになったら一題の理論をいどの位かかるかの時間を測る



ことをおすすめます。

当然、早く言えるほうが理論暗記の定着度は増していますので、特に直前期のいわゆる理論暗記の刷りなおしの時期には、時間を計測することで、その理論暗記の定着度が強いのか弱いのかは時間を計測していれば一目瞭然になります。

## ミスノートの作り方

筆者のミスノートは、現場検証型です。

計算問題はすべて問題をコピーして解答します。どんなに小さいチェック問題でも演習問題でも、必ず原本はとっておきコピーしてから解答するのです。もし解答した問題でミスがあった場合には、その問題に赤ペンで書き込み、そのページをファイリングしてミスノートにしていきました。

こうすることで、ミスが起きた問題の状況証拠が明らかになります。勉強開始時はいろいろなミスノートを作っていました。例えば大学ノートに、ミスした日、ミスした内容、対策、という項目を手書きで残していた時期もありました。

しかしこれだと時間もかかり、何よりも見返した時にどんな状況でミスをしたのかがわからないため効率が悪く、現場検証型にしました。

この方法の長所は、ケアレスミスの類を検証できることです。いつも間違いをしないのに、その問題では「読み違いをした」「読み飛ばしをした」というのが分析できます。交通事故の起きやすい交差点を分析するのと似ています。

スマホがある今なら、ミスした論点を画像データで保存しておいてエバーノートなどに格納しておけば、デジタルミスノートができると思います。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック



## ケアレスミスはなぜ発生する？転記ミスと電卓の打ち間違い

税理士試験合格まで、数限りないケアレスミスをしてきました。

何をもってケアレスミス（不注意による誤り、軽率な間違い）かというのは人それぞれで、そもそもミスを不注意と片付けてしまうことに問題がある気もしますが、ここではケアレスミスとして、転記ミスと電卓の打ち間違いを取り上げます。

この二つのミスが起きる原因は、筆者の分析では、どちらも目の動きの距離が遠くなればなるほど発生確率が高い、という結論に達しました。



例えば、問題文の数字を電卓で計算するときはこの距離が遠ければ、数字の打ち間違いや「6」と「9」を見間違っなどのミスが発生します。

また、科目によっては計算表を別途作る場合があります。自分は消費税法では仮計算表を作る派で、固定資産税の計算でもルーチン化した計算算式を別途の計算用紙で作成していました。この計算用紙に問題文の数字を転記する際にもやはり、問題文と計算用紙の距離がケアレスミスの発生確率が高まる原因だという結論にいたりしました。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

[Amazonの販売ページはこちらをクリック](#)

講じた対策は、単純ですが電卓で四回以上数字を加減算したり、複雑な算式の計算の場合には、問題文の横に電卓を持っていくことです。電卓を運ぶ手間はかかりますが、問題文の数字と電卓の数字が視野の中に収まるので、数字の見間違いなどのミスは明らかに少なくなりました。

また、仮計算表も同様に問題文の近くに持っていくわけですが、その際に工夫したのが、仮計算表を非常にコンパクトにしたことです。消費税法の仮計算表は通常紙一枚に書くのが一般的ですが、筆者が作っていた仮計算表は、縦長で非常にコンパクトであるため、必ず問題文の横に持って行き、数字の転記をします。

ケアレスミスの原因は、こういう時にはミスが起きる可能性が高まるということとを自分で認識できるかどうかだと思います。ただでさえ本試験は緊張して普段当たり前にできることができなくなる。であるなら、普段から、どうしてケアレスミスが発生するのかを分析しておくことが大事なのです。

## 第五章 ガジェット

### おすすめのボールペン 計算編

「ハイブリッドテクニカ 0.3mmブルー」できまり

筆者は筆記用具へとても強いこだわりがあります。税理士試験は、一二〇分の試験時間のうちの多くを「書く」という作業に使うため、ボールペンをどれにするのかは極めて重要です。

そこで、今回は税理士試験の計算問題に使ったボールペンを紹介します。自分が選んだボールペンの基準は四つです。

インクの出がいい(なめらか)

細字



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

筆圧が強くても芯が折れない削り出し加工  
インクの色はブルー  
この四つの基準を満たしているのが、ぺんてる「ハイブリッドテクニカ 0.3mm ブルー」でした。

絶対オススメ  
ハイブリッドテクニカ  
0.3mm



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

多くのボールペンを試した結果このペンにたどり着きました。では四つの基準の理由を詳しく解説します。

## インクの出がいい

まず、ボールペンを選択する際に水性のゲルボールペンにするか、あるいは油性のボールペンにするかは好みがありますが、筆者は水性のゲルボールペン派でした。

理由は水性のゲルボールペンの方がインクの出がスムーズで、筆圧をかけなくてもインクが出るからです。これは結構重要で、税理士試験の受験科目にもよりますが、特に税法科目は計算問題の解答だけ記入するのではなく、その計算根拠となる算式を書き続ける場合が多いのです。筆者が受験した税法科目は 法人税法、消費税法、固定資産税でしたが、特に固定資産税は一度解答を作成しはじめたら三〇〇四〇分は解答の計算根拠をひたすら書き続けます。だから書き心地は滑らかであるに越したことはありません。もちろん、計算が終われば理論問題もボールペンを走らせ続けるわけですから、なるべく書き疲れが少ないボールペンを選ぶ必要があります。

さらに、同じ文字や数字を書いた時に、油性のボールペンに比べて水性のゲルインキのほうが、字が自分なりにきれいに書くことができたからです。油性のボールペンは、滑る感覚がどうも苦手でした。

## 細字

計算用のボールペンと理論用のボールペンを使い分けています。計算用は絶対に細字が必須で、理論用は細字である必要がありません。計算に使用するボールペンが細字の必要がある最大の理由は、問題用紙の中に備忘の数字などを書く際に、小さなスペースにも書き込むことができるか否か、というところにあります。本試験は日頃行ってきたケアレスミスの防止対策を、いかに忠実に再現できるかが合格の決め手です。その上、本試験は必ずといっていいほど、新しい問題の形式が出題されます。ですからどのような問題の形式であっても、いつもと同じく、自分が解答しやすいように数字を整理する必要があります。

そんな時に、ある程度のスペースがないと書き込めない太字のボールペンでは、付属の別紙などに数字を書いたりすると、問題



用紙と目が離れるため、前述のとおりケアレスマスが多発します。そうならないために、可能な限り小さいスペースでも書き込める細字のペンがよいのです。

## 筆圧が強くても芯が折れない削り出し加工

これは二つ目の細字という基準の追加項目です。細字のペンの弱点は筆圧が強いと芯が曲がったり折れてしまいがちなところです。そのため細字ペンでも、芯が折れない削り出し加工であることが必要です。

## インクの色はブルー

税理士試験ではインクの色はブラックかブルー系という指定がありますが、絶対にブラックはダメです。インクの色はブルーでも可能な限り明るめのブルーがおすすです。理由は、ブラックのインクを使っているとケアレスマスの発生確率が高いからです。基本的にケアレスマスを少なくするには、できるだけ問題用紙の中で必要な数字を整理する必要がありますが、黒いインクだと自分で書き込んだ情報と問題用紙の文字と同化してしまい、自分で書いた情報を読み飛ばしてしまう可能性が高くなります。そのため、なるべく問題用紙の文字とコントラストがあればあるだけいいわけで、そうであればなるべく明るいブルーのインクがいいというわけです。

## 色々なボールペンを試したけれど

上記の四つの基準を満たすのが、ペンてる「ハイブリッドテクニカ0.3mmブルー」となるわけですが、このペンにたどり着くまで、たくさんボールペンを使ってきました。まず、筆者の受験勉強当時(二〇〇二年〜二〇〇六年)に爆発的にヒットした三菱鉛筆の「ジェットストリーム」です。これは油性ボールペンであるにもかかわらず、とても滑らかな書き心地を実現している話題でしたが、滑りすぎて苦手でした。○.五ミリくらいだとそれなりに書き心地はいいのですが、細くなるとインクの出方にムラがあつてボツです。



また、「PILOT」の「ハイテックC」も一時期使用していましたが、これは筆圧が強いとすぐにペン先が曲がってしまっていて使い物になりませんでした。

OHTOの「ニードルポイント」という削り出しのボールペンのシリーズを一時期使っていたことがありました。しかし東京ハンズなどでしか売っておらず(当時は今ほどネットで気軽にショッピングができませんでした)、ぺんてる「ハイブリッドテクニカ」のようにどの文房具店でも気軽に購入することができなかつたため、使うのをやめました。

結局最後まで試し続けたのは、ぺんてる「ハイブリッドテクニカ」シリーズの親分に当たる、ぺんてる「ハイブリッド0.5mmブルー」でした。書き心地やインクの滑らかさは、ぺんてる「ハイブリッド」のほうが上でしたが、細字であることを優先して結局弟分の「テクニカ」を採用しました。

## たかがボールペンされどボールペン

税理士試験は一年に一度です。この本試験で自分の実力を発揮するためには、ボールペンをどれにするのかはとても重要です。上記の四つの基準のうち特に、「細字」と「インクの色がブルー」は絶対だと考えています。本試験の合格可能性を上げるには「ケアレスミスの発生確率をいかに下げるか」が一番の決め手であるため、細い字を問題用紙内に記入し、視界の中で数字を整理することと、その記入した数字を色で判別するためには外せない要素だと断言できます。「たかがボールペンされどボールペン」です。

## おすすめのボールペン 理論編

理論でおすすめなのは、パイロットのVcorn(フイコーン)。

基本的には計算で重視する点と同じですが、計算で最重要なのは、ペンの細さです。

対して理論編では、インクのでのよさを重要視します。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

ペンの角度をかなりきつめにしてもインクがスムーズに出るかが重要で、その点を満足させてくれるのが、Vcornでした。理論はスピード感が大事なのと、四〇分近く書いていても疲れないインクでこれできまりです。

## 税理士試験におすすめの電卓

シャープの実務電卓「EL-G34(一二桁)シャープ学校用電卓」を税理士試験で使い、今でも愛用しています。この電卓は、自分が受験していた二〇〇二年から二〇〇六年くらいまでのものと、その後で発売されているものでは、型番は同じですが、明らかに作りが違います。

昔のほうは打ち心地も抜群でしたが、最近の作りのものは打ち心地が悪くなっています。いまだに一台修理しながら使っていますが、ヤフオクでいつも探しています。さほど使っていないものより、使用期間が長いほうが前の機種の可能性が高いため、中古を探しています。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック



受験初年度は変わり種の電卓を使っていました。「ナチュフェイス(ND-2000)」という電卓です。液晶の表示が通常の電卓よりも精細に表示できて、数字の認識がしやすく、なかなか画期的な電卓で気に入っていました。けれども、これで電卓の数字の読み間違いのケアレスミスが減ったという思い出は正直ありません。そもそも、電卓の数字の読み違いというケアレスミスはしなかった気がします。

## 電卓左打ちをおすすめする理由は早く打てるだけではない

税理士試験の受験生にとって、計算問題を解答する際の電卓の使い心地は極めて重要です。そして、どのメーカーの電卓を使うかと同じくらい税理士試験受験生の間で必ず話題になるのが、「電卓を右打ちにするのか左打ちにするのか」です。正確には「利き腕で打つのか逆で打つのか」ですが、個人的には、左打ち(利き手の逆で打つ)を絶対におすすめします。その理由は二つあります。

まず一つめは、やっぱリスピードが上がるからです。

利き手でボールペンを持ちながら打つ場合は、実質中指だけか、中指から後ろの三本の指で電卓を打つこととなりますが、左で打てばすべての指を使うことができますし、解答用紙のスペースに電卓を置かないため、解答用紙のスペース確保のための小さな時間も取られず、小さい時間の積み重ねですが、右打ちよりは左打ちのほうがスピードは確実に上がります。



二つめは、ケアレスミスが左打ちの場合のほうが絶対に少なくなるからです。

左打ちの場合は、基本的にブラインドタッチなので、目線が電卓にいきません。前述のようにケアレスミスの発生原因は、主に目線が動くことで、必要な資料が視界から消えたりするからです。

この回数が増えればミスの確率は必然的に上がるため、電卓を叩くことで目線が問題用紙、解答用紙から離れるのはできるだけ回避するべきです。もちろん、右打ちでもブラインドタッチで電卓を打てれば、二つめの問題はありませんが、やはり左打ちがオススメです。ちなみに、左打ちは最初は慣れなくても一か月ほど練習すれば違和感なく使えるようになります。

## 第六章 直前期と本試験当日

### 直前期に「総合問題何回まわすか」という議論はアウト

税理士試験の受験生の間では、問題を何度も解き直す事を「まわす」と呼んでいました。

直前期になると受験生の間では、本試験までに総合問題を「何回まわすか」と話題になります。要するに、総合問題を何回解き直すかという意味です。まず声を大にして言いたいのが、総合問題は何度も「まわす(解き直す)」類の教材ではないということです。

まず、総合問題というのは、その名のとおり、さまざまな論点が混在しています。そのため、すでに理解しているような問題を解き直すこととなる一方で、苦手な問題に時間が割けなくなります。試験までの限られた期間では、個別問題の精度を上げるべきと考えます。

自己を分析しながら、必要な問題に取り組むのが、試験直前に不可欠な考え方になります。



総合問題はその実践の場であって日々の鍛錬をするところではないのです。それを、勘違いして、とにかく何度も何度も総合問題を解けばいいと思っっている受験生の方。愚の骨頂ですね。

## 本試験当日に持っていない理論はいつ捨てるか

特に受験初年度は、受験予備校が用意している条文テキストのうち、すべての理論を完全に暗記して本試験に臨める人はほんの一握り。ほとんどの場合は、出題可能性が高いと考える理論から順番に、全体の七、八割の暗記ができればよいほうです。本試験に向けて、「暗記して持っていく理論」と「暗記せず持っていない理論」の判別が必要になりますが、持っていない理論の判別はいつ行うのでしょうか。

多くの受験生は、直前期に理論の刷り直しが回らないという理由で、直前二か月〜一か月で本試験に持っていない(実質的には持っていない)理論を選定しますが、それはもったいないことです。持っていない理論なら、最初から一文字も覚えていないのと変わらないので、無駄な勉強時間を使ったことになります。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

受験初年度なら仕方ありませんが、それでも三か月前には、持っていない理論とは決別するべきです。受験二年目以降であれば、自分の理論暗記の得手不得手、覚え方などがそれなりにできてきます。覚える題目は変更 **OK** ですが、本試験に暗記して持っていない暗記の題数(キャパシティ)は、一月でおおよそ確定させておくべきです。したがって、受験二年目以降は本試験にもっていない理論は一月に判断するが正解です。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

[Amazonの販売ページはこちらをクリック](#)

## 直前期は受験予備校での順位を気にしないほうがよい

受験予備校の「一般クラス」で勉強を始めると、本格的な答案練習時期には、受験予備校の中の順位はどうしても停滞期に入ってしまう。

理由は単純です。この時期からは、本試験対策用に実施する答案練習が、初学者に受験二年目以降のリベンジ組を加えた全員での実施になるため、初学者にしてみれば、一般クラスではトップ十パーセント程度に入っていたのに、突然上位三〇〜四〇パーセントくらいに落ちてしまいます。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

もちろん、一般クラスの学習者でもリベンジ組に割って入って上位数パーセントに食い込む人もいますが、多くの受験生は上位二〇〜三〇パーセントくらいにつけるのが関の山でしょう。

結論からいうと、一般クラスで勉強をしている初学者であれば、直前期の順位は上位三〇〜四〇パーセントでも十分です。で、受験予備校での順位を気にする必要はありません。

では何を気にすべきか？それは、自身が解答する、出来ると判断した論点の正答率をひたすらあげる練習をすることです。要は、自分の仕事をする！ということに徹底することです。受験初年度の受験生に対して二年目以降の受験生の方が勉強時間は多いのは当然です。

しかも去年以降に受験予備校の答練問題も解答しているのだから、点数を取れて当然なのです。その受験生と受験予備校内の順位の争いをしてても全く不毛なのです。

さらにいうと、そこで受験初年度の受験生が、動揺してしまったら二年目以降の受験生の思いつぼなのです。

## 税理士試験の受験願書を出すタイミング

税理士試験の受験願書は、願書の受付開始後すぐに出すか、それとも期限ギリギリに出すか——これは本試験をどのような環境で受験したいかによって変わります。

まず、前提として本試験当日は、受験願書を提出した順番に受験番号を割り振られ、その番号順に受験する会場での教室などが割り当てられます。

当然、受付が始まってすぐに受験願書を出す人は、試験に前のめりな人が多いです。そのため本試験当日は実際に受験する人がほとんどで、合格レベルが達していないのに、受験するいわゆる記念受験の方はほとんどいません。

税理士試験は、試験開始から一時間を経過すると、二時間の試験時間の終了を待たずして退出することが可能ですが、本気で合格しに来ている方が殆どであるため、途中で退出する受験生はさほど多くありません。

対して願書の受付期限ギリギリで出す人は、記念受験の方も多く本試験当日の出席率は低いです。開始一時間での退出者も多いです。前者のメリットは、本試験当日の時間配分などを考えるときに、周りの受験生の電卓の音などで、ライバルの受験



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

生の計算理論の配分などを感じながら進めることができます。

例えば、二時間の試験問題のうち、計算問題のボリュームが多く七五分から八〇分近くかかると見込んだとすると、合格レベルの受験生も同様に考えている場合が多いため、開始からその程度の時間になると、まわりでの電卓の音が少しずつ少なくなつてきます。

やっぱり同じことを考えているなと確認出来るわけです。

対してデメリットは、本試験の出席率が高いので、机の間などが狭い試験会場であった場合にはやりづらことです。

これが、願書を期限直前に提出すると、そのままメリットとデメリットが逆になります。合格へのモチベーションが低い受験生達ですからそもそも、本試験に現れない。

一時間で退出するなど、机を比較的余裕で使える可能性が高い一方で、そもそも受験生が少ないで電卓の音自体がまばらということになります。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 本試験前の禁欲生活は必要か

禁欲。

ボクシングなどの格闘技やスポーツの世界だとよく話題にのぼりますが、年に一度の資格試験にも多少当てはまることがあるのではないかと思います。一時期本気で考えました。そして、受験の一、二年目は、本試験当日から逆算して三日エロの類は禁欲しました。三日程度を禁欲というのかという話は横に置いておきますが。

三回目の受験、固定資産税の時は全く気にしませんでした。そして最後の受験科目の消費税法を受験した時は、試験前日にビールのロング缶を三本飲んでいました。受験の結果だけ見れば、影響はないと思います。結局は、それ以上に一年間の生活リズムを整えて、ルーチンに勉強していればよいと思います。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック



## 試験本試験の受験地をどうするか

筆者は、生まれも育ちも東京都品川区。受験当時もまだ実家で暮らしていました。ですので、税理士試験の受験地としては、一年目から東京の早稲田大学で受験しましたが、最後の科目「消費税法」の受験については、沖縄の那覇の会場で受けました。

受験会場は「沖縄産業支援センター」(那覇市字小禄1831-1)という、那覇空港と那覇の市街地である国際通りのちょうど間くらいに位置する会場でした。

今振り返ると、沖縄での受験は本当に面白かったのですが、もちろん税理士試験が開催される夏の時期、沖縄への旅費はバカになりません。受験日の二〇〇六年八月一日に合わせるために、七月二九日に沖縄入り、八月一日の受験後すぐに帰宅というスケジュールでした。それでも、沖縄で受験してみたかったです。



沖縄産業支援センターの前で撮影



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

なぜか。

それは、ネタ作りのため。これが一番の動機です。税理士試験は受験勉強の期間が長くなりがちです。はっきりいって東京の早稲田大学でそれまで三度受験していたので、もう同じ受験地で受けるのには飽きていました。でも、埼玉とか宮城で受験するのもなんだか中途半端ということで、だったらバカンスも兼ねて沖縄にしようということにしました。ちなみに、その当時交際中の恋人もこの「沖縄受験旅行」に誘いましたが、平日にかぶる旅程だったため断られ、一人で行きました。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

ちなみに、インターネットで調べたところでは、試験官がかりゆしウェアを着ているとのこと。これは確かめなくちゃ、と会場に入ってみると……。試験官はもちろん、他の補助スタッフも全員がかりゆしウェアでした。当時(二〇〇六年)は自分の知識が乏しかったので、試験官がかりゆしウェアというのは新鮮でした。その後税理士の実務家になり沖縄のクライアントを訪問すると、夏には事務職の多くの方がかりゆしウェアを着用してはなりませんか。振り返れば大した話ではありませんが、当時は驚きました。個人的には、かりゆしウェアの柄とか大好きなので、強く心に残っています。

## 本試験を沖縄で受けた感想 試験直前まで

滞在了したホテルは受験会場の沖縄産業支援センターから少し離れた那覇の国際通りの入り口近く、パレットくもじという商業施設のすぐ近くにしました。

「税理士試験沖縄受験旅行」の日程は四日間。税理士試験消費税法の本試験(二〇〇六年八月一日)三日前の七月二十九日に到着しました。本来なら、税理士試験の受験日後に数日滞在して観光でもすればよいのですが、当時大原簿記学校の法人税法講師であったので、次の日八月二日の法人税法の受験日には、東京で筆者が受験指導をしている受験生の応援、および試験後合格答案速報を作成するという大事な業務があるため、沖縄での受験後は即東京に戻る必要があったのです。

したがって四日間の旅程中、最初の二日間は沖縄を旅しました。その後の二日間、七月三十一日、八月一日は消費税法の勉強のラストスパートに時間を割きました。レンタカーを借りて普通に沖縄観光し、まずは、ジンベイザメで有名な美ら海水族館を訪れました。

その後は、車で行ける離島の古宇利島に向かい「その昔、パン屋時代の恋人と遊びに来たよなあ」なんて黄昏れてみたりしました。

二日目は那覇から南下し、糸満市の沖縄県営平和祈念公園へ行きました。沖縄の戦争の記録は、机上ながらも少し勉強して行きましたが、戦没者が二〇万人といわれる沖縄戦の記憶をほんの少しでも感じることができました。ただし……戦争の悲劇の記録を目の当たりにしたら気持ちが悪く感じちゃって、「税理士試験なんて小さい話だああ」と何だか別の意味で達観した自分がいました。これは、受験日二日前のモチベーションとしてはあまりよいことではないので、受験直前に平和祈念



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

公園に行くことはオススメしません。

ちなみに、沖縄でとても食べたかったのがアップルマンゴーです。東京だと五〇〇〇円くらいですが、沖縄では一五〇〇円くらい(まあそれでも高いですが)で食べることがあるので連日食べていました。ちなみに、マンゴーは一般的にカットして食べると思いますが、筆者は宿泊先のホテルで一人だったので、丸かじりで食べていました。ただマンゴーは丸かじりするとわかりませんが、かなり繊維がしっかりしていて、歯の間にマンゴーの繊維が詰まるのです。カットして食べるにはそれなりに理由があることを理解しました。スイカのように食べるものではないのです。

そんなこんなで、消費税法の受験勉強を全くしない二日間は、充実したものでした。

## 本試験の受験地を沖縄で受けた感想 本試験当日

受験会場の「沖縄産業支援センター」は、机は特段大きいというわけではなく、いわゆる一般的な長机でした。筆者が受験した消費税法は、沖縄の会場では一会場で人数も三、四〇人程度しかいなかったため、一つの長机に一人の受験生という配置で、机は贅沢に使うことができました。ちなみに、東京の早稲田大学が受験地の時は、一つの長机を二人で使うことが多く、答案用紙や計算用紙などを広げるとかなり窮屈です。

資格試験では、受験予備校などで必ず「試験員がやめと言っても理論は書き続ける」とか、「答案用紙を回収されるまでは、とにかくやめるな!」と言われますが、沖縄の会場では通用しませんでした。実際に試験員の終了のコールの後も理論を書き続けていたら、一〇秒もしないうちに補助スタッフに手を抑えられて御用となりました。

東京の試験会場だと、受験生の人数も多いし比較的試験会場も広い上に、補助スタッフはアルバイトだったりするので、試験時間終了後に手を動かしていてもあまり強く制止されない場合が多いです。しかし沖縄では試験会場も一つだったためか、試験員はもちろん補助スタッフも、かなり年配のベテラン試験管らしい人が従事していました。そのためか、税理士試験の管理運営が東京よりも厳格な印象でした。服装はかりゆしウエアで一見ゆるそうですが、運営はしっかりしています。

さて、この沖縄受験を考えた時に一番意識したのは沖縄で受験した話をネタにするためには、最後の受験科目である消費税



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

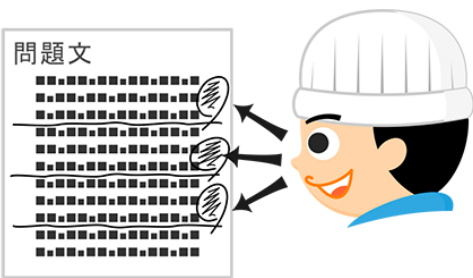
Amazonの販売ページはこちらをクリック

法への合格が絶対条件ということです。税理士試験本試験当日の四日も前に乗り込んで、前半二日は観光していざ本試験で「不合格でした」、では話のネタになりやしません。「そんな余裕をかましているから不合格になったんだよ」と突っ込まれるのは、ネタとはいえません。ただの馬鹿です。ですから絶対に合格する必要がありますがありましたし、そのプレッシャーを自分自身に課するという意味もあつたので、消費税法に合格し晴れてネタにできたのはよかったです。

受験する税理士試験本試験の内容はもちろん同じなので、いつも受験している場所を変えろというのは、筆者のような話のネタ作りはもちろん、受験勉強が長期化して気分を変えたいような場合には有効です。沖縄受験はおすすめしますよ。

## 本試験で問題の読み飛ばしを劇的に防ぐ方法

「」では、「三行革命」と名づけた、問題文を三行から五行くらいに区切って、「問題文を把握したのか」「一旦読み飛ばしたのか」「再度読むべき論点なのか」の印をつけながら問題を解答する方法についてお話しします。



本試験で一番やってはいけないミスは、「読み飛ばし」と「思い込み」です。

本試験当日は、だれでも緊張します。普段の練習ではできたことの七割くらいできればよいと考えたほうがいいでしょう。受験予備校の問題は、難解論点が出たとしてもどこかで見たような形式だったりするので、「なんじゃこの問題は!」「全然解答できるところないじゃん」という状況で解答する機会はほぼありません。

そんな時は、上から下に問題を解答する「ベタスルー解答法」、読んだところはチェックする「三行革命」と、普段の練習では地味な勉強が本試験では一番役に立ちます。

具体的には、まず本試験が始まったら計算問題の文章を三行〜五行程度で区切って線を引くのです。線は、三〇センチ程度の長定規を持参してもいいし、フリーハンドでも構いません。

とにかく、線で区切ります。この効果はまず、試験開始後数分は一番緊張している時間ですが、緊張した中でどんな本試験の問題がでたとしてやることをルーチン化しておくことで重要なのです。

そして、三行程度の文章に線を引くという事で、一通りの全体像やボリューム感が把握することが出来ます。

さらに、実際に解答をしていく際に読んだところは余白にバツじるし(×)、難解そうだから後回しは、下矢印(↓)、という風に印をつけることで、もう読み終えた論点未着手の論点を明確に出来ます。

そうすると、上から下にベタに解答しながらかつ適宜論点をスルーする『ベタスルー解答』が可能となるのです。

## 本試験の理論問題で試験委員が喜ぶ魔法の一言!

大学在学中の二年間で、税理士試験に一発合格した女性が職場の先輩にいました。

その先輩が、理論の解答用紙の欄外に、「読みづらい文字での解答になってしまいました。採点をしていただき大変ありがとうございました。よかったと書いていたらしいのです。それを読んだ試験委員は、悪い気はしないことでしょう。」

よいことは、積極的に真似をします。その話を聞いた翌年の固定資産税と消費税法の試験では、一言を書くようにしました。

すると、結果はどちらも合格でした。もちろんその一言が合否の決め手だとは思いませんが、試験委員も人ですから、合格ライン上に複数の答案があったとしたら、もしかして、と思います。これくらいの文章量であれば、試験時間が終わった後でも書けるのでやってみてはいかがでしょう。





パン屋が税理士になる方法

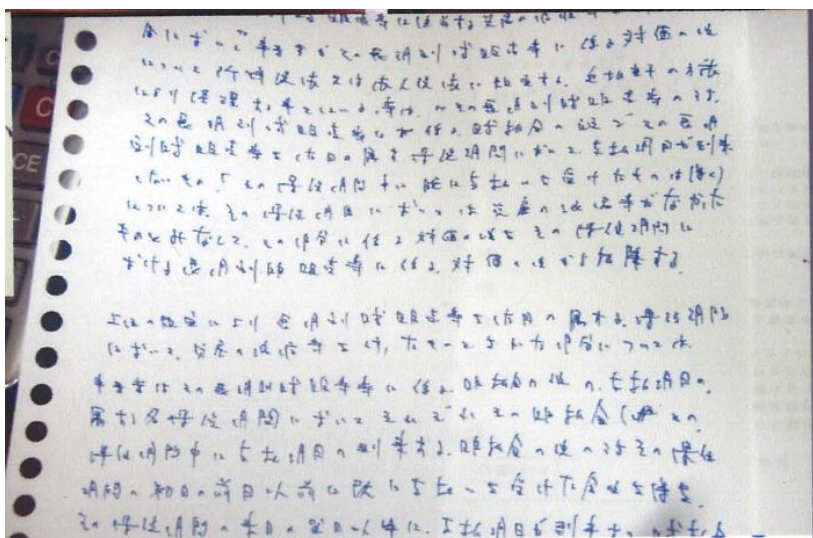
電子書籍はAmazonで販売中

[Amazonの販売ページはこちらをクリック](#)

## 理論解答の字は汚くても問題なし！

理論の解答を綺麗に綴るに越したことはありませんが、優先すべきは量を書くことです。筆者は、恥ずかしながら文字の綺麗さには自信がありません。

※実際の文字はこんな感じですよ。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック



受験生時代には「この文字で大丈夫か」とよく言われたほどです。ですが、問題なく合格できましたので、文字の綺麗さは優劣に影響を及ぼさなはずです。ただし、全部がこの感じだと印象が良くないので、最初の半ページは少しスピードを落とし、読める程度の字で書いて、だんだんスピードを上げていきました。要するに、理論の字が汚い理由についてエクスキューズするのです。

「試験委員様申し訳ありません！ 最初は読みやすいように理論を書くつもりだったのですが、時間がなくだんだん乱筆乱文になってしまったんです。「めんなさい」と…」

前述した、欄外に「採点ありがとうございます」をつけておけば完璧です。

結局のところ採点する試験委員も人間ですから、自分が採点者だと思つて、やられてイラツとすることはやらない心がけを持つておけば大丈夫ではないでしょうか。最初の出だしから何を書いているかわからないほど字が汚ければ、「こいつ採点してもらう気があるのか？」とイラツとさせてしまう可能性もあります。

採点された用紙が返却されない税理士試験では、試験委員の感情をおもんぱかりながら解答用紙を仕上げていく心構えが必要ですよ。

## 第七章 税理士試験終了後

本試験当日「今日に限って力を発揮できなかった」の言い訳

元楽天の監督であった野村克也氏の「勝ちに偶然あり、負けに偶然なし」

という言葉がありますが、筆者は、これは資格試験のおいてもよく当てはまる言葉だと思つています。

筆者が税理士試験の前に簿記一級を三度不合格の後、四度目の正直で合格したという話は前述のとおりですが、簿記一級に不合格のたびに、タイトルにもある「本試験で自分の力が発揮できなかった」や「自分の力はこんなものではない」という言い訳



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

をしていました。

ただ、負けを何度も繰り返していくうちに、少しずつ本試験で負ける敗因や対策を検証していったのです。そして、とても大事な二つのことに気づきました。

一つは「本試験は誰だって緊張する」ということです。

そして二つめは、緊張すれば、一部の天才を除いて自分のような一般人はまず間違はなく「普段できることの100パーセントはできない」ということでした。

感覚的には、普段できることの70〜80パーセントができれば上出来ではないでしょうか。

上記の二つのことを前提に、不合格が続いていた自分の勉強方法を見つめなおすと、まさに「負けに偶然なし」です。「必然」に負ける勉強をしていたことに気がついたのです。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

では具体的にどのような勉強だったかというと、大きく分けて下記の三つです。

## 1. 得意な論点や問題などだけを繰り返し解答し、できるつもりになっていた

簿記一級を勉強していた当時の自分は、とにかく長時間勉強をしていれば資格試験は受かると考えていました。そのため、勉強方法はいたってシンプルです。とにかく「受験予備校から配布された問題をひたすら何度も解く」というやり方でした。

この勉強方法は正しい部分もあります。

計算の算式を体に覚えさせるという意味では反復練習は必須であり、繰り返し解くこと自体は有効な方法ではありません。ただ、当時はすでに何度繰り返し返しても簡単に解答できる問題と、何度試しても論点の理解不足やケアレスミスなどで解答できない問題を、同列に時間をかけて解答していました。

そうすると例えば、一〇問の計算問題演習を行ったとして「何度も繰り返ししている問題なので九問は問題なく解答できた。ただし、一問だけはいつも間違える」という場合に、一〇問中九問できると、単純な割合でいけば九〇点とれたという形になるので、何だかできた気になってしまうものです。

その九〇点を何度繰り返し返しても、間違った一問は解けるようにならないのですが、他の九割を解けたことで満足してしまいました。

本来はその一割の解けない論点に、他の九割の正解を出す時間を費やすべきなのですが、当時は、九割が解答できたことが嬉しかったのです。

しかし、それではやはり本試験でミスすることは明白でした。

## 2. 通常の計算演習と本試験で異なる解答方法をしていた

本試験でできないことは、練習の時からやってはいけません。

例えばすごく単純な作業ですが「今回は文章をしっかりと読んで解答しよう」と演習問題を解くとか「時間無制限で解く」など



は、筆者は演習する意味はないと思っています。

本試験は時間制限があり、かなり緊張した状態で問題を解いていくわけですが。

じっくり読んで解けるようになっても、時間無制限で解けるようになっても本試験で正確な解答をするという意味での実力の向上にはならないのです。

例えばカーレーサーはスピードを出してコーナーを回るので、時にスピンやクラッシュなどのトラブルに遭遇するわけです。トラブルが怖いからといって、スピードを落としてコーナーを回っても、それは技術の向上にはならないのと同じです。スピードをあげないで、事故を起こさないなら、それは一般人と変わりません。そんな本試験では使えない演習をよくやっています。

### 3. 解答精度が低い論点も解答可能論点として認識していた

これは、結果が出なくて勉強している時に陥りがちになる話です。

基本的に資格試験に合格するために必要な論点というのは、受験予備校のカリキュラムをしっかりと消化すれば網羅することができます。

後は、その消化する論点の精度がものをいうわけですが、試験に合格できないと、どうしても枝葉末節の論点、仮に出題されたとしてもだれも解答できずに、いわゆる「捨て問題」の論点まで勉強しないといけないような感覚になっていきます。

合格への最短ルートは、ベーシックな論点で自分の弱い部分を洗い直して、そこを徹底的に詰め直すのがよいのですが、負けが込んでくると、勉強範囲の「戦線拡大」をしたくなるのです。

それがどのような結果を招くかというと、論点の修練度が薄くなります。

本試験では「多分できる」という論点を数多く持っていくよりは、「確実にできる」論点を一つでも増やしていくほうが合格への近道なのです。

簿記一級の受験時代は、とにかく難解な論点も少し練習をして、解答できる気になっていたのですが、本試験では手を付けたけれども点数にならないという結果になり、試験に合格しませんでした。



上記三つを踏まえて、税理士試験時には、本試験は緊張するものであるのだから「緊張してもミスをしないう方法を日々の勉強時に考える」「本試験で戦えない知識は持っていない」という二つのことを常に念頭において勉強をしました。

**本試験が終了したら必ずやってほしいこと**

絶対にやらなければいけないのは自分の作成した答案の答え合わせ！当然です。

解答した答案は回収されますので、時間が許す限り答案用紙に記載した解答は問題用紙やメモ用紙に記載しておくのは鉄則です。ただし、税理士試験は多くの科目で制限時間内に解答しきれない場合が多いので、すべての問題を解答しきれないのに、解答を問題用紙に転記するのは時間のロスです。

そんな時におすすめるしたいのは、一二〇分の解答時間終了後出来るだけ本試験の記憶があるうちに、各問題について、自分なりに判断した点数を取る論点いわゆる『基礎点』と、手を出したけどとれているか曖昧な論点『正解が微妙な論点』。そして、手を出していない合否に左右されないのであろう『捨て論点』を、自分なりに分類しておくことです。

捨て論点

正解が  
微妙な論点

基礎点



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

本試験の合否を左右するのに最も重要なのはこれです。この分類が正しく出来ているかと、正しく判断出来た上での『基礎点』の確実な積み上げと、『合否を左右する論点』をいかに多く稼げるかにかかっています。

ここで言う『基礎点』になる論点は、論点の理解が難しいかそうでないか、あるいは実務で使う論点かそうでないかは関係ありません。

一言で言えば、受験予備校がしっかりと教えている論点かどうか。受験予備校が時間をかけている論点なら、周りの受験生も確実におさえてくる。だから取りこぼしは絶対に許されないので。

ここが確実にとれていれば、かなりの確率で合格します。あとは、『正解が微妙な論点』を半分くらい解答できていればほぼ確実に合格します。『捨て論点』はその名の通り捨てる論点なので説明は不要ですね。分類は客観的にみてどうなのかが大事です。

確認したいのが自分なりに分類したこの三分類が客観的にも正しいのかということ。

受験予備校からは本試験当日から早いと翌日、遅くても二、三日で解答速報がでます。この解答速報と照らしあわせてみてください。

まず、自分が判断したこの分類と、解答速報の認識が正しいのか。例えば、問題文の最初の二、三行を読むと全く学習したことがない論点だと思って『捨て論点』と判断して飛ばしたのに、実は読み進めればオーソドックスな『基礎点』になる内容だったというケース。逆に自分は『基礎点』と思って、時間を使って解答したが『捨て論点』だったという場合です。

例えば自分の受験生の経験だと、消費税法の受験で出題された消費税の納税義務の判定で算出する『基準期間における課税売上高』の論点。受験予備校で出題される演習の多くは、この論点は必ず取るべき『基礎点』に分類されるものだが、その本試験では初めて会社分割が行われた際の特例な計算でした。

結果的にこの論点の正否は合否にあまり影響がなかったので実質的に『捨て論点』であり、自分も一応手は出しましたが、時間をかけて解答しても正答率は上がらないと判断して、さっさと別の論点を解答しました。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

取るべき範囲の判断が合否を左右する

この判断が、ほぼ正しくて受験予備校が設定している合格ラインを五点以上超えているなら、安心して合格したと思つていいです。逆にこの認識がずれていたら、たとえ合格ラインでもおそらく不合格。合格ラインを一〇点以上超えているなら合格するかもしれませんが五点位超えていたとしても微妙でしょう。

合格可能性の判断は、点数も大事ですが周りの受験生が取るべきところを自分も取れていたか。捨てるべき論点は自分も捨てる事が出来たかがすべてです。合格しそうかの判断はそこを見てください。

## 解答速報は、大原とTACの二つはチェックすべし

受験予備校の解答速報は大原簿記学校とTACの二つは必ずチェックすることをおすすめします。裏を返せばこの二つだけで十分です。あとの受験予備校の速報は必要ありません。理由は前述のとおり合格占有率がこの二校で独占しているので、他の受験予備校の解答速報を見回しても結局この二校に右へならえの場合が殆どです。そのため費用対効果を考えても二校をチェックすれば十分です。今の時代は各校のサイトですぐに手に入りますので、必ずチェックしてください。

で、チェックして欲しいのは、二つの解答速報がほぼ同じであるということです。ほぼというのは、一部論点の解釈などが違って納税額などの最終値が違うのは構いません。受験予備校同士で解釈が分かれるような論点は所詮【捨て論点】ですから。チェックしたいのは、前述のとおり『基礎点』『正解が微妙な論点』『捨て論点』の認識が一致していることの確認です。

基本的に毎年ほぼ一緒であるはずですが！ただし時々違うことがあります。

その場合はほぼ間違いなく、片方の受験予備校がドンピシャで出題論点を当て、もう片方が学習していないようなケースです。

例えば、筆者が受験した簿記論の本試験は、当時本試験で未出題の『退職給付会計』についてTACは直前期にこれでもかというほどカバーしましたが、大原は未カバー。本試験でガッツリと『退職給付会計』が出題された時には、TACで発表されてい



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

た合格ラインでは退職給付会計の正否が合格を左右しますという論調でしたが、大原では解答できるに越したことはないけど取れてなくても大丈夫的な論調で、蓋をあけてみればTAC圧勝、大原壊滅でした。※筆者は、簿財はTAC、税法は大原で受験していたのでその年の壊滅した大原の簿記論の受験生の怨嗟の念はすごかったです。

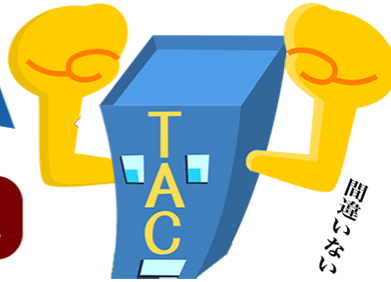
ちなみに、翌年の大原で法人税法を受験した年は全く逆で大原圧勝。TACは壊滅で苦し紛れの合格予想を出していたのをよく覚えています。

## 見解が全く違う場合が時々ある…

退職給付会計の出来が  
合否の分かれ道です!!



退職給付会計の出来は  
さほど合否に影響は  
ないのではないですか…



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック



当然、受験予備校も正しい合格ラインを発表したい気持ちはあっても、論点を大外してしまつたら言い訳済みた合格ラインの解説になるのは仕方ないのです。(ましてや論点を外したからと受験予備校のせいにするのは筋違いも甚だしく言語道断です！)

なので、受験生はそれもおもんぱかって二つの受験予備校の合格ラインを冷静に確認する必要があります。ちなみに、大原もTACも全然カバーしていない論点が出たとします。それは、別に問題ありません。大原もTACも未学習の論点は実質的に合否に影響を及ぼさない捨て論点になるわけですから…

## 合格可能性を見極めた上で九月からの科目選択

税理士試験は五科目合格する必要があるのですが、最後の科目を受験した場合以外の多くの受験生にとっては九月から来年八月に向けた税理士試験『新シーズン』のスタートです。

ここで、いろいろな選択肢があるわけです。受験科目は何にするのかや受験科目がある程度そろってきたなら就職しながら受験をするのかどうするのかなどなど。

ただ、自分が個人的に感じるのは、多くの受験生は本試験終了後に考えるべきこの選択を軽視しがちです。また本試験の結果が出る一二月に、実際に合否を見てから考える人ばかりです。

それ遅いよ！と思うのです。税理士試験は合否が出るまで四ヶ月ですから、適切な判断をして受験勉強に取り組むのとそうでないのでは、単純に受験に備える時間が四ヶ月違うのです。一年に一回の本試験で四ヶ月の差は、判断を間違つたら致命的ですよ。だから一二月に慌てないために本試験終了後に冷静な選択をする必要があるのです。

まあふりが長くなりましたが、九月からの新シーズンに向けた科目選択、就職するかを選択について筆者からアドバイスすることはたった一つだけです

前述したように自分の答案と受験予備校の発表している合格ラインをしっかりと把握し、合格可能性の情報を正しく集めたいので『保守的に』です。



まず合格ラインギリギリの科目は、不合格で来年の一月から再度受験すると思って判断することです。合格ラインをゆうに超えていたとしても、万が一不合格だったらを想定して判断することです。

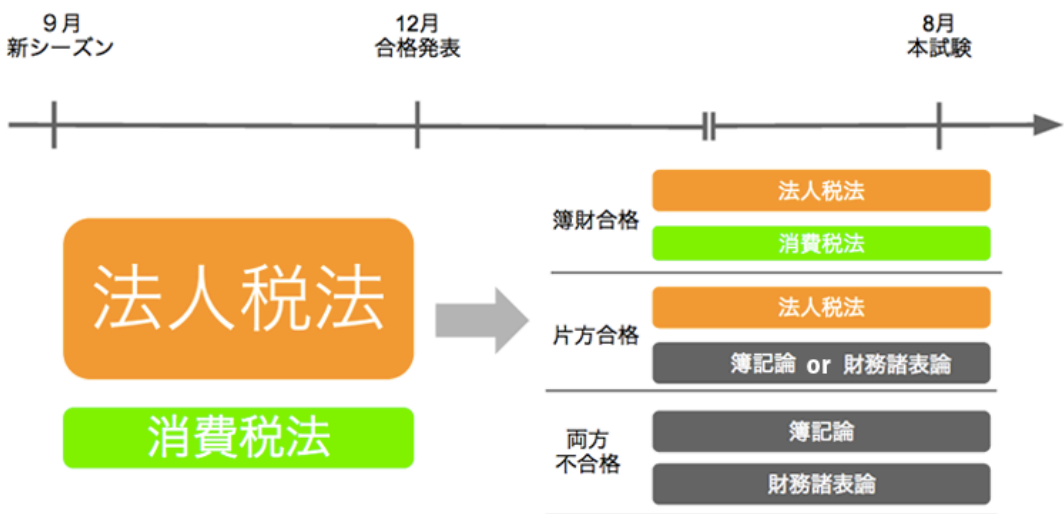
筆者から言わせると多くの受験生はこの見立てがポジティブというより、楽観的です。

例えば、受験初年度に受験専念で、簿記論と財務諸表論を受験したとします。

二科目とも受験予備校の解答速報をみると合格ラインギリギリです。合格するかどうかは蓋をあけてみないとわからない。という場合には、多くの受験生は九月の新シーズンから税法の中でも一番ボリュームがある法人税法と、学習ボリュームの比較が少ない消費税法や、固定資産税などのいわゆるミニ税法という科目を選択して学習をはじめます。で、多くの場合どちらも不合格か、一科目のみ合格です。

どちらも不合格の場合は、最悪で九月～二月まで学習した法人税法は、実質的に一二月で不合格だった簿財にスイッチしそれまで四ヶ月間勉強した法人税法の内容は来年まで持ち越しです。一月からは、受験初年度に不合格だった、簿財と新規の消費税法の受験です。もし、簿財のうち片方が合格していても、不合格の一科目と法人税法、消費税法の三科目受験はかなりハードです。筆者の考えでは、初年度の簿財を同時合格出来ない人は翌年に、三科目の同時合格はほぼ不可能です。そう考えると、九月の法人税法と、消費税法を受験するという選択は簿財二科目ともに合格する前提以外では、年内の勉強の何かしらが無駄になる可能性が極めて高いのです





年内の勉強が無駄になる**可能性が高い**



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

[Amazonの販売ページはこちらをクリック](#)

筆者なら、この場合の受験科目は、合格ラインが微妙ながらもかなり受かりそうであれば、法人税法の年内完結一科目。どちらでも、ギリギリで不合格を視野にいれる必要があるなら、消費税法と、ミニ税法を勉強します。

受験専念で、消費税法とミニ税法では時間が余りすぎると思われるかもしれませんがカリキュラム通りに勉強していたら確かにそうです。

ただ、筆者ならその二科目の理論暗記を前倒しで進めていきます。順調に進めば、一二月の合格発表時にはミニ税法の暗記の一回転目は終了させます。

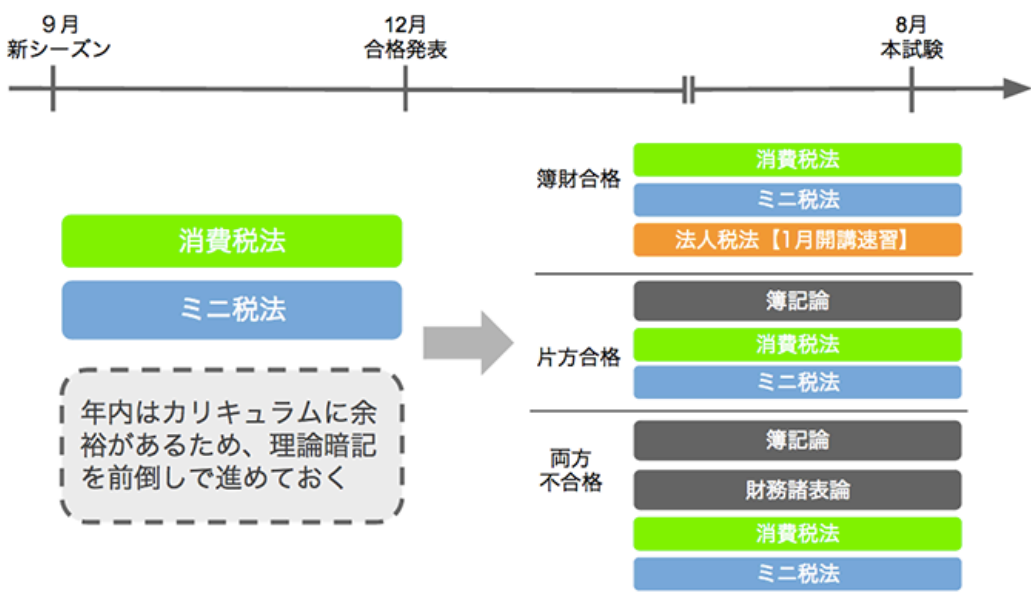
一見ものすごく保守的に見えますが、簿財の両方がダメでも、消費税法とミニ税法の暗記が年内で大方覚えていけば、年明けは受験二年目の簿財を含めた四科目の受験が可能です。

一科目合格なら不合格一科目(簿財のどちらか)を含めた三科目でより合格可能性が上がります。

もし、簿財二科目が合格していれば、嬉しい誤算です。それなら消費税法とミニ税法だけでは時間があるので、法人税法の速習講座を一月から選択すればいいのです。

この場合は、法人税法はその年の合格は厳しいと思います。それでもいいのです。そもそも合格が微妙だった簿財が合格出来ているのですから、順調に来ているのです。だから二年目は法人税法よりも、消費税法とミニ税法を確実に合格レベルに持っていきばいいのです。





# 年内の勉強が無駄にならない



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

繰り返しになりますが、一番良くないのは九月に安直に法人税法と、消費税法という科目選択をすると、翌年の八月の本試験に受験科目として持つて行くことが出来ない科目を九月から一二月までの四ヶ月間もの長い間勉強する時間のロスです。

この話をする、その四ヶ月間の法人税法や消費税法の勉強だった来年の受験のために無駄ではないという事を言われる方がいます。

確かにその期間に勉強した法人税法や消費税法の内容は無駄ではありません。ただし、その勉強期間に合格する必要がある受験科目の勉強時間の機会損失と考えれば、やはりロスが大きいと言わざるを得ないのです。

### 中途半端に勉強した科目があるとプランが狂い出す

もう一つ怖いのは、中途半端に年内だけ勉強して翌年九月に持ち越ししてしまった科目があると、次の年の科目選択にも影響が出てきます。

中途半端に、年内勉強をするといついつい基礎的な学習は済んでいるから年内完結コースに入って年明けは、上級コースで合格までついでに！などと予定をたてますが、年内に学習した基礎論点を中途半端に知っているが故に、授業の序盤はカリキュラムについていけない気になります。

ただ、次第に未学習の新規論点に入っていく、学習のスピードについていけず本来押さえなければいけない基礎論点がぐらぐらそのまま、名ばかりの上級生となり不合格になります。

そしてその後もずるずるといつまでも合格出来ない受験予備校のお得意様の道を歩むことになります。

これが一番つらいのです。受験を数年している、と今更基礎固めと言われても知ってるし、でも合格出来ないという事で、次第に勉強するモチベーションが下がっていくのか税理士試験からフェードアウトしていきます。

### 安易な就職はもっと悲惨

受験科目の選択よりももっと慎重に判断して欲しいのが就職です。

就職をして仕事しながら受験する道を選ぶ場合は多くの場合一二月の合格発表で『合格したら』と考えている方が多いと思



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

ますので、少し先の話かもしれません。

ただ、就職についても保守的なのが、自分から言える一番のアドバイスであることは変わりません。

## 本試験終了後のオフシーズンに何を勉強する？

税理士試験は例年八月の第一火曜〜木曜日の三日間で実施されます。※二〇一五年、一六年は第二週の火曜〜木曜日であり今後は第二週が一般的となるかもしれません。

税理士試験本試験が終了してから、受験予備校の来年の八月に向けた税理士試験講座の新シーズンが始まるのが一般的に九月上旬です。

その期間は、いわゆる税理士試験受験生にとってはオフシーズンにあたります。そのオフシーズンに何するのかは極めて大事です。オフシーズンだからといって休んではいけません。プロ野球に例えれば、公式戦やオープン戦前のキャンプみたいなものです。プロ野球の世界で公式戦で結果を残すにはキャンプの時期の体づくりが大事だとよく野球解説者が言っています。税理士試験も大事でやるべきことがあります。ただ本試験直前の様に答練を解き直したり、覚えた理論を忘れないように回すわけではありません。あくまで翌年八月、つまり一年先の税理士試験本試験を見据えた上でやるべき事をやる！のです。

## やること

まず一番にやることは、本試験の解答と受験予備校の解答速報とを照らし合わせての合格可能性の判定です。こちらは前述しました。

この判定はついつい、昨年度の受験勉強の【最後の仕事】と考えがちですが違います。むしろ来年度の税理士試験に向けた【最初の仕事】です。しかも極めて重要な大仕事です。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

ここで、可能な限り合格可能性を正確に判断する事が大事です。この判断を誤ったり、そもそもしなかったりすると、一年間の受験勉強の方向性が間違ってしまう可能性があるので、注意が必要です。

例えば、どこか旅をするときに、目的地までの距離や方角を調べます。そして、到着日から逆算して交通手段を考えるのと一緒です。

交通の手段も、方向も考えずにとりあえず走ればいいと闇雲にスタートしても目的地にはたどり着きません。

## 前シーズンの受験勉強を振り返る

新シーズンが本格的に開幕する、九月を前に腰を据えてやりたいのが、八月の本試験までの前シーズンの振り返りです。良かったところ、悪かったところ、改善すべきところなどを考えてみる事が大切です。

そのためにも、日々の勉強時間やその時に何を思っていたのかを記録しておくことは重要です。

筆者の場合だと、受験初年度(簿記論、財務諸表論、消費税法を受験)の本試験終了後、来シーズンにむけての去年の自分を分析してみ上がった課題はこの様なものでした。

- 受験専念のため、生活リズムが夜型になりがち
- 自宅での勉強は、オンオフの切り替えが難しい
- 税法暗記(消費税法)とにかく苦戦をした。特に直前期に多くの時間を取られてしまった

メンタルの話だと【直前期に入ってから五月には情緒不安定になり、恋におぼれた】みたいな話もありました…

で、これらを踏まえて新シーズンで大きく方針転換したのは、勉強場所の変更。それまで、自宅での勉強をメインにしていたのを、自宅では一切勉強をせず計算も理論暗記も外でやる事としました。

計算問題は、受験予備校の自習室。理論暗記は歩きながらか、スターバックスなどのカフェ。

この変更は大きかったと思っています。





勉強場所を変えることによって、生活リズムも徐々に朝方になっていったのも大きな変化でした。もちろん勉強場所や生活リズムの変更は、直前期などに突然変更することも出来なくはないですが、アクセル全開の車に急ハンドルをきるようなもので、うまくいかなかった時の時間的、精神的ロスは直前期にはとても大きなものです。その為、勉強場所や生活リズムなどの大胆な方針変更をするなら八月のオフシーズンに考えて、九月から十二月までの年内に新体制に作り変えることが必要です。自分も朝方生活が完全に体に馴染んだのは一月中旬くらいでした。

## オフシーズンの具体的な勉強は理論暗記のみ

八月に、具体的な勉強をしたのは、理論暗記の前倒しです。理由は前述の前シーズンの振り返りにおいて、税法の理論暗記に苦戦したからです。直前期に理論暗記の進捗が進んでいないものがあると頑張っただけというよりも、本試験にはもっていかないいわゆる【捨て理論】になってしまいます。これが非常にもったいないのです。

筆者の受験初年度の場合は合格ラインの読みをした時点で、簿記論、財務諸表論はほぼ間違いない合格するレベル。消費税法は合格ラインをやや下回るから合格すればラッキーという認識でした。その為、九月の新シーズンから勉強を開始する、法人税法と固定資産税に加えて年明け一月からは、不合格するであろう消費税法も含めた、税法三科目受験が待っている事は、予想がついていたのです。

税法三科目を自分の勉強スベックで、処理していこうとすると恐らく直前期は地獄絵の様相を呈するなど…なので、八月のオフシーズンから理論暗記をはじめました。やったのは固定資産税。法人税法はやりませんでした。

一応、大原簿記学校で販売されている、昨年度受験対策用の理論サブノート。ポケット版は両科目とも購入して本文を読んでみたのですが、実際の学習をしなくてもなんとなく言っている内容が理解できるのは固定資産税だったので、固定資産税の理論を暗記しました。

理論暗記は、書いてあることが一〇〇%とはいかなくても、ある程度の内容を理解できていないと頭に入ってこないのが大まかでも理論が理解できるかは極めて大事です。

そして、暗記したのは一六題(四題×四週間)でした。

計算なしの、週に理論四題ですから、そんなにハードというほどでもありません。この、自分が課した理論暗記の勉強ができた



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

ら、飲み会で酒はカブ飲みしましたしちよいちよい遊んでました。

(話が矛盾するようですが、勉強やれ！っていつてもやっぱり八月はオフシーズンですから、オンオフをきっちりすれば、良いという話です。)

## スタートダッシュの重要性

この八月の理論一六題の貯金は、税理士試験二年目シーズンを振り返った時に本当に大きかったと思っています。再びプロ野球に例えますが、毎年ペナントレースが始まると、野球解説者は異口同音に最初のスタートダッシュが大事だといいます。最初の一〇試合程度で、大きく勝ち越せれば優勝する可能性が高くなるということです。

筆者は、あまりピンと来てなかったのです。百数十試合もするペナントレースのうち最初の一〇試合で大きく勝ち越しても、多くの場合は優勝するチームは勝ち星が大きく離れているのだからと…

しかし、税理士試験を勉強してからは、スタートダッシュの大事さは身を持って実感できます。

確かに、二年目の税理士試験の結果を見ると、法人税法のみ合格で消費税法と固定資産税は不合格です。

そう考えると、八月に前倒しで勉強した固定資産税の一六題は無駄かというところではないのです。

理論暗記の前倒しはまさに、税理士試験における新シーズンのスタートダッシュです。

固定資産税の暗記を一六題したことによって、年内に週一で一題ずつ暗記する固定資産税の理論暗記の宿題はすべて一回暗記済みでした。理論暗記を経験の方はお解りだと思いますが、理論暗記は新規がとても大変。二回めの暗記は一回めの数分の一の時間で暗記できます。

その、浮いた理論暗記の時間はすべて、メインで勉強していた法人税法の勉強時間に充てることが出来ました。

だから、年内にじっくりと法人税法の基礎固めと年明けの税法三科目受験に備えた体制づくりに着手出来ました。これが固定資産税の理論暗記にも日々追われていたら、年内に腰を据えてじっくりとはいかなかったはず。これが、結果的に年明けの勉強につながったのです。

まさに、八月のオフシーズンでのスタートダッシュが好循環を産んだのです。プロ野球の選手だってやっぱり人がやっているも



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

の。最初に勝てれば、モチベーションが上がって良い循環になる。負けがこめば最初から後手後手になる。ただ、プロ野球と違うのは、野球のスタートダッシュは相手がいって、勝ち負けがはつきりするのでどんなに自分が頑張っても負けるときはある。でも税理士試験は、本試験の合否という一年に一度の勝ち負け以外の戦いは、すべて自分との戦いです。スタートダッシュの波に乗るか後手後手になるかは、自分自身にかかっているということです。

**話のネタづくりだと思えば不合格も楽しめる。**

筆者にとって税理士試験は、自分の人生話を酒の席などでする際のネタづくりだと思っています。

よくお笑い芸人が、面白いエピソードを作るために後輩芸人と旅行する、という話をしていますが、それに近いです。小さな小さな、知る人ぞ知る「廣升健生劇団」、演目は「おもしろ人生 廣升健生の一生」。その主演男優という気持ちです。

ストーリーは、誰かと似たようなものではなくありません。ですので、人と違うことをやります。そして、そこそこの結果も出します。でも、たくさん失敗もします。エピソードには必ずヒロインが出てきます。でもフラれます。そんなフータンの虎さんのようなシナリオです。



だから、短期合格は目指しても、不合格なら不合格を話のネタにすればよいのです。

全科目一発合格の話は、すごいとは思いますが面白い物語にはなるかと言われるかどうかだと思いますし、あまり共感できる人もいないはず。税理士試験に限らず人生は壮大なネタ作りだと思っと思っていますから、そう考えたら好きな相手にフラれたってへっちゃらです。

ただ、「こ」で注意しなければいけないのは、将来振り返った時に話のネタとして使えるのは、どんなエピソードでも自分が「その当時の全力で取り組んだものだけ」です。

後から振り返ったら、「なんでそんなことに苦戦してたり、くよくよしていたんだろう」と思うことでも、当時は必死にやっていたものなら、後で振り返った時に、たとえ想定していた結果になっていなくても、次に繋がっているはず。逆では話のネタにならずに、エピソードはお蔵入りです。

筆者の二〇代を語った時に、税理士試験を切り離すことはできません。机の上に向かっていて以外の時間も、いかに試験を合格しようかと考えていました。試験勉強を開始してから数えればもう一〇年以上も前の話ですが、当時全力で取り組んでいたの、エピソードがわんさか出てきます。

## 税理士試験に合格しなければ恋人は去っていく話

いつの時代も、強い男子には女子が集まるし、弱ければ集まってくれないものです。今の時代だったら、やっぱり稼ぎのある男子には女子が寄ってきますし、その逆もあります。

断言しておきます！

税理士試験の試験勉強を始める前に、恋人がいたらその彼女とは別れる覚悟で勉強を始めたほうがよいでしょう。その彼女と結婚でもしたいのなら、悪いことはありません、税理士試験の勉強を始めないほうがよいです。受験勉強を始めるときはそりゃ、「応援する」と言ってくれるでしょう。

ただ、税理士試験は長丁場です。特に二〇代から三〇代前半ぐらいで勉強するなら、女性は結婚や将来を男子以上に意識します。その時に結婚を考えている相手が受験生では、女性が人生設計に疑問を持つのも当然です。



パン職人時代からつきあっていた恋人は、簿記一級に三回不合格したあたりで関係がギクシャクしてきて、その数カ月後に終わりを告げました。

将来を見据えつつ短期的な成果を提供できないと、恋人は去っていきます。でも恋人が悪いわけではありません。「試験で結果を出さない」恋人に明るい未来を見せることができない「自分が悪いのです。一方、結婚をしているなら、ある程度中長期的な目標を目指して価値観を共有できると思います。

仕事しながらの勉強でも合格する人は、まずは家族に中長期的な展望を話して価値観を共有し、勉強する環境をバックアップしてもらっています。

やはり、自分の一番の理解者と同じビジョンを共有できないと辛いものです。結論として、税理士試験に向かっている間のパートナーとして、恋人はバツ、結婚は理解してくれるならマルです。



# 第八章 敗因検証

## 受験一年目消費税法の敗因検証 計算編

税理士試験一年目は受験専念で、簿記論、財務諸表論、消費税法の三科目を受験しました。

税理士試験の受験前に一年半簿記一級を勉強していたため、簿記論、財務諸表論は比較的にすんなり勉強ができていました。ただし、ポリニュームは二科目とも多いので、勉強の中心はそちらです。消費税法は、全体の勉強時間の一、二割程度です。一年目の消費税法の試験結果は不合格のB判定でした。

計算問題の敗因は、消費税の課税、非課税等の判断の精度がまだまだ甘かったことに尽きます。日々の総合問題の演習でも解き直しても、イージーなミスを一、二個してしまいます。

でも、これは「理解はしていてケアレスミスだ！本番はしなければいい」という意識で勉強をしていました。ただ、そのケアレスミスがどのような原因で起きるのかを検証が甘かったのです。精度が上がらないまま本試験を迎えてしまいました。消費税法は一年勉強すれば「ある程度」の精度まで到達します。

その「ある程度」から、ものすごく高い精度に持っていくのが大変です。その意識もなかったのが、計算における一番の敗因です。

## 受験一年目消費税法の敗因検証 理論編

敗因は、理論暗記の精度が低かったことに尽きます。消費税法の理論暗記は、条文テキストの見開き四〇ページほど。受験予備校(大原簿記学校)による、本試験に出題させる可能性が高く、さらに受験一年目で覚えて欲しい理論は、三〇題程度です。

その中でもランクの高いものは二〇題くらいになります。税理士試験の受験一年目は、理論を見開き一ページ丸暗記するといいこと自体が大変苦痛で、貸倒れの場合の仕入税額控除の特例や、売上返還の理論を覚えている時などは、なかなか覚えることができずに発狂した思い出があります。



ただ何とか覚えることができず直前期を迎え、理論の刷り直しに入った時に、刷り直している理論と、まだ覚えていない理論があると、どうしても刷り直している理論に再度時間を使いがちです。理由は、一度覚えた理論は覚え直しが楽なので、つい楽しい楽な理論に時間を使ってしまうからです。

結果、既に暗記している理論のさらなる刷り直しに時間を使ってしまい、暗記ができていない理論が多数残ることになります。結果、後者の理論からも出題され、いい答案が作れず不合格となります。

## 受験二年目消費税法の敗因検証

二年目に受験した消費税法も残念ながら不合格でした。振り返ってみると、計算はどう考えても合格ラインは超えていると思うので、理論に問題があったと思われず。理論は国内取引の判定について一つ一つの事例に解答する形でしたが、それまでの消費税法の問題は、消費税法の論点について理論サブノートの内容をベタ書きする形式の問題が多く出題されました。そのため、その回答についても論点に対する解答を一〜二行書き、該当する条文を網羅的に書いて、「条文の根拠はこの中に入っていますよー」というスタイルで解答しました。

おそらくそれが、ダメだったのです。翌年から筆者も税理士講座の講師になり、出題する試験委員のキモチも少しは理解できるようになりました。すると、そのした解答用紙は目も当てられないことがわかりました。即座に、アウトだと！

試験問題の解答用紙というのは、試験委員と受験生との対話です。けれども、受験二年目の解答は、まったく対話になっていませんでした。それが一番の敗因と確信しています。

またダメだったか・・・



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 固定資産税の敗因検証

固定資産税も、一度不合格を経験していますが、敗因はシンプルです。計算問題において初学者の一般コースでは参考程度にしかならず学習していない航空機の償却資産の論点が出題されたからです。

そのため、計算問題をみた瞬間に不合格確定でした。

## 第九章 仕事をしながら受験組

### 受験専念組が「仕事をしながら受験組」にスイッチするタイミング

仕事を休んだり辞めたりして「受験専念」で税理士試験勉強に取り組める人は、意外に少ないものです。多くの場合は、受験専念を一〜三年。そこで必須の会計科目や税法科目を合格し、その後仕事をしながら受験組へ。残りの科目を合格するというのが、税理士試験の合格プランとしては、一番オーソドックスです。

筆者も受験専念二年で簿記論、財務諸表論、法人税法を合格して、その後大原簿記学校の講師として仕事をしながら消費税法と固定資産税に合格しました。もちろん最短の青写真は、二年で五科目合格。ですが、想定していた範囲内の成果ということになりました。

筆者は幸いにも、受験専念の二年間で主要科目が合格できたので、青写真通りに受験専念から「仕事をしながら受験組」へのスイッチに成功しました。しかし難しいのが、予定通り合格科目が揃わなかった時に、就職するほうがいいのか否かの選択です。

この話は声を大にして言いたいのですが、自分自身の経済環境、一番身近にいる家族の理解があるなら、必須の税法科目（実





務を考えれば実質的に法人税法)を合格するまでは、就職せずに受験専念をしたほうがよいです。たとえ周りの受験生が早々と就職しようが、学生時代からの友人にニートだ何だとバカにされようが、何だろうがです。

もちろん、仕事をしながらの受験で法人税法を合格する人はいますし、実務を積みながらの勉強であれば、実務によって法人税法を学べることもあるでしょう。

しかし、それでも筆者は就職せずに勉強したほうがよいと考えます。理由はまず、受験専念で始める受験生の大半は、法人税法に受かるまで受験専念という予定のはずだからです。もし、プランが狂ってやむにやまれずに就職することを検討する、ということとは、当初に描いた合格科目の青写真が狂っているのです。具体的には、会計の必須科目である簿記論、財務諸表論に手こずっている場合が多いです。

経験からいわせてもらえば、簿財で手こずる受験生は、法人税法ではもっと手こずります。当たり前です。簿財より勉強するポリシーも多いいし、毎年合格を逃している実力のある受験猛者たちが法人税法合格を目指しているからです。

仕事をしながら法人税法を合格する人は、ほとんどが仕事をしながら簿記論も財務諸表も合格しています。要するに、仕事をして合格する人は、受験専念で簿財に苦しんでいる受験生よりもそもそもの勉強スペックが高いのです。受験生の勉強できる環境はそれぞれです。経済的に絶対就職しなければ貯金が底をつくなら仕方ありません。しかし多くの受験生は親に土下座でもすれば、あと一年くらいスネをかじらせもらせる環境だったりします。

でも周りの声が気になって、あるいは自分のプライドを保つために就職するのです。受験専念の予定があと一年伸びたらそれでも勉強し、リミットを決めるのがよいでしょう。もし自分で決めた年度で法人税法が受からなかったら、スパッと税理士試験から身を引くことも考えましょう。

簿財だけの合格で、仕事をしながら法人税法の合格を目指しても合格しない時、その理由は、仕事をしながらだからなのか、自分の能力が足りないのかわからなくなります。理由がわからないまま合格できない受験勉強を継続するのは、人生の無駄遣い。そう、筆者は考えます。



## 受験専念組が仕事をしながら受験組になった時の落とし穴

税理士試験は長期間の勉強期間を要します。二〇代の前半で受験を始めても、五科目合格するころには三〇代に、なんていう人はザラです。

受験専念、独身で勉強を始めても、合格するときには仕事をしながらだったり、配偶者や子供がいるなんてのもザラです。というか、むしろ一般的です。受験専念組が仕事をしながら受験組になる時に注意したいことが二つあります。

- 一 仕事をしながら受験組になったら、受験専念時代よりも勉強時間が減る。
- 二 仕事をしながら受験組になったら、想定以上に勉強時間は確保できないのは、わかっている人も、二を甘く考えている人は多い。ものです。

受験専念組が仕事をしながら勉強する場合の仕事は、ほとんどは会計事務所での実務となりますが、受験専念で会計税務の勉強をしていても、実務のスキルは別です。特に新しい仕事を始めた一、二年は、仕事をしながらの受験は大変です。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 仕事をしながら税理士試験合格を目指す一番のハードル

では、仕事をしながら税理士試験合格を目指すのは何が大変なのか？まず一番のハードルは何かといえば、「勉強時間の確保」と、ほとんどの人は考えるでしょう。それが、正解だと思えます。

ただ、勉強時間が確保できない理由を考えていくと、仕事と両立させて、あるいは家族サービスなどのプライベートと両立させて、税理士試験の勉強をするための一番のハードルは、日本人に刷り込まれた潜在意識だと考えています。

具体的には、「用和爲貴（ようわいき）」つまり、和をもって尊しとなすという、組織や集団での争いを好まず、誰かの犠牲になることを美徳とする価値観です。日本人には筆者も含めて多かれ少なかれこのアイデンティティが刷り込まれています。「三つ子の魂百まで」といいますが、刷り込まれている価値観を明日から切り替えるのは本当に大変です。

日本での仕事は欧米に比べると生産性が低い、とよくいわれます。理由はこの「周りに気をつかう」アイデンティティにとっても起因していると思っており、成果よりも足並み揃えて喧嘩せずに何かを成し遂げるといっようなところが、日本人には受け入れられない。そして、多少効率が悪くてもそちらのほうが、結果としてうまく事が運びます。

そのやり方が欧米の成果主義に比べて間違っているかといわれれば、そのやり方で経済大国になっている現在を見れば、ひとつの価値観として正しいと思います。しかし、仕事をしながら資格試験の勉強をするなら、まずその意識を少し変えないといけません。

資格試験の勉強をして自分自身もスキルアップができれば、組織や一緒に仕事をする人にとっても、もちろんよいことです。個人の能力が向上して、組織への貢献度も高くなるのですから。ただ自身の勉強の効果を享受するのは、少し先の未来の職場であり、同僚たちであるはずで。

受験勉強している時には、残業はせずに定時で帰ることも必要ですし、勤務体制も見直してもらった必要があるかもしれません。そんな時に、仕事の同僚はどんな接し方をするでしょうか。

結構な割合で受験勉強の妨害をします。

今まで自分と同じ程度のスキルで給料も同じくらい同僚が、突然スキルアップのために勉強を始めたのです。その結果、試



験勉強をしている同僚の仕事が振られてきます。

「会社のために仕事を頑張っています！」と一見、美德のように振る舞っていますが、肩を並べ一緒に仕事をしていた同僚は、自分の手の届かない別のステージに駒を進めようとしているのです。

残されたほうの身としては、どうでしょう。

「くそー腹立つー！あの手この手で倍返しだー！」  
となります。

仕事をしながら税理士試験を目指すなら、このように冷たい視線を送られながらも、勉強するという意志が必要です。時には職場の上司や同僚と、短期的に達成した成果の尺度が異なる時もあります。そんな時でも、短期的な周りの評価よりも達成すべき目的、つまり「なぜ、それでも税理士試験の受験をするのか」が確固たるものでないと、必ずブレます。

そこがブレると、最初の話の「勉強時間が確保できない理由」など探せばいくらでも転がっています。

「勉強時間を確保する意志」がしっかりと固まっているのか否かが大切です。仕事をしながら税理士試験の勉強をする際の、根本的な一番のハードルはこれだと思えます。

## 「仕事しながらの税理士試験受験生」は本当にすごい

仕事をしながら税理士試験を目指す人には、本当に頭が下がります。そして、受験の始めから仕事をしながらの勉強で五科目を合格する人は、本当に本心に凄いなと思います。

ちなみに、前述のとおり足掛け五年、四回の受験のうち、後半の二回は仕事をしながらの受験勉強でした。が、最初の二年は受験専念。実家暮らしで親のスネをかじらせてもらいました。当時は独身でしたし、二〇代前半ということもあり恵まれた環境で勉強をさせてもらえました。

税理士試験の各科目に合格するために必要なのは、受験初年度における学習範囲のインプットと、不合格だった場合の翌年以降のスケジュール管理等の戦略です。受験初年度に足りなかった学習範囲の補完とピークを本試験当日に持っていくためにも、これらが極めて大事です。言い換えれば、受験初年度に時間をしっかり使ってインプットした学習内容の精度が、翌年以降



に確実に合格するための土台となります。

仕事をしながらの受験勉強は、前半の二年間の受験で不合格だった消費税法と、固定資産税の刷り直し勉強でしかなかったため、勉強の時間の多くは合格するための「戦略立案」にあてました。さほど机の上に向かって計算問題を解くこともなければ、新規の理論を必死で覚えることもありません。いわば「プチ・仕事両立受験生」でした。仕事をしながら受験初年度のインプットに注力するのは、非常に根性が必要です。

さらには結婚したり子供がいたりする状況で、法人税法を初学で合格する人などは、税理士試験へのモチベーションが半端ではありません。頭が下がります。筆者は現在結婚して子供がいますが、この状況で「税理士試験のような試験勉強を始めますか」と問われれば、迷わずNOです。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 試験受験生を雇う会計事務所の所長の本音

会計事務所の所長の全てがそうではありませんが「そんな考えの人もいますよ」という話です。会計事務所です実務をしながら勉強する場合には、試験勉強の時間の確保ができる会計事務所です働きたいと考えるのが自然です。会計事務所によってスタンスは様々ですが、基本的には会計事務所の所長は、試験勉強よりも実務を頑張つて欲しいと思っています。

給料を出して仕事してもらっている以上、当然です。実務でスキルは変わらないのに、試験に合格してしまつて給料をべーすアップしたら、事務所経営という意味では固定の人件費が増大します。そうした事務所の運営事情から、建前は試験合格をバックアップしているようでも、本音はそうでないケースも多いです。

所長の本音がそうであるなら、いくら仕事で「恩があつたとしても、受験勉強はあくまで「自分のスキルアップのため」というスタンスを忘れてはいけません。働いている事務所の所長も、本心で応援してくれているとは限りませんから。

「所長のために頑張っている」なんてことを考えるのは、一見すると格好よさげです。しかしながら、試験がうまく行かなかつたの本音を垣間見た瞬間に、自分自身で目指した税理士になるという道から逃げ出す言い訳を用意しているのと何も変わりません



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 独学って、どうよ

独学は、受験三年目以降、かつ「三税法」ならおすすめです。ただし法人税法等の論点の多い科目や、税制改正の多い科目はおすすめしません。

筆者自身は、固定資産税と消費税法の合格年は、独学で勉強しました。独学のメリットは、自分の理解の進んでいる論点、そうでない論点を判断しながら適切な時間配分によって勉強することができます。当然のことですが、資格試験は「本試験当日に、合格答案を書ければいいんでしょー」という意識がより明確になりますので本試験当日から逆算しての勉強プランを自分自身で構築することが可能です。

一方、受験予備校で勉強していると、頭ではわかっていても答練の点数で一喜一憂してしまいがちです。受験予備校に通って何年も受からないようなら、気分を変えて別の受験予備校を選択する方がよいでしょう。何年もやっついて一番怖いのは、マンネリによりモチベーションが低下すること。そして何年もつづけることで、見たことのある問題を解答し「できた気」になってしまうことです。「受験予備校の問題解答のプロ」になってしまうのは、非常に怖いことです。

## 第十章 その他

### パン業界の本質を知ってパン職人をやめた話

パン職人は一九歳から二一歳までの三年間つづけました。それから働いたパン屋を退職し会計の勉強を本格的に始めました。自分の経歴を話すとまず間違いなく、

「なぜパン職人から税理士になったのですか？」

という質問を受けます。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

様々な理由がありますが、一つの理由に「パン業界の本質を知ったから」というものがあります。

まず「うまいパンって何だね？」(by 北の国からの故菅原文太さん)誠意ってなんだね？(風)という問いを考えてみましょう。パン屋は、「うまいパンを作って消費者に届ける」のが本分です。うまいパンとは、筆者の考えでは「でき立てのパン」だと思っています。

人によって、好きなパンは様々です。菓子パンが好きな人、フランスパンが好きな人、ドイツパンが好きな人がいますが、基本的にはでき立てのパンが絶対うまいです。

そうすると、パン屋が考えなければいけないのは、いかに消費者にでき立てのパンを食べてもらうかです。ところが街のパン屋を思い浮かべてみればわかる通り、お店に入ってみるとでき立てのパンは意外に少ないのです。

対して、エキナカに入っていたりするチェーン店のパン屋では、次から次へと焼きたてのパンが運ばれてきます。この違いは、前者のパン屋は職人が生地をこねて一次発酵、二次発酵を経て焼いて店頭で陳列するのに対して、エキナカのチェーン店のパン屋は、すでに発酵が終わって焼く寸前のパンを工場冷凍保存し、冷凍生地を店頭で解凍して焼いているからです。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック



パンは生地の仕込みから焼き上がりまで四〜六時間程度がかかるので、焼きたてなどそうそう何度も出せるわけがありません。対して冷凍生地なら、生地の解凍から焼き上がりまで二時間もかかりません。そしてアルバイトの子でも作業ができます。

ついついパン職人の立場からしてみると、冷凍生地の利便さは認識しても、「やはり手作りの良さがある作りたては、うちのほうが美味しい」と思いがちです。実際、確かに作りたてはうまいです。ただ消費者にとっては、作りたてでどっちが美味しいかより、お店に行った時に作りたてがあるかないかが重要です。

そうすると、職人が作るパンよりも工場で作ってでき立てを頻繁に消費者に届けたほうが、満足する消費者の総数が多いといえるでしょう。

「自分が朝早く起きて作ったパンより、工場で作ったパンのほうが結果美味しいものができるなら…。パン職人を続けていく意味、ないよな」と意志を固め、違う道に舵をきりました。

「本質は何だろう」と考えた時に、パン業界のライバルはファストフード店や、吉野家の牛丼だったりします。周りの飲食店が矢継ぎ早に低価格戦略を打ち出していたので、パン自体の相対的な割高感が否めず、「自分が消費者だったらこのパンをこの値段で買うか」という疑問を抱いたりもしました。業界の中に身を置くと、なかなか冷静な目で見られなくなりがちです。だからこそ、「本質は何かと考えるためのアンテナは、意識して張っていないといけない」と思います。

## 税理士試験はあきらめ時も肝心

税理士試験の撤退判断は、早めがいいです。もし受験専念で税理士試験の勉強を始めたなら、最初の受験はほとんどの人が簿記論、財務諸表論から勉強します。

受験専念で勉強して、二年間でこの簿財が合格できなければ、税理士試験は撤退したほうがよいでしょう。対して、簿財を一年目でサクッと合格できる人は税理士試験を短期(二年〜五年くらい)で合格できる可能性が高いといえます



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

税理士試験でよく耳にするのが「税法の壁」です。簿財を合格した後に、税法、特に必須科目の法人税法や所得税法などのポリウムが多い税法科目でなかなか合格できないために、そう呼ばれます。法人税法一科目の学習でも簿財どちらかとミニ税法一つ合わせたくらいのポリウムがありますし、人によっては、簿財両方で法人税法一つ分程度という方もいるくらいですから、簿財の勉強がアップアップで合格しても、その後さらに時間がかかってしまいます。

税理士試験で一番難しいのは、何度も繰り返しになりますが長期間の及ぶ受験期間のモチベーションの維持です。二〇代前半で受験を始めても、最初の数年で手こずると先は長いです。そしてポリウムが多い科目が待ち構えています。プライベートの環境も一番変わる時期です。

税理士試験に費やした二年が空白の期間になってしまうような感覚になると、なまじつか受かってしまった合格科目に後ろ髪を引かれて、税理士試験を継続しなくなりませんが、撤退するのも大事な選択だと思います。

税理士試験の勉強から一歩外に出たら、いま生きている世界やコミュニティがいかに小さいものかを実感するはずですよ。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 会計業界の環境変化は税理士試験の傾向の変化の比ではない

独立後、改めて思うのは、税理士業界の環境は、税理士試験の試験傾向の変化の何倍も何十倍も速いスピードで変化しているということだと思います。

筆者が税理士試験を受験していたのは二〇〇二年〜二〇〇六年ですから、初受験からもう一〇年以上も時間がたっています。久しぶりに会計人コース（中央経済社）の税理士試験の受験対策特集を見ましたが、基本的には変わっていません。理論問題も昔に比べて丸暗記のベタ書きでなく、理解が問われるようになったとはいえ、受験予備校の用意した理論テキストを暗記する作業に基本的に変化はありません。

しかし、実務は凄いで勢いで変化しています。それを一番実感したのは、大原簿記学校の講師から税理士法人で実務経験を積み出した時ではありません。二〇一三年に独立した時です。

理由は、昨今のパソコンの高性能化やクラウド化の普及によって、従来必要だった記帳代行業務などは、ほぼ自動化できる環境が整ってきていることです。ただ、筆者が勤務していた税理士法人もそうですが、一定規模以上の税理士法人であれば、従来の既存のお客様は一〇年や二〇年の付き合いは当たり前、半世紀近く同じ事務所で会計をお願いしているなんて話もよく聞きます。

基本的に、会計事務所を変更するのは手間がかかるというイメージがあるので、一度会計事務所を決めたらなかなか変更しません。ですから、税理士法人の勤務税理士時代は、顧問報酬も決算料もパソコンやネット環境が普及する前の言い値でそのまま来ているケースが多かったです。

この場合、会計事務所の立場からすれば、パソコンなどが発達して手間は減るのにもらう報酬は同じで、とつてもオイシイ仕事です。裏を返せば、クライアントは報酬を支払い過ぎてきている状態です。ただそのようなお客様は、そもそもパソコンの取り扱いが得意ではないし、「クラウドだ！新しい会計ソフトだ！」といつても、そもそも変化することが苦手なのだから、それはそれでいいのです。だから勤務税理士の時代は、「そんなものか、顧問報酬って」と思っているフシがありました。ただし、独立開業



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

したらそうはいきません。独立して新しいお客様を獲得しようと思ったら、経営者の中心は二〇代〜四〇代くらいです。パソコンは得意だし、クラウドでいかに効率よく仕事をするかを徹底的に考えています。

そんな人たちはみな、今の時代に払う顧問報酬の適正額を知っています。一〇年前、二〇年前の顧問報酬の適正額なんて全く参考になりませんが、一定規模以上の税理士法人ではその報酬が普通だったりします。

このように移り変わりが早くなっているのが会計業界です。どうせ目指した税理士試験です！ととと合格しないと、せつかく合格した時には全く仕事が無いあるいは、頑張っても全然儲からない食えない業界になっているかもしれないですよ。※この話は最後の【それでも税理士めざしますか？】で深掘りします。

## 税理士試験受験生を支える彼女や恋人の話

筆者の妻とは、すでに税理士になってから出会いました。

結婚してすぐの話です。ベッドの下からごっそり出てきたのは、税理士受験生時代に付き合っていた彼女の写真でした。勉強履歴などを記録していた日記に、恋人のとの写真も貼ってあったのです。それを発見した妻は、「六八点くらいのぼちぼちの彼女ね！」と毒づいていました。

この六八点というニュアンスを補足すると、税理士試験は合格点が六〇点ですから、六八点というと合格点。しかも受験生の感覚でいえば、かなりいい点数の合格点という感じがします。しかし、妻の感覚では七〇点くらいが合格点。要するにまあまあ可愛いけど合格点の七〇点には達していないギリギリ不合格な残念な女！というニュアンスでちよつとしたダメ出しです。

しかし、当時の彼女は、勉強優先の生活にも文句も言わずに一緒にいてくれたのです。

資格試験の取得というのは、自分だけの戦いでなく、家族や恋人の助けが必要な部分が多々あります。

うちの妻は、その当時の苦労は知らずに、当時を支えた彼女に毒をはいています。構図としては「税理士の資格を取得するとい



「う事だけ！」に目を向けるのならば、資格取得をし成長したところで結婚して、美味しいところを持っていったわけです。プロ野球でいえば、頑張って育成した選手をFAで巨人やソフトバンクが持っていったような「いいとこどり」です。妻よ、それまで育てくれた当時の彼女にこそ、感謝をするべきです。  
「六八点呼ばわりされたら浮かばれないよな……」



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

[Amazonの販売ページはこちらをクリック](#)

## 税理士試験や資格試験に適している人、そうでない人

受験生専念時代が二年、大原簿記学校で講師が三年(うち二年は筆者も受験)と五年間、多くの受験仲間や、自分が試験合格へのお手伝いをさせていただいた受験生たちを見てきました。すると、この税理士試験に適している人、適していない人がなんとなくわかるようになってきました。「適している人」とは、合格しやすい人という意味です。

端的に言えば、有名大学を卒業(や在学中)しているかどうかは、あまり関係ない気がします。筆者はキャンパスライフというものを経験していませんので、それほど偉そうに語ることはできませんが、やはり有名。大学卒といってもピンからキリまでいるということです。当たり前といえば当たり前ですが、それよりも、その大学にどのように入学したのかを聞くと、日々の授業態度などがよく通信簿がいい大学推薦タイプと、センター試験などの試験合格タイプがいて、税理士試験に適しているのは、間違いなく後者であると断言できます。

税理士試験は一年に一回一発勝負の試験です。

「一年に一度の試験にどれだけのパフォーマンスを発揮できるのか」を考えながら勉強すると、日々安定した評価を得るために勉強するのは、学習への取り組み姿勢から追い込み方まで、全く異なる才能であると筆者は感じています。

どちらが良い悪いかの話ではなく、試験を受けるに当たって、適正を判断することも重要なことだと思えます。例えば、一発勝負タイプは資格試験に向いているし、コツコツ勉強タイプはTOEICなどの地道にスコアを上げていく学習が向いています。かく言う筆者は完全な前者タイプで、長期間コツコツ、モチベーションを持続するということは極めて苦手であり、高校一年でビリだった話は冒頭に紹介させていただきました。ただ高校二年の三学期にこのままでは留年確実というところまで追い詰められ、二か月だけ猛勉強をしたところ、クラスで二位の成績になったことがあります。

税理士試験の学習範囲である会計や税法の勉強というのは、商業高校などで学習する場合を除いてほとんどの受験生が初めて学習する勉強です。それを考えると、自身の特性などを踏まえて学習に当たれば、「○○大学卒」といった「これまでの勉強ができたかそうでないかの指標」は、さほど参考にならないのかもしれないかもしれません。



## 受験期間が長くなってしまおう人の共通点 メンタル編

筆者は、メンタルが弱い方の部類に入ります。

答練で点数が悪ければひどく落ち込むし、答練期の五、六月にかけては、毎年のように試験から逃避したい気持ちが募り、誰かが恋しくなってしまうかもしれません。ただ、自分はメンタルが弱いことを知っているので対策を立て、「勉強スベック」も決して高くないことを認識していたので、勉強方法も試行錯誤して工夫しました。

筆者はこれが、税理士試験に合格するために必要なメンタルではないかと思います。

「自分をある程度俯瞰(ふかん)して判断し、対策を立てることができると」

このことに尽きると思います。イメージは、おもちゃの「チクタクバンバン」。自分が落ち込むとき、また上がる時に少し先回りして対策を立てます。時には間違った方向に行ったりして、最短距離を突っ走らなくても倒れないよう、自分自身をマネジメントしていくことです。

逆に、なかなか受からない人の共通点は、根拠がなくポジティブな人だと思います。ポジティブというよりも「楽道家」に近い人です。例えば、講師時代に税理士試験本試験の終了後には、今後の受験科目や仕事と両立して勉強するかなどの受講相談(進路相談でもある)の対応をしていました。ある受講生は受験専念で、簿記論財務諸表論の二科目合格するのに二年かかったにも関わらず、仕事をしながら法人税法を勉強するというのです。

簿財のみ合格し、働きながら法人税法の合格を目指すというパターンがあります。想定していたよりも合格科目が揃わないが、実務経験も積まなくてはいけないとの思いから会計事務所等に就職してしまう。このケースが実に多い。仕事しながらの受験組で、何年も合格科目がないという受験生たちです。やる気や情熱はわかりますが、簿財に二年程度かかった人が、仕事をしながら法人税法に受かるのは、その後急激な意識変化でもない限り基本無理です。登山で例えるなら、高尾山を登るのもアップアップな人が、背中に何十キロの荷物を背負って富士山を登るようなものです。



二年も税理士試験勉強しているのに、自分の能力を過大評価して「気合で何とかなる」と思ってしまう人がいます。税理士試験は、気合いで続けられるほど短いスパンで終わるものではありません。成績が伸びない時やくじける時、仕事や家族の環境などが大きく変動する可能性も織り込みながら、時にはネガティブに保守的に戦略を立てることが必要です。

このような控えめな話をするに「税理士試験は科目合格制だから、仕事をしながらでも合格が可能です」と言われるだろうし、ましてや受験予備校の受講相談に行けば「自分自身のやる気次第で合格できます。仕事しながら法人税法に一発合格したい人も沢山知っていますよ」なんて言われることでしょう。もちろん、そのような人はいます。

そして、受験予備校の相談にのってくれる講師や相談員は、あなたをお得意様と見ているから、ネガティブなことや受講をためらわせるようなことは決して言いません。

しかし、仕事をしながらでも合格した人が「いる」と、自分自身が「実現可能」であるか全く別次元の話です。受講相談で「受かりますよ！」と背中を押してくれた相談員は、あなたが合格しようがしまいが、知ったこっちゃありません。自分自身の頭で考え、時には「大胆に！そして冷静に！」なりましょう。一番参考になるのは、瞬間のやる気や情熱よりも、やはり今まで自分が積み上げてきた人生の履歴だと思います。

## 受験期間が長くなってしまふ人の共通点 計算編

税理士試験は受験生の環境や境遇によって受験期間は様々ですが、なかなか合格できない人にはほとんど同じ共通点があり今回は計算編です。

例えば、総合問題偏重タイプで合格できないケースです。

税理士試験は科目合格制ですのでそれぞれの科目の学習範囲はさほど広くありません。ボリュームが一番多いといわれる法人税法でさえも、一年間しっかり勉強すれば、合格レベルの学習範囲を網羅することができます。

そうすると、可否を左右するのは学習範囲の解答時の「精度」です。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック



総合問題は、精度の高さを確認する演習であって、精度を高める演習ではありません。スポーツで例えるなら、総合問題は「試合」であって、試合でパフォーマンスを出すには、基礎体力づくりの走りこみや、筋トレなどが大事です。受験が何年にも及ぶと、学習範囲の知識はあるので、基礎体力づくりにあたる個別問題の修練を軽視しがちです。

個別問題をそぞろに、総合問題を解きまくる人は、なかなか合格するのが大変です。逆に総合問題を解いていても、発生したケアレスミスや論点理解が曖昧な部分について、「総合問題でのケアレスミスだ!」とゆるがせにせず、個別問題に戻って、一つの精度を高めることに真摯に取り組んだ人が必ず合格していきます。

## 受験期間が長くなってしまふ人の共通点 理論編

どの税法科目も受験一年目の初学者にとって、乗り越えないといけない壁は、間違いなく理論暗記です。

理論暗記で時間を奪われつつ、計算問題の学習範囲の精度を高めるといふ、理論と計算の両立が一番きついです。裏を返せば、受験二年目以降の受験生にとっては、理論の学習は基本的には刷り直しのみの学習で済みます。もちろん、一年目に覚えきれしていない理論は新規になりますが、税法科目は計算と理論の時間の使い方のバランスが極めて重要です。

受験一年目であれば、理論と計算のバランスは、半々か直前期には六：四とか七：三と、理論の学習に時間を食われます。しかし、受験二年目以降は計算が八、理論は二くらいになるでしょう。

理論の時間が二にならないなら、それは理論の刷り直しスケジュールに問題があるはずで、ちなみに、受験予備校が用意してくれる理論の暗記スケジュールは参考にするべきですが、必ずしもそれを真面目に遂行する必要はありません。

当然、受験生一人ひとりが覚えている理論は異なりますし、昨年の本試験までに覚えている深さが異なるため、受験予備校が用意してくれる理論の暗記スケジュールは初学者の一年目は忠実に遂行するべきです。しかし二年目以降は自分なりに応用したスケジュールを作るべきです。

受験予備校のスケジュールを、自分の頭で考えずに忠実に遂行している人ほど、二年目以降も理論暗記に時間を取られてしまい計算が弱い結果となります。



## それでも税理士を目指しますか？

税理士試験をすでに勉強している人には「少しでも参考にしていただき、一年でも早く合格してほしい」と思う一方で、これから税理士を目指す人へは「ぜひ、こちらを読んでいただきたい」という一心でつづります。なぜなら現在、そしてこれからの税理士業界は圧倒的な「斜陽産業」であるからです。

この業界の市場規模は大幅に縮小しています。そして、これから数年で一気に縮小が加速するはずです。税理士試験をこれから目指そうと思っている人が税理士として独立できるまで、はたして何年かかるでしょうか。そうした前提で、「これから税理士試験を目指しても、いかななものか……」という話をしていきたいと思えます。

## 税理士試験は、資格取得に時間がかかり過ぎる

まず、これから税理士試験を目指すという人に言いたいことがあります。

「税理士試験に合格するには、とても長い時間がかかりますよ！」

資格試験の受験予備校の中には、税理士試験の平均合格年数は二〜五年程度と伝えているところもありますが、二年で税理士試験に合格する人は、年に数名しかいません。※国税庁などから、公式に発表されているわけではありませんが、筆者の現役受験生時代及び、受験予備校の講師時代で、いわゆる税理士試験業界に五年間、身をおいてもパンフレットに紹介されている受験生を除けば、二年で合格した方は、前述した講師時代の先輩の女性ただ一人です。

例えば平成二七年税理士試験の受験者数四一〇三一人に対して、税理士試験の合格者は九一〇人です。ただし、この合格者数のうち二年以内に合格する人は数名ですから、実に宝くじに当たるような確率です。

周囲を見渡すと、五年程度で受かる人は確かにいます。かくいう私も受験回数四回、足掛け五年（受験を休んだ一年も含む）で税理士試験に合格しました。この五年という期間は、税理士試験を目指していない人からすると「長いなあ、五年もかかるの



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

か…」と思われるかもしれませんが。しかし、税理士試験勉強を続けていた(あるいは続けている)人からすると、五年で合格というのは「順調」といえます。

筆者も四回の受験、足掛け五年で合格したので、結構順調に受かったな、という実感があります。四回の受験で合格科目が一つもなかった年はなく、メインの受験科目はすべて、受験した年に合格しています。

もちろん世の中には、すべての受験科目を不合格なしの最短で合格する人もいます。そのようにすべて一発合格すれば、最終的にすべての科目をパスする年数は二〜三年足らずというケースも皆無とはいえません。しかし、すべての受験科目が合格率一〇〜二〇パーセント前後であることを考えれば、不合格になる年もあることを想定して計画を立てる必要があります。

私の合格実績に話を戻します。

筆者の場合は、二年間親のすねをかじらせてもらい、三年目からは受験予備校の講師としてフルタイムで仕事をしながら受験しました。

税理士試験において、多くの受験生がこの最初の二〜三年は受験に専念します。そうしてメインの科目を合格したら、会計事務所などで実務をこなしながら資格試験の勉強と並行させます。

筆者が仕事をしながら固定資産税と消費税法の二科目に合格できたのは、受験予備校の講師という仕事についていたからだと思います。なぜなら、出題者の意図がわかるからです。そして仕事後に自習室ですぐに勉強できる、など受験をするための環境が整っていたからです。

実務につきながら受験もし、さらに合格を手にするというのは、思っている以上に大変です。結論としては、五年で受かるのも並大抵のことではありません。

講師として受験生を見ている感覚でいうと、受験を始めてから合格するまでの所要年数は、少なく見積もっても三年、長い人なら一〇年以上かかります。とすると、平均しても七〜八年というイメージだと思います。

とにかく、ここで声を大にして言いたいのは、「税理士試験は長い時間がかかる」ということです。そのことをまずは伝えておきたいです。



## 税理士試験の試験勉強は、実務で意味があるのか

税理士試験における試験勉強は、相当長い期間を要するとお伝えしました。それほどに長い時間がかかって税理士になったとして、受験勉強が実際の業務に役に立つのかというと、試験の内容は、現在求められている実務のスキルと大幅に乖離していると思います。税理士の試験は、基本的には計算問題と理論問題で構成されています。※簿記論は計算問題のみ

## 税理士試験の試験内容

計算  
問題

理論  
問題



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

計算問題は、条文に即した算式について、持参した電卓で計算して解答を導き出すというものです。

理論問題は、丸暗記した条文をそのままベタ書きするか、問題で与えられた事例について、該当する条文をアレンジしながら解答していきます。

昨今、表計算ソフトや会計ソフトがこれだけ進化しているのに、今さら電卓をたたいて解答を導き出すというのは、そもそも意味があるのか。そんな議論もあると思います。しかし税法の計算式や構造を体に染み込ませるという意味では、必要だと思っています。

正直なところ、実務では固定資産に関する「減価償却費の計算」、および法人税法の試験において回答しづらい論点の代表格である「受取配当金等の益金不算入の論点」などは、申告ソフトのシステムに計算要素となる数値を入力しさえすれば、自動で算出されます。また、エクセルなどの表計算ソフトで金額の集計を行えば、電卓をたたく余地はかなり限定的となります。

ただし、税理士試験に合格するために何度も計算した構造が体にしみついていて、基礎数値の入力漏れなどのヒューマンエラーを事前に回避できるというメリットは大きいと思います。そうした力は、税理士試験に向けた受験勉強で計算問題を数多く解いてこそ身につくものだと思います。

対して、理論問題に目を向けてみましょう。

この理論問題は、すでに時代錯誤なのではないかと思えます。

理論問題は、会計基準や税法条文を暗記しその内容を本試験でアウトプットするものです。

いまやインターネットで調べようと思えば、いくらでも情報が得られる時代です。

例えば、該当する条文も法令データ提供システムという条文が検索できるサービスもあるので、根拠条文を調べるスキルを身につける必要はありませんが、条文を暗記するという必要はありません。

ちなみに、税理士試験の理論問題は税法条文の暗記なのですが、実際に合格する税理士試験の受験生の大半は、オリジナルの税法条文を暗記しているわけではありません。実際の理論暗記は、オリジナルの税法条文を覚えやすいようにと、受験予備校が要約した条文を暗記しています。この要約された条文は、初めに断っておくと、教材としては最高です。読みづらく解釈も難しい税法条文の要旨を端的にまとめてあり、税理士試験の理論問題を制するためには絶対必須の教材なのです。



ただし最高という評価は、「税理士試験を合格するための教材としては」という条件付きです。そもそも、税法条文を覚えること自体にさほど意味がないのに、その覚える条文は受験予備校が作成した要約・簡略化された「条文もどき」なわけです。以前勤めていた税理士法人で、こんな話がありました。

税理士試験の資格予備校で勉強し、法人税法の科目合格を果たした新人スタッフに対し、実務の際に「根拠となる条文は？」と尋ねました。すると、その新人スタッフは受験予備校の理論ノートを持ちだし、「通し番号〇〇番の受取配当金等の不算入の規定です！」と答えたのです。



税理士試験を勉強した  
新人スタッフ

問題20 受取配当金の益金不算入

趣旨

根拠の条文は〇ページの問題20にある【受取配当金の益金不算入】です



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

税理士試験の受験生にとっての「税法条文」というのは、受験予備校の用意した「条文テキスト」になってしまっわけです。

受験予備校にとって、受験生を短期間で合格させるためには、受験生の多くが苦手とする理論の丸暗記をいかに克服してもらうかが重要なファクターになります。そのため、受験予備校の条文テキストがオリジナルの税法条文の要約版であることは伝えても、毎回の理論の解説授業で受験予備校が用意した要約版の理論と、オリジナルの税法条文を毎回紹介することは実質的にできません。

実務にあたるようになってから、オリジナルの条文に触れる機会を作ればいいのかもありません。とはいえ、税理士試験に合格してもすぐに実務にあたれるわけではないので、税法条文の体系的な理解や根拠条文の的確な探し方を問うような試験問題でない限り、受験予備校の理論問題対策は一時的な「丸暗記」に尽きてしまうのです。

いかなれば、現在の税理士試験の理論問題は、合格するためのただの儀式であり、「意味がないことでもやり続ける覚悟があるのか」を試す我慢比べともいえる出題のような気がしてなりません。

その儀式に向け、勉強に当たった大事な時間は大きな機会損失になってしまっでしょう。「その時間を使って別のスキルを身につけたら、もっといろいろなことができるのにな…」



苦勞して覚える税法条文はオリジナルではなく  
受験予備校が用意する税理士試験合格の為の

## 条文テキスト



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 税理士という国家資格のブランド価値が著しく低下している

佐藤留美さんの著書「資格を取ると貧乏になります」という本をご存知でしょうか。この本では、税理士に限らず弁護士や社労士など他の士業といわれる国家資格についての現状を、豊富な取材から論じています。Amazonのブックレビューなどを読むと、あまり好意的でないレビューも多くあるようです。弁護士や社労士の現状については詳しいことはわからないので何ともいえませんが、税理士の業界の現状については「よくぞ書いてくれましたー」という内容でした。

・税理士業界は、六〇代以上の税務署OBの税理士が牛耳っている現実

・インターネットの普及により顧問報酬の見える化が進み、報酬の下落が止まらないこと

・クラウド会計ソフト freee などの登場で、会計事務所の基幹業務である記帳代行業務が大幅に縮小していることなど、現在の税理士業界の問題点が指摘されています。

他の士業の現場も含めて、この本の主題は「国家資格の価値が相対的に下落していることに、税理士や弁護士である士業自身もつと自覚するべき」ということではないでしょうか。

前述のとおり、税理士試験を合格するには一定の受験勉強期間を要します。弁護士や公認会計士の試験であれば、さらに難関の資格試験となり、勉強時間も多くなるでしょう。当然、勉強をして国家資格を目指す人は、取った後のステータス(年収や、先生と呼ばれる肩書など)があると思うから、長く険しい受験勉強も頑張れるわけです。そうすると、資格を取得すれば、「自分はあれだけ大変な受験勉強をパスしてきたのだから、一定額以上の報酬もらって当然だ」と考えがちです。

一方、受験合格者がそう多くない資格試験とはいえ、毎年一定数(九〇〇人程度)の合格者が生まれているのも事実です。さらに、過去に合格した現役税理士たちがゴロゴロと存在し、市場のパイを分け合っている現状があります。

また報酬を支払うクライアントにとっては、税理士になるのにどれだけ勉強してきたかということも関係ありません。特に二〇代から四〇代前半くらいの若い経営者にとっては、士業に高い報酬を払っていた時代などは遠い昔の話です。インターネットで検索に出てくる数いる税理士の中から、自分自身に必要なサービスについての確に、かつ適正な報酬で提供する税理士を選べる時代になっています。





このような類の話は、インターネットが普及した時点でどの業界でも語られています。何も士業に限った話ではなく、むしろ「そんな話をいまさらしているの？遅いよ！」という声が聞こえてきそうです。

クラウドソーシングの普及によって、どのような職種であっても壮絶な価格競争が一般的になってきたのです。あらゆる業種が、こうした荒波をどうぐり抜けて他と差別化するか、躍りになっています。

国家資格の相対的な価値、言い換えれば、クライアントが求めるサービスに対する報酬は、明らかに下落しています。

## 独立開業した税理士が失敗に陥る負のスパイラル

税理士に限らず、士業の資格勉強を始める場合、最終的に「独立」を目指す人が多いと思います。筆者も税理士試験の勉強を始めた当時、「将来は独立だ」と信じて疑いませんでした。いざ試験に合格し、税理士として仕事をスタートする段階になると尻込みしたのも事実です。

それでも筆者は二〇一三年に独立はしたのですが、士業のだけれどもが独立開業するかというと、全くそんなことはありません。

税理士の業界でいえば、税理士法人という法人組織の一勤務税理士として働く、いわゆる「サラリーマン税理士」がとても多くなっています。

なぜ、サラリーマン税理士たちは、独立を目指さないのでしょうか。

もちろん、税理士試験を目指す時点から勤務税理士として働きたいという人もいますが、多くの場合、税理士として実務をする中で、会計業界が斜陽産業であることを痛感します。そのため、独立するよりも今の勤務税理士のほうが収入もいいし安定しているという思考が働くため、独立を目指してはいたけれど結局雇われているほうがいい、という選択をする人は少なくありません。そう考えると、一般的なサラリーマンと発想は変わりません。



前段が長くなりましたが、なぜ独立しても仕事がないだろうと思うのでしょうか。

それは、税理士として自分で仕事を取ってくるスキルを、基本的に持ち合わせていないからだと思います。

これは、筆者自身の経験談です。

かつて税理士法人や税務コンサルファームで六年ほどの実務経験を経て独立しましたが、その間に積極的に営業することによって仕事を取る、という業務をしたことはありませんでした。もちろん、日頃の業務で信頼を獲得して関連会社の税務顧問の依頼を受けたり、金融機関向けに行っていたセミナーが好評で、別の案件でも依頼が来るという話がありました。しかしながら、自分で仕事を獲得するという訓練は、皆無と置いていいほどしていません。

そのため二〇一三年に独立した際も、どうやって仕事を獲得すればいいのか暗中模索でした。

自分では仕事を取りに行けない。そんな時、手っ取り早い方法として「税理士紹介サービスへの登録」があります。これは税理士が紹介サービス会社から顧問先を紹介してもらう、というサービスです。

人材紹介などでもよくあるサービスです。税理士紹介サービス会社からクライアントを紹介してもらい、成約できれば税理士紹介サービス会社に紹介手数料を支払います。



# 税理士紹介会社



顧客情報



クライアント  
を紹介



紹介手数料



# 税理士



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

[Amazonの販売ページはこちらをクリック](#)

このサービスに登録し顧客を紹介してもらえば、とりあえずの収入源は一定数確保できます。

筆者も独立してすぐ、税理士紹介会社に登録しました。税理士として開業をしたとたん、アプローチもしないのに向こう（税理士紹介会社）から電話がかかってきたのです。

新規の開業税理士は、税理士紹介サービス会社にとって最良の新規顧客です。前職の事務所からごっそりと顧客を引き継いだりしない限り、大抵はのどから手がでるほど顧客をほしいと願っている税理士なのですから。

話を戻しますが、税理士の紹介サービスは、独立開業してお客さんが全くないうちは使ってもよいかもしれませんが。しかし継続して利用するようであれば、事務所運営が負のスパイラルに陥ります。

理由はたった一つです。紹介の手数料が高額だからです。

自分が開業して間もない頃に使っていた、とある紹介会社の紹介手数料は、年間の顧問報酬の五五パーセントでした。クライアントからいただく報酬の半分以上を、税理士紹介サービス会社に支払わなければいけないのです。

例えば月に三万、決算一四万、年間五〇万円の顧問報酬をいただく場合、税理士紹介会社に支払う手数料は二七万五〇〇円です。

この手数料について人に話すと、ほとんどの方は異口同音に「高い！ぼったくりですよ」と声色を変えます。



私ももちろん「高額」だと思えます。しかし、このサービスは決してぼったくりではありません。独立開業をしたにもかかわらず、自分自身の力で仕事を取ってこれられない営業力に難点があるのです。

そうした問題を抱えた税理士が、税理士紹介会社のよいお客さんになっているに過ぎません。

仕事を獲得するのにこの紹介サービスのみを使用していたら、独立開業すぐの若手税理士の事務所にとっては相当痛手となるでしょう。税理士紹介サービスの利用は、独立間もなく、全く仕事がない時期であれば、高額の紹介手数料も致し方ないかもしれません。しかしながら、紹介サービスでしか顧客を獲得できない場合、間違いなく負のスパイラルに陥ることになります。

← 前述の例であれば、実質的な年間の顧問報酬は五〇万円から紹介手数料二七万五〇〇〇円を差し引いた、二二万五〇〇〇円しか利益は残りません。

← 利益が少ないから、数をこなす

← 数をこなすためには、スタッフを雇う

← 雇ったスタッフに継続した仕事を提供する

← スタッフを雇用するために、薄利な仕事をとる

一見、顧問数も売上も一定額を確保できても、税理士紹介会社に紹介手数料を支払っていくと、何と実入りの少ない顧問報酬になることでしょうか。スタッフを雇うとなると、自宅で開業した場合でも新たに事務所を借りる場合でも、地代家賃は馬鹿になりません。せつかく開業をしてもこのような事務所運営では、誰のために働いているのかわからなくなってしまう。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

手取りの売上が少ないので



数をこなす必要がある



スタッフや働かせる備品や場所が必要に



固定の支出を賄うために薄利な売上再びを追い求める



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

先に、税理士紹介サービスの紹介手数料は年間報酬の五五パーセントであり、高額だとお伝えしました。税理士紹介サービスは年間報酬の四〇〜五〇パーセントくらいが相場です。そうすると、その相場に比べてもこの税理士紹介サービスの紹介料はやや高いかもしれませんが、ただし、安いサービスでも四〇パーセントは下らないようなので、いずれにしても結構な負担です。

ただ、この紹介料の相場が高いという事実が実証しているのは、裏を返せば税理士が独立しても自分で顧客の開拓ができない、ということなのです。もちろん税理士紹介サービス会社もビジネスです。五五パーセントの紹介料で誰も利用しないなら割合を下げるでしょうから、この料金でも需要があるわけです。

市場が縮小している業界において、税理士が新たに開業すれば限られたパイの取り合いになります。すると特に営業活動が苦手な税理士にとっては、新規顧客は喉から手が出るほど欲しいものです。しかし、紹介会社を使うと事務所経営が負のスパイラルに陥ります。

そうした負のスパイラルから脱する唯一の方法は、自分自身で顧客に指名されるブランディングを確立することです。

## クラウド会計ソフト free 登場以後の税理士事務所の業務の形

筆者の事務所では、主にクラウド会計ソフト free(フリー)を活用した会計税務サービスを提供しています。

この free の登場によって、今後数年の間に今までの会計、税務のビジネスモデルの大幅な変革期に入って行くと予想されるため、本書でもご紹介したいと思います。税理士試験を勉強中の受験生にとっては、実務で使用する会計ソフトの特徴などはまだ知らない人が多いと思います。しかし非常に大事な局面に入っていく時期ですので、ぜひあらかじめ時流をつかんでおくべきです。

free が従来の会計ソフトと大きく異なる特徴はふたつあります。

- ・通帳明細の自動同期によって、会計帳簿を自動で作成すること
- ・この会計帳簿の自動作成をすることを前提とした、直感的なユーザーインターフェースであるということ



まず会計の帳簿を自動で作成することによって、複式簿記による借方貸方の記入という作業の大半が自動化します。これは、税理士事務所の記帳代行の業務を大幅に軽減することにはなりません。このfreeの登場によって、大きな影響を受けるのは税理士事務所のトップ(所長)ではありません。影響は、事務所で働く無資格や税理士試験科目合格のスタッフたちの雇用を奪っていくことになります。

具体的には、freeを導入することによって、

← 記帳の手間を自動化できる

← 従来の顧問報酬は記帳代行を前提としているため、記帳代行が必要なくなれば、記帳代行を前提としない顧問報酬に値下げが起こる

← そもそも記帳代行のためのスタッフが余剰人員になる

← 相対的に記帳代行のスタッフの存在価値が低下する。

← ということになります。

またfreeはもう一つ、会計の知識を必要としない直感的なユーザーインターフェースをもつ、という大きな特徴があります。今までの会計ソフトは、ほぼ例外なく複式簿記による記帳が前提となっていました。そのため、記帳代行のスタッフは、少なくとも簿記の知識が必要でした。しかし、freeの会計帳簿の作成には複式簿記の知識を前提としていません。

複式簿記に慣れている、いわゆる会計業界の従事者にとってfreeのユーザーインターフェースは、最初は戸惑うことでしょう。しかし、最初からfreeを使いだせば、圧倒的にfreeのユーザーインターフェースのほうが使いやすいのです。そうすると、

freeは使い方のコツさえ一度覚えてしまえば、複式簿記の知識がなくても会計帳簿の登録作業ができる、ということになります。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック



そうすると、会計帳簿を作成など誰でも出来るのですから相対的な価値低下が起こります。

Free が普及し税理士事務所の経営は顧問報酬の値下げにともない、スタッフの人件費を削減しようという発想になります。人件費さえ落とせば、何とか事務所運営は成り立ちます。

また、税理士試験は五科目合格で資格取得という試験制度ですが、一度合格した科目について一生合格実績は消えません。そのため、税理士試験の勉強は諦めたものの、税理士試験の一部の科目で合格したというスタッフも税理士事務所には数多くいます。そのようなスタッフは、試験勉強を長くつづけ、実務経験も豊富です。だからこそ、事務所でも重宝される存在として、安い賃金ながらも雇用されることでしょう。

一方、これから税理士試験に向けて勉強する方は、税理士試験の一部の科目に合格したとしても、実務のスキルもなければ、実績もありません。そのような人材が、Free 登場後の会計業界で必要とされるのかは未知数です。

クラウド会計ソフト Free については、現在(2016年)では、まだ主なユーザーは個人事業主や、従業員数人の法人のユーザーが大半です。

理由としては、まだクラウド会計ソフトという分野自体が発展途上であることと、テクノロジーの進化に使いこなすユーザーの価値観が追いついていないというのが大きいと思います。

そつした中、実際に導入のお手伝いをしたお客様などからは「Free を使い出したら、今までの会計帳簿のように一件ずつ、手で打ち込んでいく作業になんて戻れませんね」という声を必ずいただきます。そのお客様が将来的にビジネスを拡大していけば、会計帳簿の自動作成の流れは一気に加速するはずですよ。

このテクノロジーの進化によって、会計業務が大きく変貌します。

そしてこの会計業務の変貌によって、税理士試験で勉強している業務スキルは相対的に価値が低下していることを認識するべきだと思います。



## Google が本気で会計ソフトを作ったら

クラウド会計ソフト free (フリー) が普及すれば、会計の業務が大幅に変わります。

free は、元グーグルの社員が起業して運営しているスタートアップ企業です。もし、Google が free を買収して Google が本気で会計ソフトを作ったら、この会計自動化の流れは大きく加速することでしょう。

「J」では、Google が free のコンセプトを引き継いで会計ソフトを作ったらどうなるかというシミュレーションをいくつか試してみます。

まず勘定科目の自動推測精度が段違いに上がります

free では、金融機関の取引明細を自動で取得します。

取得するデータは「日付」「取引金額」そして「入出金の相手先等の取引内容」です。会計帳簿の作成は、この取得した三つのデータに基づいて会計上の勘定科目を設定して登録するわけですが、この勘定科目も free は推測してくれます。

例えば、取引明細に「テストリヨウ」とあれば勘定科目は「支払手数料」に、「NTTドコモ」とあれば「通信費」に、という具合です。

ただしこの勘定科目については、一般的な内容であれば推測してくれますが、例えば、得意先の「鈴木株式会社」や「佐藤事務所」のような「固有名詞」については、自分自身で一度勘定科目を設定し、自動化ボタンを押して登録する必要があるようです。

一度設定をすれば、次回から同じ得意先の入出金があった時、前回登録時の勘定科目で自動登録されるので大変便利です。

こうした考え方に立ち、Google が会計ソフトを作るとすれば、例えば gmail のやり取り内容や、chrome の検索履歴を会計ソフトの仕訳推測機能に応用する、という機能も想定されます。すると勘定科目は、最初からかなりの精度で仕訳されるでしょう。

例えば、gmail のメッセージの文頭に「鈴木株式会社 ○○様」と記録すると、gmail と連動した会計ソフトは「鈴木株式会社」を取引先と認識します。すると、鈴木株式会社から入金があれば、ほぼ間違いなく売上だと推測できるというわけです。

また、Amazon で購入した書籍や消耗品の類であっても、ブラウザの検索履歴の傾向にもとづき、勘定科目を推測できるのはもちろんのこと、プライベートと事業用の判別等も容易に分類してくれそうです。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazon の販売ページはこちらをクリック

例えば、北海道に行くための旅券を購入した場合、その後の行動履歴がレジヤ―施設であればプライベートの支出、セミナーの予約であれば事業、と判別されるかもしれません。現在の検索結果の傾向から広告が表示されるアルゴリズムを、勘定科目の推測に応用すれば実現は容易でしょう。

もちろん、セキュリティの問題や感情的に不快という問題はつきまとうでしょう。しかし、いつそんな時代が来てもおかしくないはず。

もし、Googleがfreeeを買収して会計ソフトを作るようなことがあれば、とても便利な反面、財布の中身まで監視されるように恐ろしくもあります。

## 税理士になった時には仕事がない？人工知能(AI)が仕事を奪う

二〇一四年は、クラウド会計ソフトfreee(フリー)やMFクラウド会計などの台頭により、「クラウド会計元年」とも呼ばれました。そして二〇一五年、「クラウドの次は人工知能(AI: artificial intelligence)」といわれています。

今はクラウド会計ですが、これから税理士試験の勉強を始めようとするみなさんが独立開業する七、八年後には、人工知能の会計ソフトなどへの活用によって、税理士の業務を大幅に縮小させていると思います。

ここで実際に起きている実例をご紹介します。

現在アメリカの法律事務所では、人工知能の導入が進んでいるようです。

先日NHKの「NEXT WORLD(ネクストワールド) 私たちの未来」という番組で、二〇年後の未来が描かれていました。

大手の法律事務所では、弁護士業務がピラミッド型になっています。法廷に立つトップ弁護士が使用する過去の判例等の法廷資料を経験豊富な中堅弁護士が用意作成し、その資料を経験の浅い弁護士がチェックする、という体制にありました。これが人工知能を導入することで、過去の判例等のピックアップ作業をその人工知能が代替するらしいのです。そしてこの代替する能力は、一台の人工知能で中堅弁護士、約六〇〇人分のことです。

その法律事務所では、中堅弁護士の業務は実質的に必要なく、人工知能がピックアップした判例データを下っ端弁護士がチェックし、その資料によってトップ弁護士が法廷に立つというのです。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

こうした話は、そのまま税理士業界や会計業界全体にも当てはまるはずですが、税理士も、弁護士が民法や会社法等の法律を扱うのと同様に、「税法」という法律を扱います。

そしてこの税法というのは、税金の計算方法や取り扱いについて、できるだけ解釈の余地によって取り扱いが異ならないように、厳格に規定している場合がほとんどです。もちろん所得税法の経費の考え方のように、包括的に規定している条文もあります。

そうすると、弁護士の業界に人工知能が導入されると同様のことが税理士業界に起きます。すると、税務訴訟の際の判例のピックアップはもちろん、経費に計上できるかの税務リスクの可能性のアドバイス等、これまで専門知識や経験が必要であった業務も人工知能が取って代わるはずですが。

そして第一段階として、クラウド会計ソフトの普及によって記帳代行等の帳簿作成の業務が縮小し、第二段階として人工知能の普及によって税理士の専門知識の業務も縮小していく。そのような世の中が待っていると想像できます。

そう考えると、テクノロジの進化によって会計の必要性はなくならなくても、会計業務に求められる業務やスキルは大幅に変わっていきそうです。

このように、社会がめまぐるしく変化している一方ですが、税理士試験という資格制度と資格取得に要する時間は、今のところ変わる気配はありません。



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

# おわりに

本書を最後まで読んでいただき大変ありがとうございました。

冒頭でもふれましたが、この書籍の元となったのは、筆者が管理運営しているホームページ【升メディア

<http://hiromasu.com/>】にて書いた税理士試験の勉強方法等の記事を再編集したものです。文章として書きだしたのが二〇一四年からであり税理士試験を実際に行っていたのは、二〇〇二年〜二〇〇六年までの足掛け五年ですので、一昔前の受験生時代を振り返りながら書いてみました。昨日のことに鮮明に記憶としてあるのです。

振り返るとあの時は苦しい時もあったけど税理士試験は挑んでよかったな！と思います。もちろん、税理士の資格を取得したからこそ今、職業会計人として独立して仕事をいただけているのは勿論ありますがそれ以上に沢山の事を経験できたと思っています。

『それでも税理士めざしますか？』では、随分とネガティブな話を紹介しましたが、これが現在の会計税務業界の現実です。ただこんな話はこの業界でも叫ばれていることで何かの資格をとれば安泰なんて考えずに、日々自己研鑽に励んでいればどんな職業だろうが道は開けると思っています。

税理士試験なんて狭いコミュニティは合格してとと外に出てください。でないと、人生つまんないですよ。早くとびだして、振り返ったらいい経験だったと振りかえることができます。それも保証します！今年も税理士試験がんばってください。この書籍を手にとっていたいただいた受験生みなさんが一日でも早く合格出来ることを陰ながら応援しております。二〇一六年五月 廣升健生



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## 【付録】独立開業税理士の奮闘記

これは、パン屋が税理士試験に合格し、その後独立開業をした筆者の独立開業奮闘中の記事です。サイト升メディアに連載中の記事のうち特に人気の高い記事を抜粋して付録として収録しています。

### ウェブでのブランディングは、税理士試験に合格するより大変です

私の運営しているサイト【升メディア】は現在大変多くの方に見ていただけるようになりました。このサイトは主に Google 検索でトップページに表示されるため多くの方にサイトにたどり着いていただけています。

税理士や税理士試験などのキーワードで Google 検索でトップページに表示されるようになるまでに要した時間は、サイト開設をした二〇一四年一二月から一年弱です。

私は税理士試験を合格するのに、足掛け五年を要しました。それに比べたら一年で検索の上位に表示されるようになり、集客についてもさほど困らなくなりました。時間だけ見れば、五分の一です。ただ、税理士で Google 検索のトップページに表示されるサイトを運営すること…。言い換えればインターネット上で自分自身をブランディング化する事と税理士試験に合格するのと、どちらが大変ですかと問われると、絶対に前者だと言い切れます。

理由は、税理士試験の試験委員の先生より Google 先生(「業界の方は多くの方が、Google 検索のことを Google 先生と呼びます」)の方が、極めてシビアに各人が作成した答案用紙(ウェブで言えばブログなどのコンテンツですね)を判定しているからです。私ももちろん、サイトのどこを評価されて Google 検索での順位が上がっているのかはわかりません。ですが、評価されるためには、検索をしたユーザーにとって有用な内容であることが、絶対的な必要条件です。以前は、小手先のテクニックで、検索の上位に表示されるようなことがまかり通っていたようですが、今は良質のコンテンツがちゃんと上位にくるようになっていて、そうなんです。

この良質なコンテンツを作るとというのが、簡単なようでとても難しいのです。例えば、税理士のコンテンツだかといって、専門書で解説されている会計税務の論点を少し言葉尻を変えて、毎日更新しても絶対に Google 先生には高い評価はされません。なぜなら、もうすでに同じような内容のコンテンツは星の数ほどアップされていますので、せっかく言葉尻を変えてアップしたコンテンツは、インターネットの藻屑となるだけです。では、何が重要かというと、圧倒的なオリジナリティがないといけないので



オリジナリティとは、サイトがぶっ飛んでもいいし、経歴が変わっていてもいい。あるいは、目のつけどころや視点にオリジナリティがあってもいいし、何か別の業種と組み合わせてもいい。例えば、二〇一三年に開業した当時、サイト作りやブランディングで参考にさせてもらった税理士法人「TAXGYM(タックスジム)」のサイト。二〇一三年当時はもう少し、普通のホームページでしたが、非常にぶっ飛んでいます。税理士法人タックスジム(<http://taxgym.jp/>)



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## ブランディング戦略は、税理士試験とは真逆のアプローチ

税理士試験を勉強した者からすると、税理士試験に合格するためにやることと google から評価がされるコンテンツを作るというのは、全く正反対のアプローチとスキルが必要なのだと実感します。

税理士試験などの競争試験で合格するための戦略は、まず、誰でも正解できる論点をミスなく取り、やや難解な論点の正答率を上げる事で上位10パーセントに入る必要があります。

例えば、受験予備校でカバーしていない論点の本試験で出題されれば、それは正解ができなかったとしても合格できます。逆に、誰も解答できない論点を自分だけが正解しても、他の取るべき基礎点を積み上げることができなければ、絶対に合格することができません。つまり、減点方式のアプローチでありいかにそつなくこなすかが合否の決め手になるのです。対して google で評価されるコンテンツを作るのは全く逆で、自身のコンテンツが唯一無二のオリジナリティがなければいけないのです。

## 税理士以外のオリジナリティ

そう考えれば、手前味噌で恐縮ですが、私のコンテンツはやっぱりオリジナリティがあると思っています。まず、パン職人から税理士になったというだけでも経歴だけで異色です。

その税理士は、税理士試験の受験予備校での講師経験があるので、わかり易く教えるスキルを持ち合わせています。

そして、二十歳の頃から我流で使ってる Photoshop(フォトショップ※画像編集のソフト)を使えます。

そして事務所には簡易スタジオを作成して動画の撮影編集から youtube での発信まで自分自身で行います。

イラストについても、素人レベルですが書くことができます。事務所のイラストは今、プロのイラストレーターのパリゾンさんにお願ひしていますが、下書きのラフは全て自分が書いています。

画像編集、動画編集やイラストを描くことなどは、自分のプライベートのスキルとして持っていました。独立前の税理士法人での勤務税理士時代に仕事で活かされるような機会は福利厚生之余興などに使用する程度で極めて限定的でしたが、このスキルが独立後一番大きな差別化出来ている要因だと考えています。





## クラウド税理士がしんどい二つの悩み

廣升健生税理士事務所では主にクラウド会計ソフトの使用を前提とした会計税務サービスを提供しています。

そのため、仕事のやり方や進め方がとても効率的になり、その分、いただく顧問報酬をリーズナブルに設定し、かつ満足度の高いサービスを提供しています。

ただ、効率的な一方、クラウド税理士としては、結構しんどいこともあります。

まずは絶対的な運動不足です。

基本的に、お客様とのやりとりはクラウド会計ソフトを軸に行い、コミュニケーションはSkypeやチャットワーク、データのやり取りはGoogleドライブやドロップボックスを使用しています。

直接、お会いするのは、最初の1〜2回という場合が多く、それ以外は、遠隔でのやりとりが中心となります。そのため、絶対的に運動不足となります。

また、事務所と自宅が七十メートルほどしか離れていないので、先日も気が付いたら2週間ほど事務所と自宅の往復が中心で電車に一切乗っていない……という事もありました。

さらに、仕事獲得のための営業活動は、独立してから一度もしたことがありません。そのため、日常的に発生するウォーキングの類も一切ありません。

その結果、二〇一三年一月の独立後、みるみる体重が増加し、ピーク時には十キロほど体重が増えてしまいました。

「これではまずい」ということで、運動をはじめてこれまで六キロのダイエットに成功しましたが、クラウド会計で効率化した時間を運動不足解消のための時間に充当しているとはなんとも矛盾があります。

### 単純に孤独…

これはクラウドを活用しているようがいがまいが、個人事務所ならだれでもそうかもしれません。単純に孤独で寂しい時があります。基本は、ひとりで仕事するのも好きなタイプではありますが、たまには仕事のあとに誰かと一杯飲みたいこともあります。加えて、打ち合わせもSkypeなどを使って遠隔でのやり取りがほとんどなのでクライアントと一緒に飲みに行くという事もほとんどありません。ただ、「経営者は孤独だ」といわれるので、そういうものかと思っています。

逆に、「これからの仕事に繋がるから」と接待などの飲み会をするのは性に合いません。

仕事などで、信頼関係がすでにできている人や教えを乞いたい方との飲み会なら喜んで参加したいのですが、どんな人かも



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

わからないけれども、酒を飲んでわかり合おうという気はサラサラありません。恐らく、一定以上のアルコールが入った時点でよくわからなくなるし、せつかく酒を飲むなら、人の見定めの場合というよりも酒をがぶ飲みして楽しい会にしたいというのが自分のポリシーです。寂しいからといって、誰でもいいから側についてほしいみたいな話ではないのが悩ましいところですよ。

## スラムダンク谷沢にみる叱ってくれる指導者の大切さ

皆さん、言わずと知れた伝説の漫画『SLAM DUNK(スラムダンク)』に出てくる谷沢龍二(やざわりゆうじ)という登場人物を知っていますか？おそらく、スラムダンクのにわかファンだと知らない可能性もあるので、簡単にだけ説明します。

湘北高校の安西監督が某大学の監督だった頃にいた逸材が、谷沢でした。谷沢は、長身の割にはスキルも高く期待されていましたが、基礎練習が大嫌い。安西監督の厳しい基礎的な指導に嫌気がさし、「俺は自由にやりたい」と単身アメリカに渡米しました。

しかし、その一年後に、安西監督は現地で奮闘する谷沢の映像を見るのですが、まるで成長していません。安西監督は、呼び戻そうとするも消息がつかめずその後四年の月日が経過したある日の新聞の小さな記事で、『米で邦人留学生激突死。谷沢龍二さん(二四) 一二〇キロの暴走 薬物反応も?』という記事を目にします。

彼の死後、彼が安西監督に宛てて出そうとしたけれども出せなかった手紙に書いてあったのは、「アメリカでは誰も自分に指導してくれない」という悩み、そして最後に「バスケットの国、アメリカの、その空気を吸うだけで僕は高く跳べるとおもっていたのかなあ…」と締め括られていたというエピソードです。

さて、ここからが本題。前振りが長くなりましたが、独立開業をしてからよくこの谷沢のエピソードを思い出します。私は三五歳のとき(二〇一三年一月)に独立しました。それまでにパン屋をはじめ合計二二年のサラリーマン生活を送りました。

そうした経験を踏まえたうえで思うのは、仕事をする上での大事な事は、ほとんどサラリーマン時代に税理士法人の代表や、先輩あるいはお客様に教えてもらったなということ。それを経験せずに独立していたら、大事な事を見失うなと感じています。そんなエピソードを一つ。

## リスケして経理のおばさまに「っぴどく叱られた話

サラリーマン時代に組織の内部の先輩などから叱られることが多くても、お客様で強烈に叱ってくれる人は、実はそんなに多くありません。そんな中、今でもしっかりと覚えてるのが、中小企業の経理のおばさま甲さん(以下『甲さん』)。売上高四〇



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

〇〇万円程度、社員四名ほどの中小企業のクライアントでした。担当したのは、税理士法人で会計実務を一年くらいして仕事が一通りわかってきた頃。

毎月、そのお客様の会社へ往訪をして会計帳簿のチェックと監査業務を行っていたのですが、他のクライアントの業務で忙しくなると、特に急な用がなくても、ちよいちよい訪問日のリスケをお願いしていたのです。その当時の別のお客様は東証一部上場の企業だったり、売上高も数十億から数百億のお客様でした。

正直に言えば、その売上高が四〇〇〇万円ほどしかないお客様をなめてたのです。ですから、ちよつと自分の仕事が忙しくなったりでスケジュールがあわなければ、リスケしてもいいよね…と、心の中で思っていたわけです。

そうしたなか、次の往訪には、通常の会計帳簿のチェックだけでなく、その一〇日後に銀行から新規の融資を受けるための融資計画書の作成、及び打ち合わせをするという大事なミーティングが迫っていました。しかも、いつも対応いただく甲さんに加え、社長が同席されるというタイミング。その打ち合わせの重要性は、自分ももちろん認識していましたが、タイミングの悪い事に、打ち合わせ当日の朝に別件の大きなトラブルがあり、当日の往訪を翌日にリスケしたいと電話をしました。その矢先でした。甲さんにピシつと言われたのは。

「うちの社長は、あなたのスケジュールにあわせるために仕事しているわけじゃないんですよ」

これって、表面的にはリスケをしたことで、叱られたのですが、それまでの一挙手一投足のこのお客様に対応する姿勢を叱ってくれたんだらうなあと思うのです。

約束の日程を守る。

約束の時間を守る。

質問などがくれば返信のスピードを上げる。

メールのやり取りがギクシャクしているなら電話して直接声を聞いてみる。

こちらに非がある仕事のミスは素直に謝る。

こんな基本なことが、取引金額の大きさを仕事の忙しさにかまけてグラグラしてきてしまうんですね。

**サラリーマン時代に人生の先輩から学ぶ事は大きい**

仕事をする上での心得みたいな話なら、自己啓発本でも読めばいくらでも書いてあることです。ですが、自分自身を直接叱ってもらってたくさん考える事があるのじゃないのか。それは、大きな大きな違いになるので、指導してくれる方が多くいるサラ



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

リーマン生活も良いこと沢山ありますよ！と言いたいのです。

最近、クラウド会計関連の仕事でベンチャー企業の方々と知り合うことが多いのですが、話を聞くと「大企業など大きな組織のサラリーマンなんて、得るものはない。一日でも早く起業だ！独立だ！」と声高におっしゃる方が多くいます。

若い頃の私だったら、同じようにとんがっていたかも知れません。けれど、長く生きている人生の先輩から学ぶことは、とても大きいです。二〇代そこそこで、ベンチャーで一山当てれば、それこそ四〇代、五〇代のサラリーマンの方より稼ぎは多いかもしれないですけど、人生の先輩方から学ぶことがとても多いですよと言いたいのです。

## 独立開業税理士が一年目で年収一〇〇〇万を目指すべきではない理由

売上アップのためのハウツー本やコンサルティング会社などのキャッチコピーに、こうした文言があります。

『独立開業一年目で一〇〇万円』

金額は業種によって異なるけれど、総じてすごいなあ！でもやり方を工夫すれば出来なくもないかなあと感じる程度の金額です。達成した人は確実にいる実態値といえます。税理士事務所で言うところ、個人事務所で開業した場合には『独立開業一年目で年収一〇〇〇万円達成したノウハウ教えます』的なコンサルティング会社のキャッチコピーを見ることがあります。

確かに、年収一〇〇〇万は、ひとつの目安かなと感じます。ただ、私の場合はというと、独立開業一年目で収入一〇〇〇万には遠く遠く遠く及ばず、二年目も無理。現在独立開業四年目では、やっと超えています。個人的には、この推移は極めて予定通りと感じています。

私は、売上目標などの数字目標を独立開業三年間は設定しないと決めていたので、現在一〇〇〇万を超えたのは嬉しいし、裏を返せば独立開業一年目で一〇〇〇万を目標にするのは「危険だったな」と感じます。年間で収入一〇〇〇万というのは、簡単な数字を使えば、年間報酬五〇万円のお客様を二〇件。一〇〇万のお客様なら一〇〇件の確約をとること。これ、簡単なようで意外と難しいのです。

## 独立開業一年目で年収一〇〇〇万を達成するには

独立開業前に努めていた税理士法人などの時代に、事務所の看板ではなく自分自身の名前が業界内や外に轟いている場合。例えば『〇〇事務所の〇〇税理士はとんでもない仕事するらしい！』という場合を除けば、基本的には独立開業した税理士のプロフィールは、前職の職歴や学歴しかありません。言い換えれば、自分自身のブランディングは一切ありません。そうし



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

た自分自身のブランディングが確立されていない開業初年度に、年収一〇〇〇万円を目指そうとすると、方策はさほどないと考えます。

方法は、私が考えるには次の四つです。

### 一、前職の事務所などからクライアントを引き継ぐ

前職の事務所からクライアントを引き継げるというのは、ある意味では独立する自分自身にクライアントが信頼してくれている証拠ですから、これができれば一番良いでしょう。ただし、税理士法人など比較的大きい組織で対応している場合には、個人で独立しても、引き継げるのは「まれ」と思います。

### 二、前職の会計事務所などから仕事を委託してもらう

比較的安定して、売上が確保できるかもしれませんが、本質的には前職の看板で請け負った仕事の下請けに過ぎません。下請けをやるために独立するくらいなら、勤務税理士で良かったのではと思ってしまうかもしれません。それが、いつまでも前職からの仕事がいただけたとしても限りません。

### 三、税理士紹介会社に仕事を紹介してもらう

新規のクライアントを獲得する上で一番手取り早いのは、税理士紹介会社から顧問先を紹介してもらうこと。これは、条件にこだわらなければ、どんどん紹介してくれるはず。ただし、注意しなければならないのは税理士紹介会社の紹介手数料はかなり高いという事です。

年間顧問報酬の四〇〜五〇%前後というのが一般的。自分が、これまでに二社紹介してもらった紹介会社の手数料は、五%です。このように、紹介手数料が五五%だとして、年間報酬が一〇〇〇万上がったとしたら、税理士紹介会社に払う手数料は五五〇万円。

その時点で、実質の売上は四五〇万しか残りません。もちろん、この手数料は毎年かかるものではなく、多くの紹介会社が契約初年度や翌年までの一定期間の場合が多いです。そのため、契約初年度は支出が大きいが数年すれば、正常化するという



考え方もあります。

ただし、今のクライアントは、とてもシビアです。独立開業したての税理士に仕事を依頼するクライアントは、経営者も三〇代から四〇代が中心です。税理士に払う報酬に見合うサービスを冷静に判断しているので、なんとなくの付き合いで顧問報酬を支払い続けてくれるということはありません。

そう考えれば、契約初年度にまとまったキャッシュアウトがあるということは、経営的にも良くないし手数料を払って紹介してもらっているわけで、結局のところ税理士紹介会社の看板に頼っているだけにすぎません。

四、インパクトを与えるような低価格路線を打ち出す

一番わかりやすく新規の顧客を獲得する方法は、やっぱり価格になるでしょう。とにかく低価格を打ち出せば、問い合わせは増えます。三と四に共通するのは、結局はクライアントが増えて、収入が上がっても利益が上がりづらいということです。

三の税理士紹介会社に紹介してもらったクライアントは、実質的に相場の半額程度で仕事を受注しているのと変わりませんが、したがって低価格路線を打ち出しているのと同じです。

そして低価格路線は、利幅の薄さを量でカバーする必要があるため、当然スタッフを雇わなければいけません。それも、クライアントの数に比例してです。このビジネスモデルは、自分の方向性としては考えられませんが、一つのやり方としてありだと思えます。ただし、やるのは開業初年度からではないのではありません。

低価格路線のビジネスモデルなら、数十人規模の税理士法人でシステム化された方が強いですし、サービス内容も良いに決まっています。

もちろん、テクノロジや仕事の進め方を格段に効率化した上での低価格なら問題ありませんが、人海戦術的な従来のビジネスモデルを踏襲した運営は間違いなく中長期的にみて自分自身の首を絞めることになりません。

数字目標というのは、分かり易いですし目標設定を明確にすることでモチベーション維持には有効かもしれませんが、ただ、初年度は売上にこだわると、『今までの仕事のツテ』や『低価格』以外の自分の強みや自分のウリを模索した方が中長期的にはよい選択になるはずですよ。



## 税理士の年収とやりがいについてクラウド税理士が考えてみた

皆さんが一番気になる！特に同業者の税理士が気になる話。

「クラウド会計に特化させて儲かるの？」  
という疑問があると思います。

結論から言うと、まあまあ売上はたつけれど、現状は濡れ手に粟のように儲かっているわけでもない、というのが率直な肌感覚です。

具体的な数字でいうと、独立四年目の年収(売上ベース)で一〇〇〇万円から二〇〇〇万円の間をウロウロという感じですが。ちなみに、サラリーマンの感覚で言うと、年収一〇〇〇万ってすごい！となるかもしれませんが、ここでいう年収は、売上ベースで話をしています。

ここから、事務所の家賃や、各種備品、光熱費やサイトを作成する外注費などを差し引くと、いわゆる手取りはグッと低くなります。売上から経費を引いた金額を【所得金額】といいます。この所得金額は内緒です。

話を戻すと、うちの事務所の運営は現在、業務スタッフはパートタイムのスタッフのみで、月に数万円の人件費しかかかりません。実質的に、事務所運営は私ひとりで運営しています。

そのため、自分の感覚としては、「独立四年目にして、ほぼひとりできりもりしているにしては結構、いい線いっているじゃん！」と誇らしげだったのですが、先日飲んだ前職の先輩で現在は独立開業七年目の開業税理士に言わせると

「もっと儲かっていると思ったよ！うちは、俺も含めて税理士六人で売上は一億五千万円だぜ。一人あたりの税理士の年収は二五〇〇万円だな。勝った……………」となりませう。

また別の税務顧問でお手伝いさせてもらっている、同世代の医者のお客様との雑談では、「ネットであれだけ発信されているから、もっと売上あるかと思ってました。年収五〇〇〇万円！」と聞かれました。

「年収、そんなあるか……………」

頑張っていて、売上も上がってきている自負はある。でも周りからするとちょっと儲かっている印象がある！が現状のようです。

クラウド会計特化は儲からない！？

「誠意ってなんだね？」



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

この名言、知ってますか。テレビドラマ「北の国から」中で故・菅原文太さんが発した言葉です。

私は今、「儲けるってなんだね？」を自問自答しています。二〇一六年九月時点というと、クラウド会計特化は需要は大きいし、「コンスタントにお客様からお仕事を頂いています。左うちわで儲かるかと言われると、「そんなに濡れ手に粟のように儲かりませんよ！」というのが率直な意見です。ただ、繰り返しになります。そんなに儲からない！というのは、同業者やクライアントの医者目線であって、個人的には健闘していると思ってます。話が矛盾するのですが…。

さて、税理士が儲けるためにはどうしたらいいかを考えると、金は持っているけれど難しい法律や税務のことはわからない層からお金をいただくのが一番儲かります。これは絶対です。だから、税理士が「儲かる！」「儲ける！」というフアクターで考えるなら、相続税関係の仕事が絶対に良いです！単価は高いし、何よりもお客様がお金をもっていっしょやる。そしてお金は持っているけどインターネットを使いこなしたりと言った「コ」スキルを持ち合わせていない場合が多いです。どちらかというと情報弱者です。

だから、難しいことはわからないし、お金は多少お支払いしますので、うまくやってください」という流れになります。

前職の税理士法人でも、相続関係の仕事を担当させていただきましたが、やっぱりロットが高い。一案件最低一〇〇万円から一千万単位で報酬をいただくこともありました。

ただし、ただしです！このような付加価値の高いビジネスというのは、いくら前職で相続税の仕事を多くやっていましたという実績があったとしても、独立開業すぐの税理士に仕事がいただけるかといえそうではないのです。

それこそ、数十年先のお付き合いがあったり、相続税特化している会計事務所は、それまでの多くのノウハウがあるからこそ、付加価値の高いサービスができるわけです。

その信頼関係やノウハウは、自分の様な若手税理士が一朝一夕で身につけられるものではないのです。前職もそうでした、税理士法人の代表が長い時間をかけて信頼関係を積み上げた結果として、ロットの大きいビジネスになる。しかも、今までの信頼関係があるから、少し見積もりが高くてもアクティブな値引き交渉などをしていくことも稀だと思えます。

相続を例にあげましたが、自分が前職の税理士法人でメインで担当していた、W&Aなどを活用した組織再編税制や、連結納税などの特殊税務も同じことがいえます。かなり高度な法令解釈などのスキル必要なため、いただく報酬はとも高く高付加価値のサービスです。

ただし、それは大きな看板があるからいただける仕事であって自分がそのスキルを持ち合わせているからといって、仕事をいただけるかというところではないのです。対して、クラウド会計特化はニーズは現在急速に拡大中です。ただし、クライアントの多くは独立後間もない方が多いため、まず予算が多くない！そして、仕事をいただくお客様もクラウドを使いこなしている





など、業務効率化やコスト感覚が極めてシビアな情報強者です

だから、いただく報酬はもちろん、市場価格から乖離した、高い報酬はふっかけることはできません。どうせ、べらぼうな報酬をふっかけても、ネットで別の同業者に見積もり出しますからね。行き着くところ、常にお客様に満足いただける適正価格ですが、商売はできないのです。

当たり前といえば当たり前なのですが、今までの会計業界は既得権益に守られている部分も多く、いただく報酬は、サービスに対して高止まりしている印象は拭えません。そんな、ぬるま湯に浸かってクラウド会計を使うクライアントのコスト感覚からすると、いただく報酬はグッと下がった印象になるのかもしれない。人間、元からあったものからなくなったりするとならぬ気持ちになるものです。それは、いただく報酬でもあてはまるのではないのでしょうか。でもそれが適正価格なのです！

## それでもクラウド会計特化は面白い

繰り返しになりますが、いただく報酬は極めて適正額です。お客様が納得する報酬以上でも以下でもないのです、ご報酬に対する事務所のサービスは大変喜んでいただいています

そこで感じたのは、インターネットで、一定の発信力を手に入れるというのはやっぱり凄いなという事です。もちろん、ホームページ開設時もイメージはありました。でも、自分の頭のなかで考えも及びもなかった面白いことが沢山あるなあと感じる今日このごろの話を少々。

ホームページを作るなり、ブログをするなりの動機で一番多いのは、やっぱり集客だと思えます。自分の仕事のスキルやノウハウを知ってもらってお仕事に繋がりたいという。

これまでの成果で誇れることとすると、ネットの集客のみ、かつ人のツテや税理士紹介会社など第三者の力を使わず、新規の仕事の依頼をほぼすべての売上を上げることができたことでしょうか。どんな、業種でも新規のお客様を獲得するのが一番大変なわけで、一定の成果はあったと思います。

## クラウド会計ソフトを使ったサービスで感じた事

ホームページをみて新規で仕事をいただくほとんどは、クラウド会計ソフトを使っている会計事務のサポート業務です。二〇一四年から打ち出した、クラウド会計を会計事務サポートツールの柱にするコンセプトは、単純に目新しさだけでなく、沢山の交



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

化をもたらししました。まず、お手伝いするお客様は、二〇代後半から四〇代程度のクラウドサービスを常時使用する方ばかりなので、経理業務は相当なボトルネックになっている事を実感しました。

例えば、会社設立手続きをしてもらった税理士事務所の不満からあるお客様上を作るための仕事のやり取りは、全てクラウドサービスを使っているのに、会計事務所にはデジタルデータの資料を紙に打ち出し、郵送する。その後一ヶ月位経たないと、月次の試算表も出てこない。要は、経営アドバイスのパートナーでないといけない会計事務所が、クライアントのビジネスの足を引っ張っている構図になっているんですよね。

これをクラウド会計ソフトにすれば、会計帳簿は即できる。月次決算どころか、週次決算や日次決算だって可能になる。そうすれば当然ビジネスの意思決定のスピードが段違いに早くなりますし、場所も選ばない。ちなみに、今年には宮城の栗原市にある妻の実家の一室をサテライトオフィスとして使わせてもらって、合計一ヶ月程度滞在して仕事しましたが、会計ソフトはクラウド管理なのはもちろん、コミュニケーションは、チャットワークや Skype など。データのやり取りは、Google ドライブを使うため、サテライトオフィスであってもなんの不自由もなく業務を遂行できました。むしろ、東北地方のお客様に、仙台駅などで直接お会いしての業務ができたりといい事づくめでした。でもやっぱり一番大きいのは人との出会い！それも面白い人との……それがやっぱりホームページで情報発信をしている一番のメリットでしょう。独立開業してから、沢山面白い人に出会いました。それ全てインターネット経由で、相手が自分のコンテンツを読んで興味を持っていただいたのもあるし、自分が興味をもってアプローチしたものもありますけどどちらにしても、面白い出会いがあるのが最大の魅力です。

### 独立開業すぐの時期に異業種交流会に参加して『人脈』とは何かを考えた話

二〇一三年に独立してまもないころ、異業種交流会に参加したことがあります。独立してすぐでしたから、まずは「人脈」が必要だろう、と安易に考えたわけです。

参加費は、三〇〇〇円。結論から言えば、名刺を配っただけで売上に繋がるような効果はありませんでした。残ったのは、開業したての土業を相手にした事務用品の格安販売を行う営業マンからの猛プッシュ！それと、自己啓発系の目的意識を設定して自己実現をするというセミナーの勧誘。

さらには、聞いたことのない証券会社のセールスマン。早い話、交流会という名の独立すぐの右も左もわからず仕事がない士業へのセールス活動の場だったのです。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

このうち、格安事務用品の販売については、名刺をすくく安く作ることで一回頼んでみました。一〇〇枚一〇〇〇円で、フィルム加工がされているので、それはそれ仕上がりにも大満足でした。

が、半年後に再度注文しようとする、もうすでにサービスを停止してしまいました。自己啓発セミナーの勧誘スタッフは、まだ二五歳なのに話し方などもとてもしっかりしているし、一回お話だけでもさせて欲しいというので承諾しました。

ところが、午後四時頃に出したメールの返事を今見たからといって、夜中の一時に電話してきたので、これはお断り申し上げました。証券会社は、名刺交換したスタッフが異業種交流会のあと二度ほどセールスの電話をかけてきて断りました。が、相手もしつこい。その後も事務所にアポイントなしで直接来るわ、その後二〜三も別のスタッフが訪ねてきました。これには、困りました。

本当に繋がりたい人脈とは…

異業種交流会では人脈を広げようという動機でいくことが多いと思いますが、知らない人と出会うという意味に限定すれば【人との脈】はできません。ただ、本当に【繋がりたい人】なのかというと、そういう人はいない可能性が高いでしょう。

繋がりたい人とは、【自分の力を認めて評価してくれる人】なのだと考えます。異業種交流会で知り合った人たちは、自分をお客様と見ていました。

言い換えれば、お金を払ってくれる人。繋がりたい人はそうではなく、自分を評価して一緒に仕事をしたいと言ってくれる人、お金を出してもサービスを受けたいと言ってくれる人。そういう人と繋がりたい！しかし独立開業すぐには、繋がりたいと思っただけでは周りに現れません。なぜ現れないとかといえば、結局のところ、自分に価値が無いからだと考えます。

異業種交流会に参加しまくっても、出会うのは、私を「金銭を払ってくれるお客様」としか思っていない人だけです。自分の力を蓄えないかぎり、繋がりたい人たちなどは一生出会えないと痛感しました。それ以来、異業種交流会には行っていません。ただ、独立してから月日も経ち、少しだけ自分にも力がついてきたので、交流会的なものにも参加しようかなと思っっている今日この頃です。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

## ウェブはマイノリティーであればあるほど輝ける

現在のホームページを二〇一四年一二月に立ち上げてから、約二年が経ちます。サイトに沢山のコンテンツをアップしてきてつくづく感じるのは、ウェブでコンテンツをアップしている自分の活動は、「お笑い芸人」と似ているなあと言う事です。

お笑い芸人って、小学校とか中学校とかの同級生にいたとしたら、そのころから「超変わり者」だと思っただけです。クラスにいる、背が高かったり、足が早かったりの人気者ではなくて、でもその変わったところ。

例えば容姿がいびつだったり、目の付け所がシニールだったりを電波にのせて世に問うと、それを面白いという人が沢山いるわけです。

ウェブのコンテンツも、全く同じことが言えると思います。例えば、本書の元ネタも私のウェブサイトコンテンツであり大変多くの方に読んでいただいています。

私のコンテンツがなぜこれほど読んでいただけているのかと考えると、パン屋が税理士試験に合格したという経歴がユニークだからだと思っただけです。

おそらく、有名大学の経済学部を卒業した人がそのまま税理士試験を勉強して合格した体験記を同じように書いたとしても、これほど読んでもらえるコンテンツになっていないと思います。そう、お笑い芸人のように、「人と違う」ということが大きな大きな武器になっているのです。

## クラウド会計なんて超マイノリティーだった

廣升健生税理士事務所が提供している「クラウド会計を使った税務顧問サービス」というのも、二〇一六年時点もまだマイノリティーですが、事務所のサービスをクラウド会計に特化させた二〇一四年一月なんて、そりゃ、今とは比較にならないほど超超マイノリティーでした。二〇一六年時点で、クラウド会計ソフト freee の登録者が六〇万人を突破したと発表されていますが、二〇一四年当時は、freee の登録者数がまだ二万人を超えたという程度。

そのため、事務所の近所にくらクラウド会計やりませんか？といつても、話を通じるわけありません。そこで、行った施策こそ、インターネットでの情報発信です。一〇〇人にひとりもクラウド会計を使いたい人がいないなら、一〇〇〇人に聞いてみればいい。一〇〇〇人に聞いてもいないなら一万人でどうだ！

そのように考えていくと、例えば一〇万人に一人やりたい人がいるなら、一億人が閲覧できる環境にコンテンツをアップし



えすれば、一〇〇〇人が潜在顧客になる！ そんな発想で、インターネットでの情報発信に活路を求めました。

マジヨリティーのサービス提供をしているならウェブ集客は意味が薄い

最近、同業者の方はもちろん、全く違う業界の方から、ウェブでの集客について相談されることがあります。そんなときに決まって話をするのは、「マジヨリティーなサービスを提供するなら、コストや手間に見合った効果は得られないかもしれないですよ」ということ。例えば、税理士事務所なら記帳代行をメイン業務にして、月に一回往訪をしてという、いわゆる従来 of 会計事務所のサービスを行っているのであれば、商圏は自ずと限られてきます。そんな会計事務所が、ネットで情報発信する意味は、さほど大きくならないのです。

例えば、スタツフがもちまわりでブログをアップするくらいなら、「月刊〇〇事務所通信」のようなかわら版を作って、お客様に持って行くほうがいい。

例えば、相続税の案件を取りたいなら高齢者の方にも読みやすい大きさの書体にするとか、相続税の簡易計算の仕方などを解説した小冊子のようなものを作成して、ドアノックで手渡しした方が、よほど効果は高いと思います。

作成する手間や配布する手間を考えた場合に、一〇〇時間をかけて小冊子を作成したとして、一日二時間二〇件ずつドアノックで一〇〇件もまわれば一件や二件の問い合わせはあると思います。時間にすれば、一二〇時間で一件の集客につながります。対して、サイトのコンテンツを同様に一二〇時間位かけたとして、一記事を四時間かけて作ったとしても三〇コンテンツ程度にしかありません。

相続税のコンテンツは、ライバルがひしめいてますから、三〇コンテンツくらいでは、google 検索のトップページには、まず表示されません。google の検索だと、トップページに表示されないなら、検索からサイトを見つけてもらえるのはないに等しい。すなわち、一二〇時間は、ほぼ徒労に終わる可能性が高いのです。

さて、インターネットで検索するのって、誰でもできますよね。で、検索したトップページ中から、欲しい情報そうなものを選んでいきますよね。で、そのサイトを見ると自分にもこれくらいの記事なら書けそうだなと思うことってあると思います。

ここで、前述の「ウェブの戦略はお笑い芸人に似ている」に戻りますが、テレビのグルメレポートでコメントしているのを見ると、お笑い芸人がやっているくらいのことなら自分でもできそうじゃないって思ったことがあるかもしれません。でも、当のお笑い芸人とはというと、そこに行き着くまで、つまり、テレビに出演できるまで長い長い下積み時代があるはずなんです。



それでも、テレビに出れたならラッキーで、一度も目の目をあびずに芸人をやめてしまう方がほとんどなはずです。サイトの検索もそれに近い所があります。例えばgoogle検索のページには、たったの10個の椅子しかありません。マジョリティーのサービスでそれを目指すのはかなり過酷です。自分ならやらないですね。

## 独立開業ひとり税理士の愛する家族の話

一月は、重要な記念日がふたつある大事な月です。

一つは、妻の敦子(ニツクネームはアコ。以下『アコ』)との結婚記念日。二〇一一年一月一日から、今年でまる五年です。もう一つは息子の江(こう)の誕生日。二〇一四年一月二五日に生まれました。

今回は、家族への感謝の気持ちを込めて、少々。

## アコと結婚してから独立開業した

私は、アコと結婚をするまでは、正直にいうと、あまり税理士として独立開業するイメージを持っていませんでした。勤務税理士として働いていた頃の率直なイメージで、今の世の中、税理士として独立しても食べていけないでしょうと思っていたからです。ですが、二〇一一年一月にアコと結婚したわずか一年後の二〇一三年一月に独立開業しています。

アコは、もともとひとり会社の代表としてライターをしていたので、独立開業することにはむしろ前向きでした。けれど、アコと毎日一緒にいて沢山の言葉を紡いで来たことがきっかけとしては大きかったと思います。

歩むべき方向性をふたりで模索してきたともいえます。いろいろと話をしていたら、二〇代にパン屋から税理士を目指した時のような『やってやれないことはないでしょ!』的な山つ気があるというかなんとか…。三〇代になって、勤務税理士として働くことが当たり前になっていった眠っていた情熱にアコが再び火を灯してくれたというか…

よく、独立を考えている同業者(税理士)の方に「独立開業したきっかけはなんですか?」と聞かれるのですが、特に自分が特段のスキルやノウハウを持ち合わせていたのでもなければ、独立開業したあとに仕事をくれる太いクライアントがいたわけでもなく、「アコと結婚したからです」が答えになると思っています。

ただ、あくまでも『答えのようない』という曖昧な域は出ません。というのが、独立すると決めた時に、当時務めていた税理士法人に仕事をやめる報告をする前日に、アコに報告しましたし。あくまで、自分の意志で決めたと思っているフシがあります。



パン屋が税理士になる方法

電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック

しかし、もしアコと結婚していなかったら、独立してたかなあと思うとはなはだ疑問ですね。多分、独立してないと思います。

少し話は脱線しますが、Mr.ChildrenのPADDLE(パドル)という歌に、こんな歌詞があります。

『時々誰かが僕の人生を操ってるような気がする 誰に感謝していいのかわからないけれど 僕は今日も生きてる まだもう少し君を愛していれる』

この歌をよく聴いていた時は、二〇代中盤。その当時は「何を言ってるんだろうこの歌詞は？ 自分の人生自分で切り開いていくもんだろがよー！」って思ってたんですね。なんて他力本願なんだ、と。でも、最近はこの意味がよくわかります。二〇代のまだ、我が強い時にアコと出会っても、多分うまくいかなかっただろうな。二〇一一年に出会ったのは極めて絶妙なタイミングだったなと思ってます。仕事の方向性などは、アコがブレーンになってアドバイスをくれます。これからも頼りにしてますよ！

江ちゃんよ！偉いぞ！よく二〇一三年に生まれて来なかった！

妻、アコへの思いを書いていたら、もう息子の江ちゃんの事を書くモチベーションが下がってきちゃいました

江は、まだ一歳ですし、これからです。ただ、一言、「えらかったぞ！」と言いたいのは、独立開業した二〇一三年になんだかんだで生まれてこなかったことですね。断っておくと、別に生まれてこないように対策をしていたわけではありません。むしろ、「一日でも早く子供ができたなら」と私たち夫婦は望んでました。でも、なかなか江ちゃんは宿ってくれなかった。

振り返ると『一番いい時期まで、生まれるのを待ってくれてたんだねえ』いつも話をしています。最初にも書きましたが、江は事業が軌道にのりはじめた二〇一四年一月二五日に生まれました。

独立開業初年度の二〇一三年は、私にとっては試行錯誤の毎日。定期的な仕事もなく、雌伏(しふく)の一年間でした。それが、今ようやく形になりだしている、税理士事務所のサービスやホームページを作成するためのスキルなどを習得していました。それはそれは、失敗ばかりでしたし、すぐに売上に繋がるものは何もなかったですが、あの一年がなければ、もちろん今もなかったと思いますし、クラウド会計に特化するなんてこともなかったかもしれませぬ。

もし、独立開業初年度に江が生まれてたら、どうだっただろう。どっしり腰を据えてなどできずに、目の前の売上を取りにい



ってたかもなあと考えるのです。

## 自営業はまとまった休みはないけれど

独立開業すると、プライベートと仕事とバサツと切り分けにくくなると思います。私は、土日も祝日も朝も夜も関係なく、仕事をしています。一応断っておくと、仕事と言っても常に税法条文を呼んだり、確定申告書を作っているということではありません。

この文章を書いている事やサイトでの情報発信も重要な仕事と捉えているので、自営業者にとって【仕事】という定義は【自分の人生】と同じ。そういう意味で、「仕事をしている」と言っています。そうすると、まとまった休みをとることはできません。が！仕事場の事務所と、自宅が徒歩三〇秒くらいしか離れていないので、お昼に自分が焼きそばを作って夫婦で食べたり、平日二時間程度オフにして家族で近所を散歩したり。

極めて生活は地味ですが、家族で笑って過ごせているので心はとても豊かです。

以上、独立開業ひとり税理士が愛する家族の話でした。これからもアコと江よろしくねえ。おしまい

PS:ブログが主にコンテンツを作成している 廣升ファミリーのプライベートサイト【コレ芝】も順次更新していきます。ぜひ見てくだ  
ね。

ブログ(ブログ) <http://koreshiba.com/>



パン屋が税理士になる方法  
電子書籍はAmazonで販売中

Amazonの販売ページはこちらをクリック